OCTAS[®] Drafter 操作ガイド



【 OCTAS[®] シリーズ (以降OCTAS) 使用上の注意 】

- 1 OCTAS の著作権は応用地質株式会社(以降弊社)に帰属します
- 2 OCTAS は弊社の登録商標です
- 3 OCTASの再配布は、無償配布および権利者として弊社を明記する場合のみ可能です ネットへの転載・販売誌付録 CD-ROM 等への収録を希望される方は、本マニュアル の巻末に示す連絡先へお問い合わせください
- 4 OCTAS の動作不良に関して、定期的なアップデート以外の責任を弊社は一切負わな いものとします
- 5 OCTAS を使用するにあたり下記の行為を禁じます
 - ・OCTAS への新たな使用許諾権設定、有償配布・レンタル、中古取引
 - ・OCTAS の改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブル
 - ・OCTAS のマニュアルを改変する行為
 - ・OCTAS を用いた違法行為、公序良俗に反する行為、およびこれらの行為に該当しまたは密接に関連すると弊社が判断する一切の行為
 - ・その他、弊社が社会的信用を損なう、または経済的損失が生ずるおそれのあると 判断する一切の行為
 - ・権利保護を目的に、あらかじめ設定された技術的な制限の解除・無効化、および当該方法の公開
- 6 OCTAS で扱うご利用者のモデルデータ・属性情報の内容について、弊社は一切の責任を負わないものとします
- 7 OCTAS の使用によるご利用者の直接または間接的障害・損傷・損害に関して、弊社 は一切の責任を負わないものとします
- 8 本操作ガイドに記載している製品名またはサービス名は各社の商標または登録商標です

- 目 次
 - 1. OCTAS Drafterでできること
 - <u>1.1利用場面</u> <u>1.2利用上の注意点</u> <u>1.3モデルの見方</u> 1.4ステップアップ
 - 2. 基本操作
 - 2. 1 OCTAS Drafterについて

 2. 2 インストールと環境設定

 2. 3 起動と画面構成

 2. 4 ビュアの構成

 2. 5 視点を変える

 2. 6 ビュアの設定をする
 - 2. 7 OCTAS Drafterを終了する
 - 3. モデリング
 - <u>3.1 プロジェクトの概念</u>
 - <u>3. 2 7-770-</u>
 - 3.3 3次元柱状図
 - 3.4 土質/N値モデル
 - 3.5 支持層モデル
 - 3.6 地層モデル
 - 3.7 地下水面モデル
 - 3.8 属性情報記録·管理
 - 4. モデルをみる

4.1 プロジェクト内のファイル管理
4.2 点群データ
4.3 VRMLデータ
4.4 オクタファイル
4.5 モデル柱状図データ
4.6 物性データ



5. 応用操作

- 5.1 モデルの任意断面
- 5.2 モデルのスライド断面
- 5.3 断面を出力する
- <u>5.4 出力断面図の仕様</u>
- <u>5.5 情報表示</u>
- 5.6 ウォークスルー表示
- 5.7 オートウォークスルー
- 5.8 開始初期視点の設定
- 5.9 凡例の編集
- 6. OCTAS Drafter設定ファイル
 - 6.1 設定ファイルの構成
 - 6.2 プロジェクト情報
 - <u>6.3 3次元柱状図情報</u>
 - <u>6.4 土質N値モデリング情報</u>
 - 6.5 支持層モデリング情報
 - 6. 6 中間層モデリング情報
 - <u>6.7 地下水モデリング情報</u>
 - <u>6.8 属性情報管理</u>
 - 6. 9 ボクセルモデルデータフォーマット

7.設定ファイル

- <u>7.1 設定ファイルの構成</u>
- <u>7.2 設定ファイルの作成</u>
- 7.3 基本設定
- <u>7.4 レイヤ表示設定</u>
- 7.5 レイヤグループ情報
- 7.6 レイヤ情報設定
- <u>7.7 座標系設定</u>
- 7.8 モデル柱状図設定
- 7.9 マーカー設定
- 7.10 CSVサーフェス/ボクセル設定

- 目 次
 - 8.3次元地質・地盤モデル継承シート
 - 8.1 継承シートの作成
 - **8.2 管理情報の記録**
 - **8.3 属性情報の記録**
 - **8.4 品質情報の記録**
 - 8.5 地質調査性能基準の記録
 - 8.6 準3次元図面チェック
 - 8.7 モデリング記録
 - 8.8 地質・地盤リスク情報
 - 8.9 照査記録
 - 8.10 引継シート
 - 8. 11 属性定義ファイルの設定



1.1 利用場面



OCTAS Drafterは何に使うの?

◆ボーリング交換用データのxmlファイルから3次元柱状図を作成します

国土交通省電子納品ボーリングデータ(xmlファイル)を用いて、CIMガイドラインに示されているボーリングモデルを表示することが可能です。CADで利用可能な3次元柱状図の出力も可能です。

◆平野部の軟弱地盤モデルを対象にしています

岩盤柱状図を用いて3次元地盤モデルを作成することはできません。 岩盤の地質工学的性質は非常に複雑であるため、地質専門技術者による詳細な検討を 踏まえたモデル化が必要です。

◆予察的検討をおこなうための3次元地盤モデルを作成します

【作成できる3次元地盤モデル※1の種類】

- ・ボーリングモデル
- ・土質区分ボクセルモデル※2
- ・強度(N値)ボクセルモデル^{※2}
- ・支持層サーフェスモデル
- ・ 中間層ソリッドモデル
- ・ 地下水面サーフェスモデル
- ・地形サーフェスモデル
 - ※1:モデル解像度には制限があります

※2:土質・N値のボクセルモデルは標準貫入試験を実施しているボーリングデータを対象としています

◆予察的検討とは?

- ・土質分布や強度分布の傾向をつかむ
- ・支持層の深度や起伏状況を知る
- ・おおまかな地下水分布を知る
- ・ 適切な調査箇所を検討する
- ・データに間違いが無いかチェックする
- ・より詳細な3次元地盤モデルを作成するための参考とする

◆BIM/CIM導入ガイドラインに対応した外部属性ファイルを作成します

・3次元地質解析技術コンソーシアムで提案している「3次元地質・地盤モデル継承 シート」の記録が可能です。



1. OCTAS Drafterでできること

1.2 利用上の注意点

【OCTAS Drafter利用上の注意点】

- ◆OCTAS Drafterによる地盤モデルは地盤の真の姿を現しているものではありません。地盤は不確実性を持つものであり、慎重な工学的判定が必要です。本格的な地盤モデルは、別途専門家の判断も踏まえて作成してください。
- ◆モデルを作成できる範囲と解像度には限界があります。PCやソフトウェアの性能 に依存します。
- ◆OCTAS Drafterの機能制限について

OCTAS Drafterを使用した3次元地質・地盤モデル作成には、下記制限があります。

・解析領域指定:水平方向のメッシュ数(x分割数×y分割数)は、10000以下に設定する

- ・作成可能な地層数:3層(地層境界面の入力は2面までです)
- ・地図機能:なし
- OCTAS Manager発行機能:なし
- ◆既知の不具合についてはプログラムに同梱のreadmeファイルや下記のサイトを ご覧ください。

https://www.3dgeoteccon.com/

1.3 モデルの見方

<u>目次へ戻る</u> 前へ 次へ

予察的モデルを作成して観察する視点は、モデルにみられる揺らぎ や擾乱がデータ真値によるものか、モデル作成手法に依存するものかを 判定し、ケアレスミスが無いか、他の不確定要素が無いか、調査不足で はないかを調べることにあります。

観察のポイントは次のようになります。

◆支持層モデル

- ・支持層の凹凸に特異点がないか?
- ・凹凸の形状は自然か不自然か?
- ・土質の分布と整合するか?
 など

◆土質/N値ボクセルモデル

- ・ 土質に連続性はあるか?
- ・ 土質の深度変化は地質学的に合理的なものか?
- •N値(強度)分布に連続性はあるか?
- ・連続性が途切れる部分には何か問題が無いか? など

◆地下水面モデル

- ・水位の凹凸に特異点は無いか?
- ・地域で推定される地下水の流れと整合するか?
- ・土質の分布と整合するか

など



1. OCTAS Drafterでできること

1.3 モデルの見方











1.4 ステップアップ



OCTAS Drafterは予察的な検討用の3次元地盤モデルを作成するためのソフトウェアです。本格的な3次元地盤モデル構築にステップアップするには、次のようなソフトウェアの利用をご検討ください。

【3次元地盤モデル構築ソフトウェア*の例(アルファベット順)】

♦GEO-CRE/GEO-CRE Pro

URL: https://www.oyogeotools.com/

♦Geo-Graphia

URL: http://www.geolab.jp/geo-graphia/

♦Geomap3D

URL: http://www.gsinet.co.jp/geomap3d/

Makejiban URL : http://www.godai.co.jp/soft/product/products/MakeJiban/index.htm

◆他にも探してみましょう!

※「3次元地質解析技術コンソーシアム」会員企業の製品です



1. OCTAS Drafterでできること

1.4 ステップアップ

2. 1 OCTAS Drafter について

OCTAS[®]Drafterは比較的簡単な操作で3次元 地質・地盤モデルを構築し、地盤情報の利活用を 支援するためのシステムです 目次へ戻る

前へ

- ◆BIM/CIM対応の3次元CADデータへ出力することができます
- ◆3次元モデルと同じ3次元空間において、ドローン空撮による 点群データや3次元CADデータを重ねて可視化することができます
- ◆構築した3次元地質・地盤モデルの品質や作成方法などを、 属性情報として記録することができます。





2. 2 インストールと環境設定

- ◆配布ファイルの解凍と配置
- ① OCTAS_Drafter_****_***.zip を任意の場所に解凍します
- 任意のドライブ直下に「OCTAS_Drafter_****」フォルダをコピーします ※Cドライブにアクセス権がない場合は、他のドライブでも大丈夫です
- ③ プログラムファイルの「OCTAS_Drafter_***.exe」のショートカットアイコンを作成し、デス クトップ等に置きます
- ※1 下図「dat」、「tool」、「OCTAS_Drafter_***.exe」はプログラムファイルです。 同じ場所に置き、個別に移動しないで下さい。不具合の原因になります。
- ※3 プログラムファイルのフォルダ名、ファイル名は変更しないで下さい。不具合の原因になります。



【OCTAS® Drafterの動作環境】

OS:Windows7,8,10 64bit(32bitでは動作しません) 推奨環境:RAM8GB以上

※この条件は、ご利用者のパーソナルコンピュータにてOCTAS Drafter が完全に動作することを保証するものではありません。

2. 2 インストールと環境設定



♦画面表示設定

OCTAS Drafterを利用する際に、パソコンの解像度と拡大縮小設定を確認してください。 推奨設定は、解像度1920×1080 (Full HD) 以上、拡大縮小率100%です。 Windows10における画面表示設定の方法を下図に示します。



Windows10における画面解像度の推奨設定

515			0	×
a 7-1.	ディスプレイ			
8208*	P 10 12			
57874	amt-Kaut			
■ FAIH * 770F	Windows HD Color ዘመር አመር የርሃ ቀ. ም-ሌ. የፓን የ. ይህመራር, ይያዘተዋወጣቸው ድድ ም/አኛም. Wrees inDows መር			
□ 最初とP9920 ② 思わモード	派大統小とレイアウト			
0 ##tau-7	1305			
■ starp-	125% (ME) 150%			
- 246-5	175%			
C 974-11-11-11	F(A			
II 3767922	N V			
aP 28 PC-4870919555	彼然のプィスプレイ			
X Helolayisa	38567727L-1			
31 595/#-5	- 3782492			
90-+729+57	Carsed Four-tone			
0 //-SiD 65	マイヤレス ディスプレイに通知する - アイスプレイ系の構成する			
	557m51882			

Windows10における拡大縮小の推奨設定



2.3 起動と画面構成

◆OCTAS Drafter を起動する

ショートカットアイコンより起動します

◆OCTAS Drafter の画面構成





- 2. 基本操作
- 2.3 起動と画面構成



目次へ戻る

前へ



2. 4 ビュアの構成

- ① レイヤの表示
- 「レイヤ」 ボタン を押すとレイヤ構成が表示されます 表示ボタンをオフにすると非表示になります



③ スケールの表示/非表示 「スケール」ボタンを押します



2.5 視点を変える



① 縦スケールの変更

画面左側に「縦スケール拡張コントローラ」が表示されています 直接数値を入力、またはスケールバーを動かして縦スケールを変更することが出来ます



例1) 縦5倍



例2) 縦1/10倍







2.5 視点を変える

① 回転



② 移動









2.5 視点を変える



④ XY視点(初期画面)



⑤ **YZ**視点



⑥ XZ視点





2. 6 ビュアの設定をする

① 設定ボタンを押します



② ダイアログで詳細を設定できます

🌗 Bha 🛛 🕹	🔮 BE X	🔹 Br X
福画設定 環境設定 シャドワ 投影法 ● 透視投影 ○ 平行投影 レンタリング ● スムース ○ フィヤフレーム ○ 特徴線 北西 北 北面 北西 北 北面 光源の応志 15 ○ (仰角) 光源の売志 15 ○ (仰角) 光源の売 15 ○ (仰角) 光源の売 15 ○ (御角)	 描画設定 塚焼設定 3/vPF9 マウスポタン 左 ・ 同時キー なし ● 移動 マウスポタン 右 ● 同時キー なし ● ホイール拡大方向 手前がら奥 ● 	極画設定 環境設定 SvrP3 ● 影付けねし ○ 光線と面との角度による騒影付け Darkness 小 大 30 ● OK キャンセル 適用
描画設定	環境設定	シャドウ
・投影法 ・レンダリング ・光源の傾き	・マウス操作	・影のつけ方

- ・光源の色
- ・環境光の色

③ 適用ボタンを押して設定を確認、OKボタンを押して設定を確定します

※この設定は保存されないので、常にその条件を保ちたい場合はiniファイルを確認してください 6.3参照

2. 7 OCTAS Drafterを終了する



◆終了操作

① OCTASを終了するには右上のクローズボックスをチェックします





2. 7 OCTAS Drafterを終了する

3.1 プロジェクトの概念



(1)プロジェクトとは

OCTAS Drafterが取り扱うデータは「プロジェクト」単位で扱います。「プロジェクト」は<u>右図</u>に示す、それぞれの役割で階層化したフォルダで構成され、地質・地盤モデルを作成するためのデータファイルや、プロジェクト毎の各種設定ファイルが収められています。なお、OCTAS Drafterを使用する際は、必ずプロジェクトを新規に作るか、既存のプロジェクトを再開する操作から始めます。

(2)プロジェクトを作成する

①「プロジェクト管理」パネルより「新規作成」ボタンを押します
 ②「プロジェクトの新規作成」ダイアログにて、プロジェクトの保存先フォルダ、
 プロジェクト名、地域名、座標系、および標高基準を設定し「OK」ボタンを押します
 ③プロジェクトが作成されます

(3)既存のプロジェクトを再開する

①「プロジェクト管理」パネルより「開く..」ボタンを押します ②既に作成しているプロジェクトを選択します

③作成済のモデルも画面に表示されます

💱 OCTAS Drafter		OCTAS Drafter
Model Tool		Model Tool
⇒ プロジェクト管理	「新規作成」ボタンを押します	プロジェクト管理
	プロジェクト保存先のフォルダを指定します プロジェクト名を記入します	新規作成 間√ (余 ブロジェクト名: test_180827 場所: D:/data/OCTAS D_data/test_180827 地域: test_180927 ✓ 地域: ▲ @ data3d
 プロジェクトの新規作成 (保存先: D¹/data/OCTAS プロジェクトる: test 皮標系: ● 平面直角座標系 ● UTM 9 ▼ ● ペ 電高差準: TP.(東京)等干均海面) ▼ プロジェクトの標高基準を指定します プロジェクトの座標系を指定します 	地区名を記入します JGD2011 ○ JGD2000 ○ 旧憲地系, JGD2011 ○ JGD2000 ○ 旧憲地系, QK 全て設定後に「OK」を押します	 map boring_test_180827 simple_form xml map_master outcrop_test_180827 plan_test_180827 section_test_180827 geo_test_180827 geo_test_180827 grid point land_test_180827 grid point model_master structure_test_180827

【プロジェクト作成の手順】

プロジェクトフォルダが作成されます (将来的な機能拡張を想定したフォルダも作成 されます)

3.1 プロジェクトの概念

<u>目次へ戻る</u> <u>前へ 次へ</u>

【プロジェクトの構成】



3. 2 ワークフロー



◆OCTAS Drafterを使用するおおまかな流れを解説します





3. 2 ワークフロー

(1) 柱状図の入手

<u>フローに戻る</u>

◇ 国土地盤情報センター(https://publicweb.ngic.or.jp/public/publicweb.php)にアク セスし、ボーリング交換用データ(xmlファイル)[※]を入手します。



- CU L	3CMTH PU	12.28	212
BEDKT200483566620140001.XML	2017/10/31 13:01	XML ドキュメント	44 KB
BEDKT200483566620140002.XML	2017/10/31 13:01	XML ドキュメント	54 KB
BEDKT200483566620140003.XML	2017/10/31 13:01	XML ドキュメント	42 KB
BEDKT200483566620140004.XML	2017/10/31 13:00	XML ドキュメント	48 KB
BEDKT200483566620140005.XML	2017/10/31 13:00	XML ドキュメント	47 KB
BEDKT200483566620140006.XML	2017/10/31 13:01	XML ドキュメント	44 KB
BEDKT200483566620140007.XML	2017/10/31 13:01	XML ドキュメント	61 KB
BEDKT200483566620140008.XML	2017/10/31 13:01	XML ドキュメント	51 KB
BEDKT200483566620140009.XML	2017/10/31 13:00	XML ドキュメント	45 KB
BEDKT200483566620140010.XML	2017/10/31 13:00	XML ドキュメント	41 KB

※地質・土質調査成果電子納品要領による

3. 2 ワークフロー







3. 2 ワークフロー



(4)解析領域の指定

<u>フローに戻る</u>

◇ 3次元モデルを作成する範囲を指定します。





3. 2 ワークフロー

(5)ボーリング調査範囲作成

<u>フローに戻る</u>

◇ボーリングの水平信頼限界と垂直信頼限界を指定し、ボーリング調査範囲と仮定して、 上限・下限のサーフェスモデルを作成します。

①水平信頼限界指定を設定します



②垂直信頼限界指定を設定します

柱状図選択				選択済 12	
	解析	領域指定		設定済設定済	
	水平信	頼限界指定			
	垂直信	頼限界指定	Ì		
垂直)	क्रेस-चन्र्यटानर	42F			
ポイ)	レト肖明余		5	マーカー表示	
	х	Y	Z	^	
1	-4069.525	-26505.394	-38.590		
2	-4200.150	-26579.295	-51.730		
3	-4350.868	-26591.550	-51.230		
4	-3903.755	-26530.123	-34.450		
5	-4051.968	-26560.874	-35.510		
6	-4345.858	-26619.288	-51.250	~	
			戻す		
上下市	新井 - フェ フ				
工作権	교가 가 <u>다</u>			1	
い信頼	2.1. 2. 1.			100	
	之纪(計曲)(1)			100	
回業	同縁(土田線)[)	nj		1	
		上下面サーフェス	作成		
			1		







削除するポイントを選択したら、画面左上の「終了」ボタンを 押します。



3. 2 ワークフロー



③ 上下面サーフェスを作成します

⇒ 3	3次元柱状図				
	柱地	選択済 12			
	解析	領域指定		設定済	
				設定済	
	垂直信	頼限界指定		設定済	
垂直	方向コントロールオ	ペント			
术化	ント肖明涂			マーカー表示	
	Х	Y	Z	^	
1	-4069.525	-26505.394	-38,590	D	
2	-4200.150	-26579.295	-51.730	0	
3	-4350.868	-26591.550	-51.230		
4	-3903.755	-26530.123	-34.450	0	
5	-4051.968	-26560.874	-35.510	0	
6	-4345.858	-26619.288	-51.250	· •	
		Ŧ	Eに戻す	リセット	
一上下面	面サーフェス				
α.值最小 1					
2. 信号大 100					
✓ 等高線(王田線)[m]					
上下面サーフェス作成					

・水平信頼限界と垂直信頼限界を設定後、「上下面サーフェス作成」 ボタンを押します ・α値最小、最大、等高線(計曲線、主曲線)は必要に応じて変更し てください







(6)地形モデル作成

<u>フローに戻る</u>

◇地形モデルを作成します。地形モデルは土質・N値モデルの上限境界サーフェスとして使用します。



 ※メッシュサイズ5mと10mは、国土地理院基盤地図情報数値標高モデルの5mメッシュ10mメッシュを指します。
 DEMを取得するには各ダウンロードサービスへの登録とインターネット接続環境が必要です。
 (国土地理院 <u>https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php</u> NASA SRTM <u>https://e4ftl01.cr.usgs.gov/MEASURES/SRTMGL1.003/2000.02.11/</u>)

3. 2 ワークフロー



◆解析領域と同じ範囲を取得する際に押します



◆解析領域よりも広い範囲で取得する際に押します



◆作成された地形モデルの等高線は色や間隔を変更できます





3. 2 ワークフロー

(7)土質・N値モデル作成

<u>フローに戻る</u>

◇標準貫入試験を実施しているボーリングデータを対象として土質・N値のボクセルモデルを作成します。
(標準貫入試験データが無ければボクセルモデルを作成することはできません)


3. 2 ワークフロー





◇支持層のサーフェスモデルを作成します。



フローに戻る



3. 2 ワークフロー



3. モデリング 3. 2 ワークフロー



- ◆ボーリング柱状図の土質区分をみて地層(上面あるいは下面)を対比する場合
- ①対象の地層を選択し「ポイント追加」 ボタンを押します

②ボーリング柱状図の土質区分に十字 カーソルをスナップさせます

- ③クリックすると境界面位置が確定します(確 定時の十字カーソルは赤色)
- ④対比が完了したら画面左上の 「終了」ボタンを押します

全でチェック 全てグリア OK キャンセル



◆対比データ(txtファイル)を読み込む場合

「ファイル指定」ボタンを押し、対象ファイル[※]を選択します ※対象ファイルは、X , Y , Zのカンマ区切りtxtファイルです。



対比が完了したら「保存」ボタンを押します パラメータ指定をした後に、「補間」ボタンを押し、サーフェスモデルを計算します





3. 2 ワークフロー

サーフェスモデルが妥当な形状かを確認し、「地層モデルの作成」ボタンを押して地層ソリッドモデルを作成します



3. 2 ワークフロー







納する

3. モデリング

3. 2 ワークフロー

(11) 属性情報記録·管理

フローに戻る

◇BIM/CIM納品用の外部属性ファイル「3次元地質・地盤モデル継承シート」を作成します。



①3次元地質・地盤モデルの継承に必要な情報を、関係者と協議の上 決定し、1~9の各項目毎に3次元地質・地盤モデル継承シートへ

※各項目の詳細は「3.9 属性情報記録・管理」「8.3次元地質・ 地盤モデル継承シート」を参照ください。

1. 管理情報	~	
2. 属性情報	~	
3.品質情報	~	
4. 地質調査性能基準	~	
5. 準3次元図面チェック		
6.モデリング記録]
7. 地質·地盤リスク情報		
8. 照査記録		
9.引継シート]
登録 終了 ☑ 登録時、既存ファイリkのバックアッjを作成する		

OK

42

3.3 3次元柱状図



(1)3次元柱状図とは

OCTAS Drafterは柱状図xmlデータより3次元柱状図を作成します。 3次元柱状図は「CIM導入ガイドライン」におけるボーリングモデルに該当します。

(2) 柱状図の入手から3次元柱状図の表示までの手順

3次元柱状図は次の手順で作成し画面に表示します。

①柱状図データの入手

対応データ形式:ボーリング交換用データ(xmlファイル) DTD Ver 2.1, 3.0, 4.0

(地質・土質調査成果電子納品要領による)

②柱状図の登録

・プロジェクトにxmlファイルを登録する

③3次元柱状図の更新と表示

・xmlファイルを登録後に「3次元柱状図更新」ボタンを押して3次元柱状図を表示する ④他の3次元柱状図

・「3次元柱状図更新」ボタンを押すと次の柱状図も生成されます BOR.DXF: 3次元CADデータとしての柱状図(3次元CADに読み込み使用します)

(3) 柱状図の編集

・xmlファイルを選択し「編集」ボタンを押すと、柱状図エディタが開きxmlファイルの編集が可能です。 ・編集後は必ず「3次元柱状図更新」ボタンを押してください。





OCTAS Drafterの3次元柱状図

種類	概要
ボーリングモデル	地質・土質調査業務で作成されたボーリング柱状図や柱状図から層序等 を抽出し、孔口の座標値、掘進角度、方位から3次元的な位置に配置し、 必要な属性情報を抽出することにより作成するモデルのことである。 本ガイドラインでは、ボーリングモデルのうち、以下の調査結果モデル と推定解釈モデルに区分するものとする。
調査結果モデル	地質・土質調査業務の調査結果であるボーリン グ柱状図(ボーリング交換用データ、または、電 子簡略柱状図)を、孔口の座標値・標高値、掘進 角度、方位から3次元空間上に配置・表現したも のである。
推定・解釈 モデル	既往資料を始め、地質・土質調査業務で作成されたボーリング柱状図や各種室内・原位置試験結果、及び2次元断面図等の情報を活用して地質・ 工学的解釈を加え作成した柱状体モデルを、孔口の座標値・標高値、掘進角度、方位から3次元空間上に配置・表現したものである。

BIM/CIMガイドランにおけるボーリングモデル

引用:BIM/CIM活用ガイドライン(案)第1編 共通編 令和3年3月 国土交通省

3.3 3次元柱状図



(4)作成した柱状図モデルのビュア設定

◇N値モデルのビュア設定





3.3 3次元柱状図

◇土質岩種区分のビュア設定



データ: Simple Section ステップ: Step 0 ・	データ: Simple Section ステップ: Step 0	データ: Simple Section ステップ: Step 0 ・
 ● 持行ズ メッジュ ● 項目の値によって色を変える 項目: Name1 (min:, max:) カラースケール ○ 固定色 ●: 	 ● サイズ メッシュ ○ 項目の値によって大きを変える 項目: Name1 (min:, max:) スケールファクタ: 10 (m/億) ④ 固定サイズ サイズ: 1 (m) 	■J441E設定 色 サイズ メッジュ 周方向分割数 20 (4 - 40)
アニメーション エクスポート 適用	アニメーション エクスポート 適用	アニメーション エクスポート 適用
色設定	サイズ設定	メッシュ設定
・項目 ・カラースケール ・色	・項目 ・スケールファクタ ・サイズ	・周方向分割数

3. 4 土質/N値モデル



(1) 土質/N値モデル作成の目安

土質/N値ボクセルモデルを作成する目安は下記のようになります。土質/N値ボクセルモデルは、あくまで も離散的なデータから数学的に計算された結果に過ぎません。モデルの取り扱いは、地質・地盤の専門 家を交えた詳細な検討が必要になります。

①ボーリング本数と配置

・3本以上必要です(3本以上ないと地層の真の傾斜を把握できません)

・近接する3本を結ぶ線分で作る三角形が、鋭角/直角三角形となる



②隣接するボーリング間隔

・平均的なボーリング深度の3倍以内*が目安となります



③隣接するボーリング孔口の高低差

・概ね短い孔の深度の1/20~1/10が目安※となります





※この距離はボーリング調査自体の間隔・数量の基準にはなりません。ボーリング間隔・数量は各機関の調査仕様や目的に 従って下さい



(2) N値モデルの空間補間法

・3次元空間補間法はIDW(Inverse Distance Weighted): 逆距離加重法を使用しています。

・IDWは求める点の近傍の測定点を抽出し、距離の逆数に応じた重みをかけて補間する手法です。

IDW(Inverse Distance Weighted):逆距離加重法
求める点の近傍の測定点を抽出し、距離の逆数に応じた重み
をかけて補間する。
$$F = \sum_{i=1}^{n} w_i f_i = \sum_{i=1}^{n} \frac{h_i^{-p}}{\sum_{j=1}^{n} h_j^{-p}} f_i$$

F : 求める点の値 (補間値)
 w_i : 測定点の重み
 f_i : 測定点の値
 h_i : 測定点と求める点との間の距離
 p : 距離の乗数

(3) 土質区分モデルの空間補間法

・土質区分の空間補間には、IDWの考えを利用しています。各測定点による重み(求めたい点から各 測定点までの距離の逆数と任意の乗数から算出)を計算し、測定点の土質区分モデル(後述) 毎にそれらを足し合わせます(土質区分ごとのwi)。この値を、求める点に対する土質区分モデル毎 の影響度合いを示すものと仮定します(全体を1としたときの割合が計算されます)。

・この値が最も大きいものを、求める点での土質区分モデルとしています。

※本手法は今後も改良を進める予定です。

3. 4 土質/N値モデル



(4) 土質区分モデルとは

- ・土質区分モデルとは、土質区分を空間補間処理によって3次元マッピングするために、ボーリングの土 質・岩種分類を表3.4.1に示す区分で簡略化したものです。
- ・土質・岩種分類と土質区分の対応表は「OCTAS_Drafter_x64フォルダ」内の「補間用土質区分 コード対応表.csv」です。この対応表から漏れるものについては新規に登録する必要があります。



図3.4.1 土質/N値モデルの作成例

浅部地下構造の3次元モデリング:沖積基底面モデルとボクセルモデルとの統合(木村・花島 2013)

表3.4.1 土質区分モデル

土質区分	割り当て コード	土質区分例
表土・人工土	10	埋土、盛土、表土、人工土 等 約2300種類
П- А	20	ローム、シラス、火山灰 等 約390種類
腐植土	30	腐植土、泥炭、有機質度 等 約280種類
粘性土	40	粘土、粘性土、泥、シルト 等 約1600種類
砂質粘性土	50	砂質粘土、泥砂互層、砂質粘土等約1200種類
砂質土	60	砂、細砂、粗砂、シルト質砂 等 約2800種類
砂礫	70	礫、砂混じり礫、玉石、崖錐等約1070種類
岩盤	80	花崗岩、土丹、軟岩 等 約3400種類



3. 4 土質/N値モデル

3.5 支持層モデル



(1)支持層とは

支持層とは構造物の鉛直荷重を基礎や杭で伝達し、その構造物を支えることができる地盤または地層のことを指します。

支持層はN値50以上が5m続く区間の上端を抽出しています。すなわち、N値50以上6点の上端 試験深度を示しています。支持層が確認されないボーリングについては、その孔の下端以下に存在す るものとして扱っています。

(2) 支持層の注意点

支持層は構造物の規模・基礎形式により異なるため、各機関の基準を参照してください(下表)。 支持層の判断はN値だけではなく、周辺の地質形成環境や地質の連続性などを考慮して決定することが 必要です。N値の特性や問題点については既存の地盤調査資料を参照してください。

	上部構造物	良質なす	/#= + x	
規定機関・出典寺	基礎形式等	粘性土	砂質土	備考
	橋梁·直接	N≧20	N≧30 (岩盤、砂礫層も同様)	層厚は5m以上にて下位に 軟弱層がない場合
東北地方建設局・ 設計マニュアル	橋梁·杭	20≦N≦30 (堅固な層は N>30)	30≤N≤50 (堅固層はN>50)	層厚は5m以上にて下位に 軟弱層がない場合
日本道路協会・ 道路橋示方書	橋梁・直接ケーソン 等	N≥20 (qu≥0.4 N/mm²)	N≥30 (砂礫層も概ね同様)	良質な支持層と考えられて も、層厚が薄い場合や、その 下に軟弱な層や圧密層があ る場合はその影響の検討必 要
日本道路協会・ 道路土工 – 擁壁工指針 道路土工 – カルバート工 指針	擁壁・カルバート等	N≧10~15 (qu≧100~ 200kN/m²)	N≧20	良質な支持層と考えられて も、層厚が薄い場合や、その 下に軟弱な層や圧密層があ る場合はその影響の検討必 要
日本道路公団・ 設計要領第二集	橋梁・直接および杭	N≧20 (直接基礎の場合は 地表面下5m以内)	N≧30(直接基礎の場合 は地表面下5m以内)	良質な支持層と考えられて も、層厚が薄い場合や、その 下に軟弱な層や圧密層があ る場合はその影響の検討必 要

各機関の支持層の目安例

出典) https://tohoku-geo.ne.jp/technical/qa/05/index.html



(3)支持層モデルの作成方法

支持層サーフェスモデルは抽出した支持層の標高値について、BS-Horizon法を用いて補間したものです。

※本手法は今後も改良を進める予定です。

(4) 支持層条件の変更方法

デフォルトで指定されている支持層条件は次の手順で変更します。

①「3次元柱状図」パネルの「設定」ボタンを押して設定パネルを開きます



3.5 支持層モデル



②設定パネルの「支持層抽出設定」に任意の分類 と値を入力し「閉じる」ボタンを押す

BoringDXF Ver2019.	10.28.	888				-	3		×
30柱状図(DXF)出 出力する形式 ・地質区分+Nfi 20ミニ柱状 土質区分の幅 Nieの幅 テキスト高さ	出力読 直 の 図を出 ((m) ((m)	定 ・地質区分+ 出力する 2 5 1	岩盤		出カす 1 1 1	る岩盤: 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22	⊐7 Ŧ	判定項E	
	Níi		 待						
全土質対象(必須) 土質区分毎の設定	50	- ~~ 回以上 5							
砂質土 💌		回以上 5	回以上	1					
*お性土 💌		回以上 5	回以上	1					
		回以上 5	回以上	<u>.</u>					
		回以上 5	回以上	1					
		回以上 5	回以上	<u>.</u>					
		回以上 5	回以上						
-		回以上 5	回以上	1					
		回以上 5	回以上				閉	Ĵā	
×									

④「支持層モデリング」パネルの「支持層指定」 にて支持層条件が記録されたファイルを選択し ます

🗅 支持層モデリング

支持層指定

支持層指定

パラメータ指定

③「3次元柱状図」パネルの「3次元柱状図更新」 ボタンを押します



csv設定済 BOR 支持層上面 全土質.CSV ・土質に関係なく一律のN値で支持層とする BOR_支持層上面_全土質.CSV BOR 支持層上面.CSV ・土質毎の支持層条件とする ・指定土質が互層の場合は深い深度を採用する 設定済

⑤「支持層モデリング」パネルの「補間」ボタンを押して支持 層上面のサーフェスモデルを計算し直します



補間

<u>目次へ戻る</u> <u>前へ 次へ</u>

3. モデリング

3.5 支持層モデル

3. 6 地層モデル



(1) 地層モデルの作成方法

地層のソリッドモデルを作成する手順は次のようになります。

①各層の境界を3次元空間で地質対比する

②各層の境界面のサーフェスモデルを計算する

③②のサーフェスモデルを用いて、地形面と信頼限界下面(ボーリング下面)間に定義された固まり(ソリッド)をグループを加味して上位から順に切断し、個々の地層ソリッドモデルを作成する

(2)地質対比とは

地質対比は、ボーリング孔間で同じ地層を同定し、その上面あるいは下面の対比線を描画していく作業です(下図)。本機能では3次元空間で地質対比をおこなうことができます。なお、境界面サーフェスモデルの計算には、対比線の端点や折れ点の座標点を用います。



ボーリング孔間の地質対比イメージ



(3) 地質対比のポイント

①生成過程の考慮

地層の生成過程を考慮し対比の考え方を変えなければいけません



3. 6 地層モデル



③地層端部の考慮

地層端部の形状は、地質学的に矛盾の無いような形にします。例えば、下図のようにボーリング間で地層構成が変わり対比できないものについては、状況に応じて中間付近で消失する対比線を作成します。



ボーリング間地質対比の中間処理例

④制約条件

ボーリングに対比できる境界点が無い場合、下記の制約条件(不等号条件)を加えます



ボーリングデータにおける制約条件の例



(4) 地層ソリッドモデルの形式

地層ソリッドモデルは、B-Reps形式のポリゴンメッシュソリッドとして、CADデータ交換用のdxfファイル (ファイル名:geo_solid_model.dxf) にて出力されます。



CADソフトでソリッドモデルのdxfファイルを開いた状態

3.7 地下水面モデル



(1) 地下水面とは

地下水面はボーリング柱状図に記録されている地下水位としています。

(2)地下水位面モデルの定義

地下水面モデルは各ボーリング孔の地下水面データを抽出し、BS-Horizon法を用いて補間したサーフェス モデルです。

(3)地下水面モデルの注意点

地下水はボーリング孔内水位を使用していますが、測定方法や測定時期が統一されていないものについて は扱いに注意してください。一般に地下水面の判定は、同じ観測条件/観測方法や同じ時期での観測など、条 件を同じにする必要があります。

このような条件が同じにできない、観測条件のわからないデータを扱う場合は、本モデルは参考程度に留めて おいてください。地下水の特性や問題点については既存の地盤調査資料を参照してください

※本手法は今後も改良を進める予定です。



3.7 地下水面モデル

3.8 属性情報記録·管理



(1)3次元地質・地盤モデル継承シートとは

3次元地質・地盤モデル継承シートは、3次元地質・地盤モデルの管理情報・属性情報に加え、モデルの 根拠となる地質調査の品質情報、モデルのアルゴリズムや妥当性、照査・引継に至る情報を一つのワーク シートに記録するものです。3次元地質・地盤モデル継承シートにより、3次元地質・地盤モデルの独り歩き (用途外利用や検証・更新できないモデルとして流通してしまうこと)を抑止することを可能とします。

3次元地質・地盤モデル継承シートへの記録の対象とする項目を下表に示します。なお、3次元地質・ 地盤モデル継承シートを記録するアプリ「GIMROKU.exe」は、3次元地質解析技術コンソーシアムで開 発され、MIT License(<u>https://licenses.opensource.jp/</u>)のフリーソフトウェアとして公開されてい ます。OCTAS Drafterはそのライセンスに準拠し「GIMROKU」をプラグインとして搭載しました。



「3次元地質・地盤モデル継承シート」の記録項目*1

項目 番号	項目	記録内容	技術マニュアル ^{※1} における 関連章節および参考資料
1	管理情報シート	対象事業と事業段階毎の管理情報	「7.5 属性情報」
2	属性情報記録シート	3次元モデルの形状情報と属性情報	「7.5 属性情報」
3	品質情報記録シート	地質調査情報の種類と数量	「5.1 品質管理の着目点」
4	地質調査性能基準記録シート	地質調査性能基準	「3.7 モデルの信頼性」
5	準3次元図面チェックシート	準3次元図面の品質確認	「5.4 図面データ等の品質」
6	<u>モデリング記録シート</u>	モデルのアルゴリズムや妥当性	「6.6 補間パラメータ/ログの記録」
7	<u>地質・地盤リスク情報</u> 記録シート	地質・地盤リスク情報	「4.7 地質・地盤リスクの継承」
8	照査記録シート	照査結果	「4.8 照査のタイミング」
9	<u>引継シート</u>	引継情報	BIM/CIM活用ガイドライン(案)共通編 ^{※2}

※1 3次元地質解析技術コンソーシアム. 2020.「3次元地質解析技術マニュアル」
 ※2 国土交通省. 2020. BIM/CIM活用ガイドライン(案)共通編



(2)3次元地質・地盤モデル継承シートの記録フロー

3次元地質・地盤モデル継承シートを記録する流れを下図に示します。



「3次元地質・地盤モデル継承シート」の記録フロー※1に追記

※1 3次元地質解析技術コンソーシアム. 2020.「3次元地質解析技術マニュアル」を修正

4. モデルをみる

4. 1 プロジェクト内のファイル管理



◆「モデルを開く」、「点群を開く」より開いたデータはすべて、"プロジェクト"に取り込み、管理します

プロジェクトが開かれていない場合、「モデル」および「点群」ボタンは選択できません。プロジェクトを新規に作るか、既存のプロジェクトを開いたうえで操作を進めてください。



(1)ファイルの読み込み

①「モデル」ボタンを押し、可視化したいデータを選択します



②データの格納先を選択します

【読込に対応するファイル】・dxf (Ver2004以前)





4.1 プロジェクト内のファイル管理

③モデルが表示されます

(読み込んだ時点では、モデルの真上が表示されます)



※「地図関連データ」を取り込みたい場合は、 モデリングパネルの「地図 |→「インポート」の順で選択し データの取り込み作業を行います

(2)ファイルの削除

プロジェクトツリーで該当データを選択し、「データを 閉じる」ボタンを選択します





【注意】

読み込みファイルは、指定した格納先のプロジェクトフォ ルダ内にコピーとして保存されます。読み込みファイルが フォルダ内に重複しているとエラーが生じますのでご注意く

4. モデルをみる

4.2 点群データ



◆RGBの色付き点群データを表示します

①「点群」ボタンを押し、可視化したいデータを選択します



② 点群ファイルの座標基準(測量・数学)を指定しOKを押します 点群を間引き表示する場合は、「間引き表示」を選択し、点数を指定します



③ 点群が表示されます





4.2 点群データ

④ dxf ファイルと重ねることもできます



⑤ 点群のポイントサイズを変更することができます





4.2 点群データ





パソコンのスペック毎の点群データのファイルサイズと読み込み時間



◆テクスチャ情報を持つVRMLデータを表示します

①「モデル」ボタンを押し、可視化したいデータを選択します



② モデルが表示されます



【VRML (.wrl)データの作成】

GEO-CREで作成できます(GEO-CREのマニュアル"VRMLデータ"を参照ください)

4. モデルをみる

4. 4 オクタファイル



- ◆オクタファイル(拡張子:octa)は、様々なデータを一つに統合してOCTASで簡単に読み込むためのファイル形式です
- ◆オクタファイルのダブルクリックでOCTASが起動しモデルをみることができます
- ◆オクタファイルにはパスワードを設定できます

※OCTAS Drafterプロジェクトは、オクタファイルにすることができません

(1)オクタファイルの作成方法

①データファイルとデータファイル名.iniを一つのデータセットにしてで、zipにて圧縮します ②圧縮したファイルの拡張子(.zip)を.(octa)に書き換えます。このファイルがオクタファイルとなります

【パスワード付オクタファイル作成方法】

・パスワード付zip圧縮ツールを使用します(下図はフリーソフト「ALZip」の例)

) 新規作成			×	
圧縮するファイル道	1.ha	全体サイズ:	1.48 MB	
🍌 最上位			• 💼	
ファイル名	~	形式 ファイル	ディレクトリ	
퉲 xml		ローカル デ	K:¥三次元資料	
•			•	
作成する圧縮ファィ	ルの設定	追加(A) 削除(D)	新規フォルダ(F)	
ファイル名(N)	解析ツール¥◆OCTAS¥	sample_data¥JudGe1_sample	xml.zip	
王縮形式(R)	ZIP •	ルプ		
分割サイズ(S)	分割しない	✓ MB –		
王縮方法(T)	圧縮率最大	▼ □ ソリッド圧縮(M)	NIZ	
エンコード(L)	現在のOS言語	- <u>NIZ</u>		
その他オプション	□ 圧縮後、元ファイル剤			
基本設定(B) パ	スワード(P))	圧縮	キャンセル	
		パスワード作成		
		パスワード設定		
		パスワード(P)	testtest	
		確認(R)	testtest	
	Ļ	□ パスワードを	7スク(*)表示(M)	
		暗号化アルゴリズム	(<u>0</u>)	
		ZIP 2.0 互换	 ヘレプ 	
			ОК	キャンt



(2)オクタファイルを読み込む

①「モデル」ボタンを押し、可視化したいデータのオクタファイルを選択します



② パスワードを設定している場合はパスワードを入力します



③ データが表示されます



※図はOCTASの画面表示です

4. モデルをみる

4.5 モデル柱状図データ



- ◆XMLで作成されたモデル柱状図をボクセル状に可視化します
- ◆モデル柱状図の数が多い場合は、オクタファイルにすることを推奨します※

【対応するファイル】

- ・XML形式(DTD Ver2.1)のモデル柱状図
- ・モデル柱状図.ini

※上記の2種類のファイルを同じフォルダに入れてオクタファイルを作成し、オクタファイルとして読み込みます

【モデル柱状図作成に関する注意点】

①土質区分はあまり多くの種類を可視化できないので、十数種類程度の土質区分にまとめる

例) 粘土、シルト、有機物混り粘土、シルト質粘土 ⇒ 粘性土
 砂、シルト混じり砂、粗砂、細砂 ⇒ 砂
 礫、砂混じり礫、シルト混り礫、玉石 ⇒ 砂礫

②まとめた土質区分にて「モデル柱状図.ini」ファイルを作成する

③可視化できるモデル柱状図の目安(64bit版)

100本 © (読み込み時間約1秒。メモリ使用量約200MB)

500本 ◎ (読み込み時間約5秒。メモリ使用量約300MB)

1000本 O(読み込み時間約10秒。メモリ使用量約400MB)

1500本 O(読み込み時間約20秒。メモリ使用量約500MB)

5000本 △ (読み込み時間数分。メモリ使用量約1.5GB)

10000本 × (大量にメモリ(約3GB)を消費するので実用的ではない)



①「モデル」ボタンを押し、可視化したいデータを選択します



② モデル柱状図が表示されます


4. モデルをみる

4. 6 物性データ

<u>目次へ戻る</u> <u>前へ</u>次へ

◆物理探査データをUCD化したデータを可視化します

【対応するファイル】

・UCD (.inp)形式の物理探査データ {(GeoPlotファイル名)_(測線測量情報ファイル名).inp} (ini形式のvisualizationレイヤのデータ: OCTASでレイヤ作成すると作成されるファイル)

【UCD (.inp)形式の物理探査データ作成】

GEO-CREで作成します(GEO-CREのマニュアルを参照ください)



①「モデル」ボタンを押し、可視化したいUCDデータ(.inp)を選択します



② モデルが表示されます

③ レイヤを表示させ、「新規可視化レイヤ作成」ボタンを押します



- ④ レイヤとデータ情報が表示されます
- ⑤「カラースケール」ボタンを押します





※図はOCTASの画面表示です

4. モデルをみる

4. 6 物性データ



⑥カラースケールを調整します





4. 6 物性データ

◆visualizationレイヤの設定

- ① 設定ファイルで出来ること
 - カラースケールの設定

②設定ファイルの基本設定

- CSVファイルとする
- ・ 文字コード: Shift-JIS
- 改行コード: CRLF

パラメータ名	パラメータ番号	設定内容
レイヤ種別	1	UCDの種類 (8 : UCD Elemental 9 : UCD Nodal)
レイヤ名	2	レイヤの名称
対象データセット	3	未使用
対象ステップ番号	4	未使用
予備	5	予備
可視化項目	6	可視化項目のインデックス (0始まり)
カラースケールパターン	7	カラースケールパターン (保存済みのパターンを指定する際に使用する)
最小値	8	カラースケール最小値。未指定の場合はデータ最小値
最大値	9	カラースケール最大値。未指定の場合はデータ最大値
分割数	10	カラースケール最大値。未指定の場合は10
カラースケール描画モード	11	カラースケール描画モード (1:連続色(デフォルト) 2:区分色)
最小値underの描画	12	最小値underの描画 (0:無し(デフォルト) 1:有り)
最大値overの描画	13	最大値overの描画 (0:無し(デフォルト) 1:有り)
無効値	14	無効とする値
描画モード	15	描画モード

1-2断面_ascii 測線座標_1-2断面2_vis.ini - メモ帳	×
ファイル(E) 編集(E) 書式(<u>O</u>) 表示(⊻) ヘルプ(<u>H</u>)	_
# # saved at 2017/05/18 16:56:51	*
8,Visualization Layer,2,0,,1,,200,3000,10,1,1,1,,,,,,,,,,,,,,	,,

名前は (inpファイルの名称) _visとします 拡張子は*.ini です

5.1 モデルの任意断面



① 切断ボタンを押します





切断面を変更したいときはリセットボタンを 押します

VICINEL CONTRACT	
切断面指定	リセット
切断面をフ	アイル指定
表示方法	
○ 片側のみ表示	
◎ 1番目 ● 2番	#目 💿 断面のみ
◎ オフセット表示	
x 0.0 😭	
у 0.0 💽	
z 90.0 🕀	
18	7
01:	,



5. 応用操作 5. 1 モデルの任意断面

④ "オフセット表示"の設定値変更、または マウス操作での回転・移動・拡大縮小により見え方を調整します





⑤ "片側のみ表示"にチェックを入れると各パーツの断面を見ることができます



5.2 モデルのスライド断面



①"スライド断面ボタン"を押し、切断面指定ボタンを押します



② 切断線を引き、<u>終点でダブルクリック</u>します





【表示調整の詳細】



 Stepに表示したい間隔を入力し、
 ボタンと+ボタンを押して、断面を表示します

 切断線で分割されたモデルの+側または – 側のみ表示します
 切断線で分割されたモデルの断面部分のみ表示します
 手動で断面をスライド表示させることが出来ます
 手動で断面をスライド表示させることが出来ます



5. 応用操作 5.2 モデルのスライド断面

○ 任意垂直断面

断面のみ

+

⑤ スライド断面の表示を+側にすると、+側のブロックが表示されます



④ ーボタンを押すとー側にモデルが足されて行くように断面がスライド表示されます



⑤ スライド断面の表示を – 側にすると – 側のブロックが表示されます



5.2 モデルのスライド断面



⑥ +ボタンを押すと+側にモデルが足されて行くように断面がスライド表示されます



⑦ スライド断面の表示を断面のみにすると切断線の断面のみが表示されます



💱 スライド断面	\times
Brittin	
切断	
スライド方向	
● X ○ Y ○ Z ○ 任意垂直断面	
初期位置 14887.0 (14812.0 - 14962.0)	
表示	
● + 例 ● - 例 ● 助面のみ	
Step 1.0 🜩 - 14887.0 + リセッ	
•	
間にる	
閉じる	



⑧切る/切らないボタンをoffにするとそのレイヤは切断されません



⑨断面を塗る/塗らないボタンをoffにするとそのレイヤの切断面はベタ塗されず、 そのレイヤの中が見えるようになります



5.3 断面を出力する

<u>目次へ戻る</u> <u>前へ</u>次へ

①「切断ボタン」または「スライド断面」で表示させた断面を 断面出力のボタンを押して出力します



② 名前をつけて保存します 断面図は dxf ファイルで保存されます





5.3 断面を出力する

5.4 出力断面図の仕様









※図はOCTASの画面表示です



5.4 出力断面図の仕様

5.5 情報表示



◆ 設定ファイル(*.ini)にあらかじめ登録しておいた情報をモデルに重ねて表示することが可能です

- 情報ボタンを押します(属性ファイルに情報が登録されているときに表示されます)
- 情報はレイヤ単位で設定します。一つのレイヤに複数の情報を登録できます





「情報ボックス」は、表示位置を設定することができますが、マウスの左クリックで掴んで動かすことが できます

レイヤが非表示の場合は対応する情報も表示されません



「情報ボックス」には「アイコン」を貼り付けたり、関連ファイルへの リンクを貼り付けることができます



5.5 情報表示

• マーカーはモデル座標系で管理されているので、モデルと一緒に動きます







5. 6 ウォークスルー表示



◆モデル上を自由に動き回り様々な視点から見ることができます





5. 6 ウォークスルー表示

• マウスを画面上でドラッグしながら動かすと視点も一緒に動きます





5. 7 オートウォークスルー



◆ウォークスルーのパスファイルを作成することで、パスに沿って自動で移動します。

ウォークスルーパスは次の手順で追加します。

①ウォークスルーのルートに沿ったパスファイルを用意します。

パスファイルはGISやCADソフトを使用してルートの曲線を作り、その曲線上の等間隔の座標点を 作成します(座標点を作成する方法は使用するソフトのマニュアルを参照ください)。座標点が曲 線上で等間隔であれば、等速度で移動することが可能です。等間隔でなくてもエラーになることはあ りません。

作成した座標点をExcelで編集できるテキスト形式でエクスポートします。

②Excelを用いて①の座標点を読み込み編集します。

パスファイルのデータ形式は、平面直角座標系(JGD2011 第〇系)における、カンマ区切りの x,y,zファイル(x:東西方向m系座標、y:南北方向m系座標、z:オフセットm値)になりま す。オフセット値とは標高モデルに対する視点の位置になります。

【パスファイルのデータ例】

45443.35042,-138901.0837,5 45444.66691,-138902.5886,5 45445.98342,-138904.0935,5 45447.29649,-138905.5945,5 45448.61151,-138907.0977,5 45449.92797,-138908.6025,5 45451.23529,-138910.0970,5 45452.55043,-138911.6003,5

③Excelを使用して②のファイルを任意の名称でcsv形式で保存し、保存したパスファイルの拡張子を *.wtp に変更します。

④所定のフォルダにパスファイルをコピーします。 「data3d¥map¥monitor_〇〇市」

⑤OCTAS Drafterを起動し、ウォークスルー画面にてパスファイルを選択するメニューが出れば登録完 了です(OCTAS Drafterは所定のフォルダにパスファイル(拡張子*.wtp)が格納されていると、 ソフトの再起動後に自動で読み込まれる仕様になります)。



5.8 開始初期視点の保存

5. 応用操作

プロジェクトファイルの開始初期視点は変更が可能です。OCTAS Drafterにて任意の視点に動かした後に、操作パネルのプロジェクト管理にて「保存」ボタンを押すと、プロジェクトファイルにその視点が登録されます。登録された視点が、次にOCTAS Drafterを立ち上げた際の開始初期視点となります。 地上視点の場合は、ウォークスルー画面の状態でプロジェクトを保存すると視点が登録されます。 ただし、本操作をおこなうと、それ以前の視点は上書きされるのでご注意ください。



開始初期視点の登録方法

5.9 凡例の編集



◆ビューア内に凡例を表示させます。

凡例は、下記のgeoriskフォルダに別途作成した凡例画像を格納し、使用しています。

格納先例)〇〇市_鳥瞰001¥data3d¥georisk ファイル名)tunami_regend.png

凡例を変える場合は、別途、画像処理ソフト等で凡例を作成後、幅300ピクセル以内の画像として 出力し、上記のファイルを置き換えてください。対応する画像ファイルのフォーマットはpngとjpgです。背 景を透過させて表示する場合は、pngフォーマットを推奨します。

凡例を削除する場合は、凡例画像ファイルをgeoriskフォルダより削除してください。



凡例画像の格納先と対象ファイル





6.1 設定ファイルの構成

◆設定ファイル(*.ocwr)にてOCTAS Drafterの表示設定をおこないます

- ① 設定ファイルで出来ること
 - ・ プロジェクト情報の設定
 - 3次元柱状図情報の設定確認

②設定ファイルの基本設定

- CSVファイルとする
- ・ 文字コード: Shift-JIS
- 改行コード: CRLF
- ・ 【データ区分】、【レイヤ名称もしくはキー名称】、【項目に応じた設定内容・・・】

データ区分	データ内容
0	プロジェクト情報
1	3次元柱状図情報
2	土質N値モデリング情報
3	支持層モデリング情報
4	中間層モデリング情報
5	地下水モデリング情報
6	属性情報管理の情報

【設定ファイルの例】		
■ teibo.com・メモ焼 コークルの、使用の、使用の、使用の、たちがの	×	-
0. frojectPath, "D:/dsta/teibo" 0. frojectPath, "D:/dsta/teibo" 0. frojectPath, "D:/dsta/teibo" 0. foorinate.2 0. sortenNo.5 0. foorinate.2 0. sortenNo.5 0. foorinate.2 1. fooring.2 1. foor		•
(U)(ボーリンクテータ下面,txt,0 60) area.dxt,0 60) 世形モデル(cysv,0 60) 支持層上面,txt,0 60) 支持層上面,txt,0 60) Alagy low,txt,0 60) Alagy low,txt,0		•
< x/2 <	>	

設定ファイルの各行一文字目がデータ区分です

設定ファイルは、カンマ区切りのデータなので、 Excel や テキストエディタ で編集可能です

先頭が「;」(半角セミコロン)の行はコメント 行とみなします

6. 2 プロジェクト情報



- ・ キー名称と設定内容のペアを1項目1行で出力します
- キー名称及び設定値は全て半角英数とします

キー名称	設定内容
ProjectPath	プロジェクトフォルダのパス
ProjectName	プロジェクト名称
Coordinate	座標系 1:日本平面直角座標系(JGD2000) 2:日本平面直角座標系(JGD2011) 3:日本平面直角座標系(TokyoDatum) 4:UTM
SystemNo	系番号を指定
LocalDatum	標高基準名
CurrentArea	カレントの地域名
Area	地域IDと地域名をカンマ区切りで指定 1、"地域名"のみ
NextAreaNo	次の地域ID







6. 3 3次元柱状図情報

- ・ レイヤ名称と以下の設定項目値をカンマ区切りで 1 レイヤ 1 行で出力します
- ・ レイヤ名称は全角および半角英数、その他の設定値は全て半角英数です

キー名称	設定内容
BoringModelLoaded	ボーリング柱状図がロードされているか? ロードされている場合:1
AnalysisBox	解析領域およびグリッドサイズ情報 xyzの最小、最大、水平方向グリッドサイズ、垂直方向グリッドサ イズをカンマ区切りで指定
HorizontalConfidenceLimit	水平方向信頼限界オプション 0:ポリゴン指定 1:地図指定 2:指定無し ※デフォルト:0
HorizontalConfidenceLimitModel	水平方向信頼限界ポリゴンモデル名
HorizontalConfidenceLimitModel Loaded	水平方向信頼限界ポリゴンモデルがロードされているか ロードされている場合:1
BoringSurfaceParam	ボーリング上下面補間パラメータ
BoringSurfaceLoaded	ボーリング上下面がロードされているか? ロードされている場合:1
DemType	地形モデル種別 1 : ボーリング正面 2 : DEM(ネットから取得) 3 : DEM(ファイル指定) 4 : 指定標高
DemVersion	DEMバージョン 1:BSHorizonグリッド 2:oyoDBデータ(xyzのcsvファイル ※1に関しては今後開発予定
DemHeight	指定標高時の標高値 ※DemType=4の際に値を表示
DemModelLoaded	地形モデルがロードされているか? ロードされている場合:1



6. 4 土質N値モデリング情報



- ・ キー名称と設定値のペアを 1項目 1行で出力します
- キー名称及び設定値は全て半角英数とします
- ・ デフォルト値のままで良い項目は指定する必要ありません

設定項目	内容
区分番号	2を指定
設定項目キー	設定項目のキー名称
設定項目値	設定項目の値

キー名称	設定内容
InterpolateParam	ボクセル補間パラメータ
VoxelModelLoaded	ボクセルモデルがロードされているか ロードされている場合:1







6.5 支持層モデリング情報

- ・ キー名称と設定値のペアを 1項目 1行で出力します
- キー名称及び設定値は全て半角英数とします
- ・ デフォルト値のままで良い項目は指定する必要ありません

設定項目	内容
区分番号	3を指定
設定項目キー	設定項目のキー名称
設定項目値	設定項目の値

キー名称	設定内容
SupportLayerParam	サーフェス補間パラメータ
SupportLayerPointSource	以下をカンマ区切りで出力 ソース点データ: CSVファイル=0 中間層レイヤ=1 CSVタイプ(CSVファイルの場合): 未設定=-1 BOR_支持層上面_全土質.CSV=1 BOR_支持層上面.CSV=0
SupportLayerSurfaceLoaded	支持層上面がロードされているか ロードされている場合 : 1

6. 6 中間層モデリング情報



- キー名称と設定値のペアを 1項目 1行で出力します
- キー名称及び設定値は全て半角英数とします
- ・ デフォルト値のままで良い項目は指定する必要ありません

設定項目	内容
区分番号	4を指定
設定項目キー	設定項目のキー名称
設定項目値	設定項目の値

キー名称	設定内容	
GeoLayerSurfaceParam	サーフェス補間パラメータ	
GeoLayerItem_*	レイヤ情報(以下をカンマ区切り) レイヤID 親ID 種別:子レイヤあり=2,なし=1 レイヤ名 位置:上面=1,下面=-1,境界なし=0 ポイントデータ有無:あり=1,なし=0 色情報(赤成分) 色情報(緑成分) 色情報(青成分) 有効無効:有効=1、無効=0 ※*は1から通しの番号、レイヤ毎に1行出力される	
GeoLayerNextID	次のレイヤID	
GeoLayerSurfaceLoaded	中間層サーフェスがロードされているか ロードされている場合:1	
GeoSolidModelLoaded	ソリッドモデルがロードされているか ロードされている場合:1	





6.7 地下水モデリング情報

- ・ キー名称と設定値のペアを 1項目 1行で出力します
- キー名称及び設定値は全て半角英数とします
- ・ デフォルト値のままで良い項目は指定する必要ありません

設定項目	内容
区分番号	5を指定
設定項目キー	設定項目のキー名称
設定項目値	設定項目の値

キー名称	設定内容	
GroundwaterSurfaceParam	サーフェス補間パラメータ	
GroundwaterSurface_*	地下水面情報(以下をカンマ区切り) レイヤ名 計算方法:平均=1, 最低=2, 最高=3 有効期間(開始) 有効期間(終了)	
GroundwaterSurfaceLoaded	地下水面サーフェスがロードされているか ロードされている場合:1	

6. 8 属性情報管理



- キー名称と設定値のペアを 1項目 1行で出力します
- キー名称及び設定値は全て半角英数とします
- ・ デフォルト値のままで良い項目は指定する必要ありません

設定項目	内容
区分番号	6を指定
設定項目キー	設定項目のキー名称
設定項目値	設定項目の値

キー名称	設定内容
InheritanceSheetStatus	引き継ぎシート有無:あり=1, なし=0
GspsSheetStatus	地質調査性能基準設定有無:あり=1,なし=0



6. 9 ボクセルモデルデータフォーマット

◆下記ファイルは、ボクセルモデルのデータファイルです。

ボクセルモデルのデータは下記の3つのファイルで構成されます。 ①モデルを作成した際の座標系・計算範囲等を記録するプロジェクトファイル(*.ocwr) ②ボクセルモデルの凡例を設定するファイル(土質N値3Dモデル(中間層分離).ini) ③ボクセルモデルのデータファイル(土質N値3Dモデル(中間層分離).csv)



6. 9 ボクセルモデルデータフォーマット

<u>目次へ戻る</u> 前へ 次へ

①モデルを作成した際の座標系・計算範囲等を記録するプロジェクトファイル(*.ocwr) *.ocwrファイルにて、ボクセルモデルに関連する設定行を赤字で示します。







6. 9 ボクセルモデルデータフォーマット

②ボクセルモデルの凡例を設定するファイル(土質N値3Dモデル(中間層分離).iniの場合) 本ファイルは、OCTAS Drafter上でデータを可視化するためのレイヤ構造や着色情報等を設定 するためのものです。 ※ボクセルモデル作成時に自動的に出力されます。内容の編集・変更はしないでください。

# OCTAS Drafter/Drafter geogrid.ini # このファイルは OCTAS Drafter/Drafter で使 # 編集しないでください。	用する設定ファイルです。
0,AxisVisibility,1 0,ScaleVisibility,1 0,GeoInfoVisibility,1 0,InfoBoxWidth,600 0,ColorAssignOption,1 0,LightAmbient,255,255,255	N值ID
# Nychus Lavor (D)	
# N Value Laver (B)	
$1,10001,10001,0,128,255,255,0 \ge N < 5$	
$1,10001,10002,0,255,255,255,5 \le N < 10$	
$1,10003,10003,0,255,128,255,10 \le N < 15$	
・・・・・値毎の設定	
# N value Layer (B)	
・・・・・各層毎の設定	土質ID
# Soil type Laver (B)	
1,10110,10110,191,191,191,255,表土・人工	E
1.10120.10120.247.151.226.255.ローム	
1.10130.10130.204.192.218.255.腐植士	
1 10140 10140 0 176 240 255 粘性十	
1,1014010140,110,240,250,11111	
土 g 匹 方 母の 放 定 # Soil type Laver (B)	
2.土砖豆八4	土質ID
2,工具区方,1,	
2,N1但,Z,	
2,工頁区分(B),3,1,10110,10120,10130,10140),10150,10160,10170,10180,10220,10230,10240,10250,10260,10270,10280
2,N値(B),10,2,10001,10002,10003,10004,100	05,10006,10007,10008,10009,10010,10011
	γ
	N值ID

6. 9 ボクセルモデルデータフォーマット



③ボクセルモデルのデータファイル(土質N値3Dモデル(中間層分離).csvの場合) 本ファイルは、ボクセルモデルのデータファイルです。データの構成を下記に示します。 ボクセルモデル作成時に自動的に出力されます。 出力先:プロジェクト名>data3d>model>geo>voxel

		2121 - 22		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	513m) .ee.		
列No.1	2	3	4	5	6	7	8
-4381.5	-26753.5	-56.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-55.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-54.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-53.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-52.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-51.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-50.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-49.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-48.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-47.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-46.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-45.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-44.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999
-4381.5	-26753.5	-43.5	-9999	-9999	-9999	-9999	-9999

表1. 土質N値3Dモデル(中間層分離).csv

表2. データ構成表(中間層分離の場合)

列No	内容	値の範囲・備考	Null Value	type			
1	セル中心X座標			Float			
2	セル中心Y座標			Float			
3	セル中心Z座標			Float			
4	IDW※(最大重み判定)による土質 コード	10~80(右表参照)	-9999	Integer			
5	IDWによるN値	0~50	-9999	Float	soil	Lithology	備考
	領域フラグ -2・ボーリング下面より下				10	表土・人口土	
	地層:上位から10,20,30…	領域フラグ-2,2の場			20	ローム	
6	地層子レイヤ:親レイヤのフラグ			Integer	30	泥炭	沖積層
	$+1,2,3\cdots$	割り当てられる			40	粘性土	沖積層
	2: 地表面より上				50	砂質粘性土	沖積層
7	レイヤ分け表示のための加工N値		-9999	Float	60	砂	沖積層
,	領域フラグ×1000 + N値	域フラク×1000 + N值	Tiouc	70	砂礫	沖積層	
8	レイヤ分け表示のための加工土質コー ド領域フラグ×1000 + 土質コード		-9999	Integer	80	岩盤	
×11	%1 Inverse Distance Weighted Interpolation						

<u>目次へ戻る</u> <u>前へ</u>次へ

6. OCTAS Drafter設定ファイル

6. 9 ボクセルモデルデータフォーマット

表3.データ構成表(支持離/中間層分離が無い場合)

列No	内容	値の範囲・備考	Null Value	type			
1	セル中心X座標			Float			
2	セル中心Y座標			Float			
3	セル中心Z座標			Float			
4	IDW※(最大重み判定)による土質	10~80(右表参昭)	-9999	Integer			
	<u>⊐−ド</u>		5555	Integer	soil	Lithology	備考
5	IDWによるN値	0~50	-9999	Float	10	表土・人口土	
	領域フラグ -2・ボーリング下面より下				20		
	地層:上位から10,20,30…	領域フラグ-2,2の場合に、			30	泥炭	沖積層
6	地層子レイヤ:親レイヤのフラグ	列No4,5にNull値が		Integer	40	粘性土	沖積層
	$+1,2,3\cdots$	割り当てられる			50	砂質粘性土	沖積層
	2: 地表面より上				60	砂	沖積層
× In	Worse Distance Weighted Intern	alation			70	砂礫	沖積層
* Inverse Distance weighted Interpolation					80	岩盤	

表4.データ構成表(支持層分離の場合)

列No	内容	値の範囲・備考	Null Value	type			
1	セル中心X座標			Float			
2	セル中心Y座標			Float			
3	セル中心Z座標			Float			
4	IDW※(最大重み判定)による土質 コード	10~80(右表参照)	-9999	Integer			
5	IDWによるN値	0~50	-9999	Float			
6	領域フラグ -2: ボーリング下面より下 地層: 上位から10,20,30… 地層子レイヤ: 親レイヤのフラグ +1,2,3… (ex. 11,12,13…) 2: 地表面より上	領域フラグ-2,2の場合に、 列No4,5,7,8にNull値が 割り当てられる		Integer			
7	レイヤ分け表示のための加工N値 領域フラグ×1000 + N値		-9999	Float			
8	レイヤ分け表示のための加工土質 コード領域フラグ×1000 + 土質コー ド		-9999	Integer			
∦ In	× Inverse Distance Weighted Interpolation						

	↓	
soil code	Lithology	備考
10	表土・人口土	
20	ローム	
30	泥炭	沖積層
40	粘性土	沖積層
50	砂質粘性土	沖積層
60	砂	沖積層
70	砂礫	沖積層
80	岩盤	

7. OCTAS 設定ファイル

7.1 設定ファイルの構成



◆設定ファイル(*.ini)にてOCTASの表示設定をおこないます

① 設定ファイルで出来ること

- ビュアの表示状態の設定
- レイヤの階層化設定
- ・ レイヤ毎にモデルの色や透過率の設定
- レイヤ毎に表示させる情報の登録

②設定ファイルの基本設定

- CSVファイルとする
- ・ 文字コード: Shift-JIS
- 改行コード: CRLF
- ・ 【データ区分】、【レイヤ名称もしくはキー名称】、【項目に応じた設定内容・・・】

データ区分	データ内容
0	アプリケーションのデフォルト設定
1	レイヤ表示設定
2	レイヤグループ情報
3	レイヤ情報設定
4	座標系設定
5	モデル柱状図設定



設定ファイルの各行一文字目がデータ区分です

設定ファイルは、カンマ区切りのデータなので、 Excel や テキストエディタ で編集可能です

先頭が「; 」(半角セミコロン)の行はコメント 行とみなします

名前はdxfファイルと同じものとします 拡張子は*.ini です



7. OCTAS 設定ファイル

7.2 設定ファイルの作成

◆設定ファイルは、レイヤマネージャを利用して作成することが可能です。レイヤマネージャでできる 操作は次のようになります

・設定ファイルの新規作成、修正、保存※

・レイヤ色や透明度の設定、フォルダの追加・削除



① フォルダを作成

		– n ×				
1 0 7 0 7 0	レイヤ マンション.dxf -	6 🛛 🖹 (*	5	1 7		
1 3 1 3	solid_Ac	 マンション.dxf) 新規レイヤグループ solid Ac 	-04 -03 -03	 マンション.dxf 地質モデル 	+ 3 117 + 3 ~	マンション.dxf
t 3 t 3	solid_As 🚓	solid_Ag	94 194	solid_Ac	+ 3. ~	 地質モデル solid_Ac
t 3 t 3	solid_kibizs	solid_B	9 9 8	solid_As	4 3 4 3	solid_Ag solid_As solid_B
	フォルダ名	■ structure [を入力します		solid_kiban		solid_kiban

ドラッグ&ドロップでレイヤを任意のフォルダに移動、格納します

② 設定を保存※

開いているデータと同じ名前の設定ファイルが作成されます


7.2 設定ファイルの作成



③ レイヤ色の設定



レイヤ色(オブジェクト色)が変更されます



レイヤ設定の保存※をします



既存の設定ファイルは上書き保存※されます



7. OCTAS 設定ファイル 7. 2 設定ファイルの作成

④ 透明度の設定



110

7.3 基本設定



データ区分:0

- ・ キー名称と設定値のペアを1項目1行で出力します
- キー名称及び設定値は全て半角英数とします
- ・ デフォルト値のままで良い項目は指定する必要ありません

キー名称	デフォルト値	設定内容
ColorAssignOption	0	色の指定方法 (0: RGB各成分を0.0~1.0で指定する、1: RGB各成分を0~255で指定する) この設定は他の色設定項目よりも前に指定する
ProjectionMode	1	投影方法 (0:平行投影 1:透視投影)
RenderingMode	0	描画方法 (0 : Smooth 1 : Flat 2 : Wireframe)
LightDirection	8	光源方向 (0:N 1:NE 2:E 3:SE 4:S 5:SW 6:W 7:NW 8:Top)
LightElevation	45	光源の高度(仰角:度)
LightSpecular	1.0,1.0,1.0	光源の色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
LightAmbient	0.2,0.2,0.2	環境光の色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
RotateButton	1	回転操作マウスボタン (1:マウス左ボタン、2:マウス右ボタン)
RotateModifier	0	回転操作追加キー (0: 無し 1: Shift 2: Ctrl 3: Alt)
RotateMode	1	回転モード 0:トラックボール(マウス移動をトラックボールの回転に見立てて回 転) 1:トランシット(マウス移動を鉛直軸成分(横方向)と水平軸成 分(縦方向)に分けて回転)
MoveButton	2	移動操作マウスボタン(1:マウス左ボタン 2:マウス右ボタン)
MoveModifier	0	回転操作追加キー (0:無し1:Shift 2:Ctrl 3:Alt)
WheelDirection	1	ホイールによる拡大操作の方向 (1:奥から手前 -1:手前から奥)
InfoBoxWidth	200	情報表示Boxの標準幅 (単位:ピクセル) 注)Box幅はワードラップを考慮して決定されるため、指定した幅よりも大きく なる場合がある
CameraFocalLength	-1	カメラ焦点距離 -1 を指定するとモデル特徴長さ(バウンディングボックス3辺の和) の10%を自動設定する
PointCloudPointSize	1.5	点群のポイントサイズ
PointCloudAlwaysTop	0	点群を常に前面に表示するか (0: No 1: Yes)
ModelEnableLayerOffset	0	レイヤを微少オフセット付きで描画するか (0: No 1: Yes) 同一面に複数レイヤが存在する場合、ちらつき防止に利用する



7.3 基本設定

データ区分:0

キー名称	デフォルト値	設定内容
BackgroundColor	0.4,0.4,0.4	画面背景色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
AxisColor	1.0,1.0,1.0	軸及び軸ラベルの表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
HorizontalScaleColor	1.0,1.0,1.0	横方向スケールの表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
HorizontalScaleLabelColor	1.0,1.0,1.0	横方向スケールラベルの表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
VerticalScaleColor	1.0,1.0,1.0	縦方向スケールの表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
VerticalScaleLabelColor	1.0,1.0,1.0	縦方向スケールラベルの表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
XAxisColor	0.0,0.0,1.0	X軸の表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
XAxisLabelColor	1.0,1.0,1.0	X軸ラベルの表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
YAxisColor	0.0,1.0,0.0	Y軸の表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
YAxisLabelColor	1.0,1.0,1.0	Y軸ラベルの表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
ZAxisColor	1.0,0.0,0.0	Z軸の表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
ZAxisLabelColor	1.0,1.0,1.0	Z軸ラベルの表示色 RGB各成分をカンマ区切りで指定する 値の指定方法はColorAssignOptionの設定による
AxisVisibility	0	軸の初期表示設定 (0:表示しない、1:表示する)
ScaleVisibility	0	スケールの初期表示設定 (0 : 表示しない、1 : 表示する)
GeoRisk1Visibility	0	情報表示(georisk1)の初期表示設定 (0 : 表示しない、1 : 表示する)
GeoRisk2Visibility	0	情報表示(georisk2)の初期表示設定 (0 : 表示しない、1 : 表示する)
GeoRisk3Visibility	0	情報表示(georisk3)の初期表示設定 (0:表示しない、1:表示する)
GeoInfoVisibility	0	情報表示(geoinfo)の初期表示設定 (0:表示しない、1:表示する)





データ区分:0

※大文字・小文字の区別なし

※軸とスケールに関しては、モデル読み込み時に既に表示されている場合は、本設定にかかわらず、表示したままとす る

※情報表示に関する初期表示ONが1つも設定されておらず、モデル読み込み時に既に情報表示されている場合は、 表示したままとする

※情報表示は1レベル毎の排他表示のため、複数のレベルを表示すると設定された場合は、以下の優先順位に従って、実際に初期表示するレベルを決定する

GeoInfo > GeoRisk3 > GeoRisk2 > GeoRisk1

※ColorAssignOptionによる色の指定方法は、iniファイル全体に対して有効となる(アプリケーションデフォルト設定だけでなく、レイヤ設定などでの色指定も同じ指定方法となる)。





7. 4 レイヤ表示設定

データ区分:1

- ・ レイヤ名称と以下の設定項目値をカンマ区切りで 1 レイヤ 1 行で出力します
- ・ レイヤ名称は全角および半角英数、その他の設定値は全て半角英数です

設定項目	内容
区分番号	1を指定 1を指定 1000000000000000000000000000000000000
レイヤ名称	設定するレイヤの名称 (dxfデータの場合は dxf 内の定義名と完全に一致すること)
レイヤID	レイヤを識別する任意の正数(1 以上の整数)を指定する モデル内で重複しないこと
レイヤ表示色(R)	レイヤ表示色の R 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
レイヤ表示色(G)	レイヤ表示色の G 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
レイヤ表示色(B)	レイヤ表示色の B 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
透過度	レイヤの透過度を指定する (0:完全透過 1:非透過) ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
レイヤ表示名	OCTAS上ではこの表示名が表示される (未設定の場合は「レイヤ名称」を表示する) 上記の「レイヤ名称」とは異なっていてよい
初期表示状態	初期状態で非表示にする場合、hide を指定(デフォルト:表示)
初期切断可否	初期状態で切断不可にする場合、uncutを指定(デフォルト:切断可)
初期切断面塗り可否	初期状態で切断面塗り不可にする場合、unfillを指定(デフォルト:塗り可)



7.5 レイヤグループ情報



データ区分:2

- ・ グループ名称と以下の設定項目値をカンマ区切りで1レイヤ1行で出力します
- グループ名称は全角および半角英数、その他の設定値は全て半角英数です

設定項目	内容
区分番号	2 を指定
グループ名称	グループの名称 グループ名称はモデル内で重複しないこと。また、レイヤ名と同じグループ名も不可とする
グループID	グループを識別する任意の正数(1以上の整数)を指定する。 モデル内で重複しないこと
親グループID	本グループが別のグループの「子」となる場合は、親のグループIDを指定する 指定無しの場合は最上位グループとして取り扱う
子レイヤID	本グループに属するレイヤID(複数可)をカンマ区切りで記述する
初期表示状態	初期状態で非表示にする場合、hide を指定 グループが非表示の場合、属するレイヤはすべて非表示となる (レイヤ表示設定での hide 指定は不要)

※グループ情報に含まれなかったレイヤについては、単独で最上位に存在しているものとして取り扱います



	- • •
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
1,model_B.1,0.75,0.75,0.75,1 1,model_Ac,2,0.5,1,0.75,1 1,model_As,3,1,0.75,0,1 1,model_As,4,1,0.5,0.5,1 1,model_Dc,5,0.5,0.5,1,1 1,model_Dcs,6,0.8,0.52,0,1 1,model_Ds,7,0.75,0.25,0.25,1	
1,model_River,8,0,0.25,0,1 1,model_Water,9,0,0,0.75,1	
1,model_field1_road,10,0.41,0.41,0.41,1 1,model_field1_teibo,11,0.25,0.75,0.5,1	
1,model_field1_shield1,12,0.75,0.75,0.75,0.7 1,model_field1_base,13,0.9,0.9,0.9,1 1,model_field1_yaita,14,1,0.25,0.25,1	E



7.6 レイヤ情報設定

データ区分:3

- ・ レイヤ名称と以下の情報項目値をカンマ区切りで1情報1行で出力します
- レイヤ名称、情報内容及びフォント名は全角および半角英数、 それ以外の設定値は全て半角英数です

設定項目	内容
区分番号	3を指定
レイヤ名称	設定するレイヤの名称(dxf 内でのレイヤ名と完全に一致すること) もしくはグループの名称(グループ定義の名称と完全に一致すること)
情報区分	情報レベル1~4を指定する(整数) 1:geolisk1 2:geolisk2 3:geolisk3 4:geoinfo
情報内容	表示する情報文字列を指定する 文字列内にカンマや半角ダブルクォートが含まれる場合は、以下のルールとする ・文字列を「"」(半角ダブルクォート)で囲う ・文字列内の半角ダブルクォートは2重化「""」する また、文字列中に「¥n」がある場合はその位置で文字列を改行する (実際に改行した状態での記載は不可)
フォント名	フォント名を指定する
フォントサイズ	フォントサイズを指定する
フォント色(R)	レイヤ表示色の R 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
フォント色(G)	レイヤ表示色の G 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
フォント色(B)	レイヤ表示色の B 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
背景色(R)	表示Boxの色のR 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
背景色(G)	表示Boxの色のG 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
背景色(B)	表示Boxの色のB 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
背景色(a)	表示Boxの色の透明度を指定する (1が不透明) ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
アイコン	アイコンの番号を指定する→ <u>後頁のアイコン表</u> 参照 未指定の場合はアイコン表示無し(デフォルト)
 関連ファイル名	関連ファイル名(もしくは関連ファイルへの絶対パス) ファイル名のみ指定の場合は、ファイルはデータファイルと同じ場所に置くこと (※現状ではoctaファイルの中には入れないでください)
関連ファイル表示名	情報Boxでの関連ファイル表示名。未指定の場合はファイル名を表示する

7.6 レイヤ情報設定

<u>目次</u>	<u>へ戻る</u>
<u>前へ</u>	<u>次へ</u>

設定項目	内容
基準位置	情報ボックスの位置決め基準位置を指定する (ビュアの四隅から選択する) 1:左上 2:左下 3:右上 4:右下 ・基準位置を指定した場合は、以下のXYも必ず指定すること ・未指定の場合は自動位置決め。XYの指定は不要
X	基準位置から情報ボックスまでのX距離(画面ピクセル)
Υ	基準位置から情報ボックスまでのY距離(画面ピクセル)
引き出し線有無	1:引き出し線あり(デフォルト) 0:引き出し線なし

※レイヤが非表示の場合は情報も表示しません



目次	<u>へ戻る</u>
前へ	次へ

情報表示アイコン表



7.7 座標系設定



データ区分:4

- キー名称と設定値のペアを 1項目 1行で出力します
- キー名称及び設定値は全て半角英数とします
- ・ デフォルト値のままで良い項目は指定する必要ありません

設定項目	内容
区分番号	4 を指定
設定項目キー	設定項目のキー名称
設定項目値	設定項目の値

キー名称	デフォルト値	設定内容
SwitchXY	0	XYを交換するか 0:交換しない(数学座標系) 1:交換する(測量座標系) ※本設定は点群データのみ使用
OriginalCoordinate	0	元データの座標系 0:緯度経度 1:UTM 2:日本公共座標
OriginalDatum	0	元データの測地系 0 : 世界測地系 (ITRF94) 1 : 日本測地系 (TokyoDatum)
OriginalCoordinateNo		元データの座標系の系番号 UTM座標系の場合::51~56 日本公共座標系の場合:1~19 緯度経度の場合は設定不要
DisplayCoordinate	0	表示する(変換後の)座標系 0 : 緯度経度 1 : UTM 2 : 日本公共座標
DisplayDatum	0	表示する(変換後の)測地系 0 : 世界測地系(ITRF94) 1 : 日本測地系(TokyoDatum)
DisplayCoordinateNo		表示する(変換後の)座標系の系番号 UTM座標系の場合:51~56 日本公共座標系の場合:1~19 緯度経度の場合は設定不要

※各座標系の座標の単位は以下の通りです

座標系	座標単位
緯度経度	度
UTM	m
日本公共座標系	m



7.8 モデル柱状図設定

データ区分:5

- ・ キー名称と設定値のペアを 1項目 1行で出力します
- キー名称及び設定値は全て半角英数とします
- ・ デフォルト値のままで良い項目は指定する必要ありません

設定項目	内容
区分番号	5 を指定
設定項目キー	設定項目のキー名称
設定項目値	設定項目の値

キー名称	デフォルト値	設定内容
MeshSize	50	 モデル柱状図のメッシュサイズ 5,10,50、250,500,-1のいずれかを指定する 実際のサイズは以下の通り 500:2次メッシュを緯度方向/経度方向それぞれ 20等分したサイズ(500mメッシュ) 250:2次メッシュを緯度方向/経度方向それぞれ 40等分したサイズ(250mメッシュ) 50:2次メッシュを緯度方向/経度方向それぞれ 200等分したサイズ(所謂50mメッシュ) 10:2次メッシュを緯度方向/経度方向それぞれ 100等分したサイズ(所謂50mメッシュ) 5:2次メッシュを緯度方向/経度方向それぞれ 2000等分したサイズ(所謂5mメッシュ) -1:任意指定、別途MeshWidth, MeshHeightを指定する
ModelName	モデル柱状図	データの表示名称を指定する
MeshWidth		メッシュの X 方向をm単位で指定する (MeshSize=-1の時)
MeshHeight		メッシュのY方向をm単位で指定する (MeshSize=-1の時)
N_Min	1	レイヤ化するN値の最小
N_Max	50	レイヤ化するN値の最大
N_Step	5	レイヤ化するN値の間隔
N_NoValue	-9999	N値データ無しとする値
N_OverMax_Enabled	0	1:最大値を超えたレイヤを用意する 0:最大値を超えたレイヤを用意しない
N_UnderMin_Enabled	0	1:最小値を下回るレイヤを用意する 0:最小値を下回るレイヤを用意しない
N_NoValue_Enabled	0	1: <no value="">レイヤを用意する 0: <no value="">レイヤを用意しない</no></no>

- 7. OCTAS 設定ファイル
- 7.8 モデル柱状図設定

<u>目次へ戻る</u> <u>前へ</u>次へ

「モデル柱状図.ini」ファイル設定の例





7.9 マーカー設定

データ区分:6

- ・ マーカー名称と以下のマーカー属性値をカンマ区切りで1マーカー1行で出力します
- マーカーはモデル座標系で管理され、モデルと一緒に動きます
- マーカー名称及びフォント名は全角および半角英数、それ以外の設定値は全て半角英数 です

設定項目	内容
区分番号	6 を指定
マーカーID	マーカーの識別ID。モデル内でユニークであること
マーカー名称	マーカーの名称。この名称で表示される
レイヤ名称	マーカーに関連付けるレイヤの名称(モデル内の定義名と完全に一致すること)
X座標	マーカー基準位置 X 座標
Y座標	マーカー基準位置 Y 座標
Z座標	マーカー基準位置 Ζ 座標
フォント名	フォント名を指定する
フォントサイズ	フォントサイズを指定する
フォント色(R)	文字の色の R 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
フォント色(G)	文字の色の G 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
フォント色(B)	文字の色の B 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
背景色(R)	表示Boxの色のR 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
背景色(G)	表示Boxの色のG 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
背景色(B)	表示Boxの色のB 成分を指定する ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
背景色(a)	表示Boxの色の透明度を指定する (0が完全透過) ColorAssignOption=0の場合: 0.0~1.0 で指定する ColorAssignOption=1の場合: 0~255 で指定する
関連ファイル名	関連ファイル名(もしくは関連ファイルへの絶対パス) ※ファイルの参照ルールについては、後述の「関連ファイルの参照について」をご参照ください。また、octaファイルに格納された関連ファイルの取り扱いについては、後述の「octaファ イル内にある関連ファイルの取り扱いについて」をご参照ください

関連ファイルの参照について

レイヤ情報及びマーカーの関連ファイルは、以下のルールでファイルを参照します

関連ファイルが絶対パスで指定されている場合: ・絶対パスで指定されたファイルを直接参照する

7.9 マーカー設定



関連ファイルの参照について

レイヤ情報及びマーカーの関連ファイルは、以下のルールでファイルを参照します

関連ファイルが絶対パスで指定されている場合: ・絶対パスで指定されたファイルを直接参照する

関連ファイルがファイル名のみ指定されている場合:

- 1) データがoctaファイルの場合
 - 以下の優先順位でファイルを参照する
 - (1)octaファイル内にあるファイル
 - (2)データファイルと同じ場所にあるファイル
- 2)データがoctaファイル以外 データファイルと同じ場所にあるファイルを参照する

octaファイル内にある関連ファイルの取り扱いについて

octaファイル内にある関連ファイルを参照する場合は、一度システム標準のテンポラリフォルダにファイルを出力した後に、ファイルの標準アプリケーションで開きます

<出力先>

[Windows標準のtempフォルダ]/OCTAS/[octaファイル名]/[関連ファイル名]

<u>テンポラリの関連ファイルへの編集操作を防ぐために、ファイルは【読み取り専用】属性で出力されます</u>。編集/保存する場合はアプリケーションの別名保存の機能を利用し、ユーザー領域にファイルを保存した後に、行うようにしてください

(zip中のファイルをExcel等で開いたときと同様の動作)

出力したテンポラリ関連ファイルはOCTAS終了時に削除されます。ただし、この関連ファイルが開かれたままの場合は、(アプリケーションによっては)ファイルがそのまま残る場合があります

このテンポラリ関連ファイルの削除処理は、OCTAS終了時に毎回行われますので、上記のようにファイルが残ったとしても、次回以降の起動終了で削除されます





7. OCTAS 設定ファイル 7. 10 CSV サーフェス/ボクセル設定

データ区分:7

・ キー名称と設定値のペアを1項目1行で記述します

設定項目	内容
区分番号	7を指定
設定項目キー	設定項目キーの名称
設定項目値	設定項目の値

キー名称	デフォルト値	設定内容
DataType		データの種類 1:サーフェス 2:ボクセル
DataKind		データの種別 1:oyoDBデータ 2:防災科研データ
ValueCount		数値項目数(0以上)
ValueType		数値項目の種類 複数ある場合はカンマで区切る 1:整数 2:実数
ValueLayer		レイヤ情報 以下の情報をカンマ区切りで記載する ・数値項目番号(1~) ・レイヤ番号(整数) ・数値範囲最小 ・数値範囲最大

【レイヤ情報補足】

※最小「以上」最大「未満」で範囲判定します。

※最小、最大のいずれかは省略可能です。

※レイヤ番号はモデル内でユニークとなるようにします。このレイヤ番号がそのまま名称となるため、(必要に応じて)表示名称や 色の設定をレイヤ表示設定(データ区分:1)で行います。

- 7. OCTAS 設定ファイル
- 7.11 点群設定



データ区分:8

・ キー名称と設定値のペアを1項目1行で記述します

設定項目	内容
区分番号	8 を指定
設定項目キー	設定項目キーの名称
設定項目値	設定項目の値

キー名称	デフォルト値	設定内容
SwitchXY	0	XYを交換する 0 : 交換しない (数学座標系) 1 : 交換する (測量座標系)
PointCloudPointSize	1.5	点のサイズ
PointCloudAlwaysTop	0	点群を常に前面に表示するか (0:No、1:Yes)
PointCloudThinning	1	点群の間引き表示 間引き表示する場合は1より大きな数を指定すること。1の場合、も しくは未指定の場合は間引き無し。

【レイヤ情報補足】 ※最小「以上」最大「未満」で範囲判定します。

※最小、最大のいずれかは省略可能です。

※レイヤ番号はモデル内でユニークとなるようにします。このレイヤ番号がそのまま名称となるため、(必要に応じて)表示名称や 色の設定をレイヤ表示設定(データ区分:1)で行います。



7.11 点群設定

8.1 継承シートの作成



(1) GIMROKUの起動

・「3次元地質・地盤モデル継承シート」ボタンを押して、GIMROKUを起動します

S OCTAS Modeler ver. 1.6.8 Model Tool			
➡ プロジェクト管理			
◆ 3次元柱状図			
➡ 土質・N値モデリング	~~~~		
➡ 支持層モデリング			
➡ 地図		UB 3次元地質・地盤モナル継承シート 記録ファイル名:GIM_西新井wide.xlsx	- U X
🗢 属性情報管理		1. 管理情報	~
3次元紀哲・地盤モデル基本シート エクスポート OCTAS Manager 出力		単住を管理するための基本情報を記入してください。 対象事業 ・・・ 事業段階 ・・・ 共通D ・・・ 創設定 2 届社長期	
		3.品質情報	~
		4. 地質調查性能基準	~
	0	5. 準3次元図面チェック	
		6. モデリング記録	
		7. 地質·地盤リスク情報	
	Ľ	8. 照查記錄	
		9. 引継シート	
		 登録	GIMROKU Ver. 1.1.4:

(2) GIMROKUの終了

・GIMROKUを終了するには、「終了」ボタンを押すか右上の×ボタンを押します

9. 引継シート	
臺録 終了 2 登録時、既存ファイルのパックアップを作成する	
各属性情報を設定してください。 GIMROKU Ver. 1.1.4:	
🔡 3次元地質・地盤モデル継承シート 記録ファイル名:GIM_西新井wide.xlsx	
1. 管理情報	^
■性な管理するための基本情報な行え」	



8.1 継承シートの作成

8.2 管理情報の記録

<u>目次へ戻る</u> 前へ 次へ 記録フローに戻る

(1)管理情報の記録手順

①「1.管理情報」設定パネルの表示

・「1.管理情報」の「設定」ボタンを押し、設定パネルを表示させます

1. 管理情報		^
属性を管理するための基本	「情報を記入してください。	
対象事業 ・・・ 事業段階 ・・・		
共通四	自動採番されます	
設定		

②管理情報の設定値の入力

・必須項目について入力します

・プロジェクト作成時の設定値は自動的に入力されています





8.2 管理情報の記録

入力例

🏭 管理情報			- 0
対象事業 河川 事業段階 設計	~ ~		
作業カテゴリ	項目	Item_ID	設定値
管理情報	共通D(FC GUD)	CM0000001	0KwYNaJov52vNINIrbozv7
管理情報	事業名	CM0000002	A河川事業設計
管理情報	業務·工事名	CM000003	A河川
管理情報	調査目的	CM0000004	対策設計
管理情報	調査者名	CM0000005	B株式会社
管理情報	調査担当者名	CM0000006	٥٥ ۵۵
管理情報	調査位置住所	CM0000007	埼玉県さいたま市北区
管理情報	工期開始期日	CM0000008	2021/02/04
管理情報	工期終了期日	CM0000009	2021/08/30
管理情報	測地系コード	CM0000010	JGD2011
管理情報	基準座標系	CM0000011	平面直角座標系 9系
管理情報	標高基準	CM0000012	T.P.(東京湾平均海面)
管理情報	モデル作成・更新の目的	CM0000013	安定性評価および対策設計
確定	キャンセル 更新		

③入力情報の確定

・「確定」ボタンを押します(未入力項目があると警告がでます)



8.2 管理情報の記録



- (2)管理情報の記録完了
 - ・「1.管理情報」が記録されていると対象事業・事業段階が表示されます

3次元地質·地震	盤モデル継対	承シート 記録	ファイル名:(GIM_西新井.xlsx	-	-		×
1. 管理情報	5						^	
属性を管理する	るための基	本情報を記り	、してください	•				
対象事業 ・・・ 河川 事業段階 ・・・ 設計								
共通⊡		0KwYNaJ	ov52vNINIrl	pozv7				
設定								
2. 属性情報	R						~	

(3)3次元地質・地盤モデル継承シートの保存

- ・「登録」ボタンを押します
- ・「登録」ボタンを押すまでは3次元地質・地盤モデル継承シートは保存されません (プログラムを閉じようとすると警告がでます)



9.引継シート		
e		
登録 終了 ☑] 登録時、既存ファイルのバックアップを作成する	
各属性情報を設定してください。		GIMROKU Ver. 1.1.4
•		
属性情報管理		
? 設定内容を記録シートファイルに登録します。 ようしいですか?		
はい(Y) いいえ(N)	GIM_西新井.xlsx	
「はい」ボタンを押す	3次元地質・地盤モデル継承 トが作成される	シー



8.2 管理情報の記録

(4)管理情報の記録例

◆管理情報の記録完了

・3次元地質・地盤モデル継承シートに、項目の設定値が入力された管理情報シートが追加されます

自	動保存 ● 12) 🖫 りっ ぺっ マ GIM_西新井.xlsx +	▶ 検索		西山 昭-	- 8	B -	o x
ファ	イル ホーム 挿入 ベージレイアウト 数式 データ 校	間表示開発	ヘルプ Acrobat チーム Gaaiho			🖒 共有	4CKE R
「」」	$ \begin{array}{c c} & X \\ & & \\ & \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\$	= ⊕ - = = = = = = = = = = = = = = = = =	標準 ・ ・	挿入 × ∑ × 削除 × ■ × 書式 × ◆ ×	A Z マン 並べ替えと フィルター ~	検索と デ 選択 > 分	-9 /新
クリッ	ップボード 「5」 フォント 「5」	配置 ち	教値 13 スタイル	セル	編集	分	析 へ
A1	▼ : × ✓ fx 項目						~
4	А	в	С		D	E	F A
1	項目	Item_ID	設定値				
2	共通ID(IFC GUID)	C M0000001	0KwYNaJov52vNINIrbozv7				
3	事業名	CM0000002	A河川事業設計				
4	業務·工事名	C M0000003	A河川				
5	調査目的	CM0000004	対策設計				
6	調査者名	C M0000005	日株式会社				
7	調査担当者名	C M0000006	00 ΔΔ				
8	調査位置住所	CM0000007	埼玉県さいたま市北区		-		
9	工期開始期日	CM0000008	2021/02/04		-		
10	工期終了期日	CM0000009	2021/08/30		-		
11	測地系コード	C M000001 0	02		-		
12	基準座標糸	CM0000011	09		-		
13	標高基準	C M0000012			-		
14	モテル作成・更新の目的	C M000001 3	安定性評価および対策設計				
15							
16							
17							
18	▶ 引継シート 管理 河川 設計 (+)		: 4				
53				# (1)	四		+ 100%

- ◆3次元地質・地盤モデル継承シートのバックアップ
- ・「登録時、既存ファイルのバックアップを作成する」に√を入れておくと、次回の「登録」からバックアップファイル が作成されます

9.引継シート				
登録 終了	☑ 登録時、	既存ファイルのバック	アップを作成する	
各属性情報を設定してください。		Л		GIMROKU Ver. 1.1.4 .:
	X≡	X≡	X ≡	
	GIM_西新井.xlsx	GIM_西新井 202103192151194 7901.xlsx	GIM_西新井 202103211651215 2464.xlsx	
		日付で識り アップファイ	別可能なバック ル	

8.2 管理情報の記録



◆記録項目の解説

項目	入力内容
共通ID(IFC GUID)	自動付与(変更不可)
事業名	事業の名称を入力する
業務·工事名	当該業務・工事名を入力する
調査目的	当該目的の目的を入力する
調査者名	当該業務を請け負う法人の名称を入力する
調查担当者名	調査担当者(例えばプロジェクトリーダー)の名前を入力する
調查位置住所	調査位置の住所を入力する
工期開始期日	当該業務の開始日を西暦年/月/日にて入力する
工期終了期日	当該業務の終了日を西暦年/月/日にて入力する
測地系コード	日本測地系、世界測地系(JGD2000)、世界測地系(JGD2011)の区分コードを記入する。日本 測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。
基準座標系	世界測地系19座標 0~19 世界測地系19座標(例:9系 ⇒ 09)
標高基準	TP(BIM/CIMガイドラインの標準)
モデル作成・更新の目的	モデルを作成・更新する目的を入力する



8.2 管理情報の記録

8.3 **属性情報の記録**

<u>目次へ戻る</u> 前へ 次へ 記録フローに戻る

(1) 属性情報の記録手順

①「2.属性情報」設定パネルの表示 ・「2.属性情報」を展開します

III 属性情報管理 記録シートファイル:test.xlsx	-		×
1. 管理情報		~	^
2. 属性情報		^	
3次元地質・地盤モデルの形状情報と属性情報を登録してください。			
3次元モデル			
登録 終了 ☑ 登録時、既存ファイルのパックアップを作成する			~
各属性情報を設定してください。 G ^r	MROKI	J Ver. 1.1	.4 .::



②作成対象の3次元モデルを選択 ・左欄の「3次元モデル」を選択し、右欄より作成対象を選択します

🔜 属性情報管理 記録シートファイル:test.xlsx	-		×
1. 管理情報		~	î
2. 属性情報		^]
3次元地質・地盤モデルの形状情報と属性情報を登録してください。			
□ ポーリングモデル			
□ ボーリング孔内検層モデル			
ロサウンディングモデル			
□ テクスチャモデル(準3次元平)	面図)		
□ 物理探査テクスチャモデル(準	≝3次元平面図)		
□ 準3次元断面図			
□物理探查準3次元断面図			
<u>サーフェスモデル</u>			
□ 物理探査サーフェスモデル			
ロンリッドモデル			
□ ボクセルモデル			
□ 物理探査ボクセルモデル			
□柱状体モデル			
□ パネルダイアグラム			
			~
● 登録 終了 2登録時、既存ファイノルのパックアップを1	作成する		
各属性情報を設定してください。	GIMRO	KU Ver. 1.1	.4:

③各モデルの属性情報の記録

・各モデルの属性情報を記録するために、作成対象のモデル名称をクリックします

④属性情報記録列の追加

・属性情報を記録するモデルの数だけ記録列を追加します

🔜 属性情報				- 0
3次元モデル サー	フェスモデル			
データ数 : 1				
作業カテゴリ	項目	ltem_ID	地形面	
形状情報	名称	OB0000001	(利用)	_
形状情報	モデル各端部の座標	OB0000009	9	
形状情報	モデリング記録シートNo	OB0000000)	•
形状情報	入力データリンク	OB0000012	2	
形状情報	曲面推定方法とパラメータリンク	OB0000013	3	
形状情報	地質情報名	OB0000014	1	
形状情報	オリジナルデータリンク	OB0000017	7	
形状情報	形状データファイル名	OB0000018	3	
形状情報	属性データファイル名	OB0000019)	
形状情報	ジョイントデータファイル名	OB0000020		
形状情報	改訂履歴(実施期日,理由,実施者氏名等) 08000021		
属性情報	地質情報名	AT0000001		
属性情報	カラーコード	AT000002	2	
属性情報	地質情報対比データ	AT0000003	3	
属性情報	堆積(優先)順位	AT0000004		
属性情報	特記事項	AT000005	5	
属性情報	物性值A	AT0000006	1	
属性情報	物性值B	AT000007	,	
属性情報	物性值C	AT000000E	3	
確定 ■ 属性情報 3次元モデル_サー、 デーク数 : 2	キャンセル 列追加 ロスモデル	列削除		- 0
作業カテゴリ	項目	Item_ID	地形面	地質境界
ガジィス 「青桜	合朴 エデルな研究の広連	OB0000001 A)	9)/I	A/9/1
カシ4八1育年2 再21式1番毎日	モノル合語面のJE信	OB000009		
形状情報	入力データリンク	OB0000012		
形状情報	曲面推定方法とパラメータリンク	OB0000013		
形状情報	地質情報名	OB0000014		
形状情報	オリジナルデータリンク	OB0000017		
形状情報	形状データファイル名	OB0000018		
形状情報	属性データファイル名	OB0000019		
形状情報	ジョイントデータファイル名	OB0000020		
形状情報	改訂履歴(実施期日,理由,実施者氏名等)	OB0000021		
属性情報	地質情報名	AT0000001		



⑤属性情報の記録

・必要な項目の属性情報を入力し、「確定」ボタンを押します

「はい」ボタンを押します

総状情報 名称 06000001 A河川 A 状情報 モデル各雑誌の金牌 05000000 600000000 600000000 600000000 600000000 600000000 600000000 600000000 600000000 600000000 60000000 600000000 600000000 600000000 600000000 600000000 600000000 600000000 600000000 6000000000 60000000000000 6	08000001 08000001 08000000 080000012 08000012 08000013 08000014 08000017 08000017 08000017 08000017 08000017 08000017 08000018 080000019 080000021 AT0000001 AT0000003 AT0000003 AT0000006 AT0000006 AT0000006 AT0000006	F 080 ル多条筋の座積の 080 ル多条筋の座前から 080 リングと決シート%。 080 リングと決シートから 080 ブキリンク 080 ブナルデーカリンク 080 ブナルデーカリンク 080 ブナルデーカリンク 080 ブレトデーカファイル名 080 ブレトデーカファイル名 080 パンデーカファイル名 080 パンデーカラッチャーク 080 パンデーカラッチャーク 080 パンデーカラッチャーク 080 パンデーカラッチャーク 080 パンデーカー 080 <td< th=""><th>回B000001 利利 利利 0B000000 「 「 0B000000 「 「 0B000000 「 「 0B0000010 「 「 0B0000101 「 「 0B000010</th></td<>	回B000001 利利 利利 0B000000 「 「 0B000000 「 「 0B000000 「 「 0B0000010 「 「 0B0000101 「 「 0B000010
	08000000 080000012 08000013 08000013 08000014 08000013 08000014 08000014 08000014 08000014 08000015 08000016 08000017 08000018 08000019 080000019 08000002 08000002 AT0000002 AT0000002 AT0000006 AT0000006 AT0000007 AT0000007 AT0000007	加各端部の座標 080 切り方は多シートか6 080 時年25分シートか6 080 時年25分シリケカク 080 特定方法シリケカクカク 080 行手クリフクパル名 080 行・ラファイル名 080 (パトデークファイル名 080 パトデークファイル名 080 (パトデークファイル名 080 パトデークファイル名 080 パトデークファイル名 080 パーコード 080 パーコード 180 パーコード 190 パーコード 190 パーコー 1	0800000 08000000 08000000 08000012 08000012 0 08000013 0 08000014 0 08000015 0 08000016 0 08000017 0 08000018 0 08000019 0 08000019 0 08000019 0 08000019 0 08000019 0 08000010 0 08000011 0 08000012 0 08000013 0 08000014 0 08000015 0 08000016 0 08000017 0 08000018 0 08000019 0 08000011 0 08000012 0 08000012 0 08000012 0 08000012 0 08000012 0 0800012 0 0800012
	08000000 080000012 08000013 08000013 08000014 08000017 08000018 08000019 08000019 08000019 08000019 08000019 080000019 080000020 080000021<	リング記録シートNo 080 データリンク 080 消走方と/15メークリンク 080 消費名 消費名 パーダークリンク 080 デークフィイル名 080 デークフィイル名 080 パークラフィイル名 080 パークラフィークラフィーク パーク パーク パーク パーク パーク パーク パーク パ	0800000 08000000 080000012 0 08000013 0 08000014 0 08000015 0 08000016 0 08000017 0 08000018 0 08000019 0 08000019 0 08000019 0 08000019 0 08000019 0 08000019 0 08000010 0 08000011 0 08000012 0 08000013 0 08000014 0 08000015 0 08000016 0 08000017 0 0800018 0 0800019 0 0800011 0 0800011 0 0800011 0 0800011 0 0800011 0 0800011 0 0800011 0 0800011 0
読得報 入力データリンク 06000012 法情報 価値電気方法ングラムウリンク 06000013 法情報 地置情報名 06000014 1 法情報 地デークリンク 06000017 1 1 法情報 がドデークリンク 06000017 1 1 法情報 第七デークワンイル名 06000017 1 1 法情報 第七デークワンイル名 060000018 1 1 法情報 第1デークワンイル名 060000019 1 1 法情報 第1学デークワンイル名 06000020 1 1 法情報 地口信載を読者た名等) 06000021 1 1 法情報 地口信載名 AT000000 1 1 社情報 地口信載名 AT0000004 1 1 社情報 物仁福 AT000004 1 1 社情報 物仁福 AT000006 1 1 社情報 物仁福 AT000006 1 1	08000012 08000013 08000013 08000014 08000014 08000017 08000018 08000019 08000019 08000019 08000019 08000019 08000019 08000019 08000019 08000001 080000021	データリンク 080 講躍定方法ンパラメータリンク 080 講羅を方法ンパラメータリンク 080 プライリボライリシク 080 プラーファイル名 080 プラークファイル名 080 プラークファイル名 080 プラークファイル名 080 プレラークラアイル名 080 プログラファイル名 080 パ精観空 4700 ーコード 4700 パ構築設計デーク 4700 (福美の)順位 4700 運賃 4700 調査 4700	08000012 08000013 08000013 08000014 08000017 08000018 08000019 08000019 08000019 08000019 08000019 08000019 1000001 1000002 1000001 1000002 1000003 1000004 1000005 1000006 1000007 1000007 1000007 1000007 1000007 1000007
	08000013 08000013 08000014 08000017 08000017 08000018 08000019 08000019 08000011 08000019 08000011 08000011 08000011 08000011 08000012 08000002 0800002 <td< td=""><td> 補定方法とパラメータリンク の目の (情報名 の目の ジナリバデータリング の目の ジテークファイル名 の目の ジテークファイル名 の目の (情報名 オロの ペロの (情報名 オロの ペロの (情報的はデータ) ペロの (情報的はデータ) ペロの (情報の) ボロの (情報の) ボロの (情報の) ボロの (情報の) ボロの (情報の) ボロの (情報の) ボロの (満足の) (満足の) (第二) (第二)<!--</td--><td>グク 0800013 Common Co</td></td></td<>	 補定方法とパラメータリンク の目の (情報名 の目の ジナリバデータリング の目の ジテークファイル名 の目の ジテークファイル名 の目の (情報名 オロの ペロの (情報名 オロの ペロの (情報的はデータ) ペロの (情報的はデータ) ペロの (情報の) ボロの (情報の) ボロの (情報の) ボロの (情報の) ボロの (情報の) ボロの (情報の) ボロの (満足の) (満足の) (第二) (第二)<!--</td--><td>グク 0800013 Common Co</td>	グク 0800013 Common Co
株装22222222222222222222222222222222222	OB000014 OB000017 OB000018 OB000019 OB000021 AT0000021 AT000002 AT000003 AT000004 AT000005 AT000006 AT000007	(情報名) 080 ジナルデータワケル名 080 ジテータワケル名 080 ジータフケル名 080 (パチータワケル名 080 (パチータワケル名 080 (パチータワケル名 080 (情報名) 470 (情報対比データ 470 (情報対比データ 470 (構成分批学の) 470 (環点)別位 470 (調A 080) 870	回8000014 回8000017 08000017 Image: Comparison of the comparison
	OB000017 OB000018 OB000019 OB000020 OB000021 AT000001 AT000002 AT000003 AT000004 AT000005 AT000007 AT000007 AT000007 AT000007	 ジナルデータリンク OB0 ビデータフィル名 OB0 ビデータフィル名 OB0 ビデータファイル名 OB0 (アレーマークー パロ 細ム ハロ パロ <liパロ< li=""> パロ パロ パロ</liパロ<>	回8000017 回8000017 08000018 0 08000019 0 08000010 0 08000010 0 08000010 0 08000010 0 08000010 0 \$2%8454590 0 08000010 0 \$4000001 0 1000001 0 1000001 0 1000001 0 1000001 0 1000001 0 1000001 0 1000001 0 1000001 0 1000001 0 1000001 0 1000001 0 1000001 0
株式データファイル名 08000018 株装配 第七データファイル名 08000019 大装器税 ジョインデータファイル名 08000020 となご課題定規則日、理由、実施者氏名等) 08000021 生活報 地質情報2 AT0000001 生活報 カラーコード AT0000003 生活報 地質情報2 AT000003 生活報 地質情報2 AT0000005 生活報 特記名単有 AT0000005 生活報 物注個名 AT0000005 生活報税 物注個名 AT0000005 生活報税 物注個名 AT0000005 生活報 物注個名 AT0000005 生活報 物注個名 AT0000005 生活報 物注個名 AT000007	OB0000018 OB0000019 OB000020 OB000021 AT000001 AT000002 AT000003 AT000004 AT000005 AT000007 AT000007 AT000007	 データファイル名 OBO データファイル名 OBO パクトデータファイル名 OBO (加速定規明日,理由,実施者氏名等) OBO (情報名 ATOO (情報経費)北データ ATOO (構築先)増位 ATOO (準項 ATOO (準項 ATOO (通路 ATOO 	DB000018 DB000019 DB000019 Image: Comparison of the comparison
総状情報 単位ア・ウファイル名 06000019 送状情報 ジョイントデークファイル名 08000020 送け情報 ジョイントデークファイル名 08000001 設計精報 地質情報名 AT000001 対性情報 地質情報設計データ AT000003 対性情報 地質情報設計データ AT000003 121情報 地質情報設計データ AT000003 121情報 物注事 AT000005 121情報 物注事 AT000006 121情報 物注事 AT000005 121情報 物注事 AT000006 121情報 物注事 AT000007	OB0000019 OB000020 OB000021 AT000001 AT000002 AT000003 AT000003 AT000004 AT000005 AT000006 AT000006 AT000006	ビータファイル名 080 (ハナデータファイル名 060 原題定法規則日、理由、実施者氏名等 060 (情報名 470 ーマード 470 (情報的北データ 470 (構築力測位 470 (事項 470) (通A 470)	08000019 08000019 28000020 4000002 支援者兵名等 0800001 47000001 4000001 47000002 4000001 47000003 4000001 47000004 4000001 47000005 4000001 47000005 4000005
読材情報 ジョイントデータファイル名 06000000 1 1 炊情報 役打度度実施明日,理由,実施者氏名等) 06000001 1 炒情報 地質情報名 AT000001 1 均指報 ガラーコード AT000002 1 炒情報 地質情報分 AT0000003 1 炒情報 地質情報分 AT000004 1 炒情報 物石の00003 1 1 炒情報 物石の00003 1 1 竹枝情報 物白道本 AT000004 1 竹枝情報 物白道本 AT000005 1 竹枝情報 物白道本 AT000006 1 竹枝情報 物白道本 AT000007 1 竹枝情報 物白道本 AT000008 1	OB0000020 OB0000021 AT0000001 AT0000002 AT0000003 AT0000003 AT0000004 AT0000005 AT0000005 AT0000006 AT0000007	(ハテータファイル名 080 (原歴実施明日,理由,実施者氏名等) 060 (情報名) ATOC ーコード ATOC パロパ (情報分批データ) (新報知社データ) ATOC (振発力期位) ATOC (事項) ATOC (通本) ATOC	08000020 08000020 実施者氏名等) 08000021 AT000000 AT0000002 AT0000002 AT0000003 AT0000004 AT0000005 AT0000004 AT0000005 AT0000006 AT0000005
株計稿報 改訂意思(実施規目,理由,実施者氏名等) OB0000021 日 料計情報 地質情報名 AT0000001 日 料技情報 カラーコード AT0000002 日 料技情報 地質情報分はガラーク) AT0000003 日 料技情報 特記事項 AT0000003 日 特技情報 特記事項 AT000006 日 特技情報 物性瘤 AT000006 日 特技情報 物性瘤 AT000006 日 特式得報 物性瘤 AT000006 日 サビ博報 物性瘤 AT000006 日 サビ博報 物性瘤 AT000007 日 酸性瘤 AT000008 日 日	OB0000021 AT0000001 AT0000002 AT0000003 AT0000003 AT0000004 AT0000005 AT0000006 AT0000007 AT0000007	1暦歴(実施明日,理由,実施者氏名等) 080 代籍紀名 ATO -コード ATO (情報対比データ ATO (場知)地分 ATO (場先)地位 ATO 事項 ATO (個A ATO	実施者氏名等) OB0000021 AT0000001 AT0000002 AT0000003 AT0000003 AT0000003 AT0000003 AT0000003 AT0000004 AT0000005
報告情報2 AT0000001 日 日 科性情報2 カラーード AT000002 日 科性情報2 地型(情報2)北データ AT000003 日 対性情報2 特征後年(現先)現位 AT000006 日 対性情報2 特記(準有) AT000006 日 対性情報2 物性値 AT000006 日 対性情報3 物性値 AT000006 日 対性情報3 物性値 AT000006 日 対性情報3 物性値 AT000007 日 対性情報3 物性値 AT000008 日	AT0000001 AT0000002 AT0000003 AT0000003 AT0000004 AT0000005 AT0000006 AT0000007 AT0000002	(情報名) ATO コード ATO (情報対比データ ATO (低先)順位 ATO 事項 ATO 道品 ATO	AT0000001 AT0000002 AT0000003 AT0000004 AT0000005
計 指 報	AT0000002 AT0000003 AT0000004 AT0000005 AT0000006 AT0000007	-コード ATO 1情報対比データ ATO 低係免増位 ATO 事項 ATO 適A ATO	AT0000002 AT0000003 AT0000004 AT0000005
社賃権報 地賃権報 対 は 「 中 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	AT0000003 AT0000004 AT0000005 AT0000006 AT0000007 AT0000007	(情報対比データ ATO (優先)順位 ATO (事項 ATO (個A ATO (個A ATO)	AT0000003 AT0000004 AT0000005
社賃報報 単有(優先)増位 AT000004 対価情報 特征事項 AT000005 対価情報 特征事項 AT000006 対価情報 物価値 AT000006 対価情報 物価値 AT000007 均価情報 物価値 AT000008	AT0000004 AT0000005 AT0000006 AT0000007	新(優先)順位 ATO 2事項 ATO 1値A ATO	AT0000004 AT0000005 AT0000006
性情報 特認2事項 A T0000005 性情報 物生福A A T000006 性情報 物生福B A T000007 性情報 物生福C A T000008	AT0000005 AT0000006 AT0000007	四事項 ATO 信直A ATO	AT0000005
時性情報 物性値A AT000006 対性情報 物性値の AT000007 以性情報 物性値の AT000007	AT0000006 AT0000007	EIĒA ATO	AT0000006
独信報 物性値P AT000007 独信報 物性値C AT000008 独信報 物性値C AT000008 御信電 教性値C AT000008 第一番のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	AT0000007		A1000000
裕士値C AT0000008 確定 キャンセル 列応追加 列別除	AT0000009	fi值B ATO	AT0000007
確定 キャンセル 列追加 列削除	-MI0000000	Elic ATO	AT0000008
	列前明余	かたさい 列始的 列削除	1.追力D 列前/形余
		<u>を確定します。</u> か?	【注意】 3次元地質・地盤モデル継承シー タファイルへのリンクを記録する項目

格納例)

- ・georiskフォルダに地質・地盤リスク情報を記した Docファイルを格納する
- ・outcrop_*フォルダにルートマップのpdfファイルを格 納する

8.3 属性情報の記録



⑥3次元地質・地盤モデル継承シートへの登録

- ・「登録」ボタンを押して3次元地質・地盤モデル継承シートへ登録します
- ・「登録」ボタンが押されるまでは属性情報は3次元地質・地盤モデル継承シートに保存されません

(プログラムを閉じようとすると警告がでます)



9.引継シート		
登録 終了 ☑	登録時、既存ファイルのパックアップを作成する	
各属性情報を設定してください。		GIMROKU Ver. 1.1.4
属性情報管理		
? 設定内容を記録シートファイルに登録します。 ようしいですか?	GIM_西新井.visx	
·	_	
「はい」ボタンを押します	す 3次元地質・地盤モデル 継承シートに属性情報が 保存されます	



(2)属性情報の記録例

3次元地質・地盤モデル継承シートに、項目の設定値が入力された属性情報シートが追加されます

ABMR# 🖅 🗄 5	I・(⁻ ・マ GIM_西新井.xbx・	の機能		西山明- 😣 📼 -	D X
ファイル ホーム 挿入	ページレイアウト 数式 データ 校開 表示	開発 ヘルプ A	crobat ≠− <u>/</u> , Gaaiho	ピ 共有	- ACKE -
		り折り返して全体を表示 目 セルを結合して中央編	する 末 - 数 - 5 -	Σ λ - h SUM Δ Δ Δ (#λ) (#k) (#k) Δ Δ Δ Δ (#λ) (#k) (#k) Δ	データ 分析
	2 2 Ret 2 20				
A1 * ^	✓ M TERENT = 9				· ·
- A	В	c	D	E	F A
1 作業カテゴリ	項目	Item,D	地形面		
2 管理情報	共通D(FC GUD)	CM0000001	0Kw/NbJov52vNNIrbozv7	0Kir/NaJo/62/NINIrbozv7	
3 #5171646	50	CB0000001	A/J/I	AAUI	
4 75401848	モデルを解散の準備	CBOOODOG			
5 75401848	1 5 5 - 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4	08000000			
5 X-000000	へパリーラリン2 本面提定大法という人につ	080000012			
→ 形状情報	地域地域の行為にパックションシン	08000014			
0 形状情報	オリジェルデーダビック	08000017			
10 形状情報	形状データファイル名	CB0000018			
11 形状情報	第件データファイル名	CB0000019			
12 形状情報	ジョイントデータファイル名	CB0000020			
13 形状情報	改訂履歴(実施期日,理由,実施者氏名等)	CB0000021			
14 期住情報	地質情報名	AT0000001			
15 順住情報	カラーコード	AT0000002			
16 風性情報	地質情報対比データ	AT0000003			
17 團性情報	堆積(優先)順位	AT0000004			
18 風性情報	特記事項	AT0000005			
19 關性情報	物性權A	AT0000005			
20 風性情報	物性調問	AT0000007			
21 属性情報	物性膿C	AT0000008			
22 23 24					_
< > 引継シート	管理_ 河川設計 属性_3D_サーフェス		•		
15				III III	+ 80%

・属性情報が入力されている対象は青字で表示されます

2. 属性情報		^
次元地質・地盤モデルの形状や	青報と属性情報を登録してください。	
3次元モデル	□ ボーリングモデル	
	□ ボーリング孔内検層モデル	
	サウンディングモデル	
	□ テクスチャモデル(準3次元平面図)	
	□ 物理探査テクスチャモデル(準3次元平面図)	
	□ 準3次元断面図	
	□ 物理探查準3次元断面図	
	<u> サーフェスモデル</u>	
	□ 物理探査サーフェスモデル	
	ンリッドモデル	
	□ ボクセルモデル	
	□ 物理探査ボクセルモデル	
	□柱状体モデル	
	□ パネルダイアグラム	

8.4 品質情報の記録



(1) 品質情報の記録手順

①「3.品質情報」設定パネルの表示 ・「3.品質情報」を展開します

III 属性情報管理 記録シートファイル:test.xlsx ー		×
1. 管理情報	~	^
2. 属性情報	~	
3. 品質情報	^	
3次元地質・地盤モデルの品質を示す地質調査情報を選択してください。		
□資料調査		
□写真判読		
□踏査		
ロサウンディング		
□ ボーリング		
□ 物理探査		
□ 地質学的試験		
□ 原位置試験		
□室内試験		
		~
登録 終了 ☑ 登録時、既存ファイルのパックアップを作成する		
各属性情報を設定してください。 GIMROKU	Ver. 1.1	.4:



8.4 品質情報の記録

②3次元地質・地盤モデルを構築するために使用した地質調査項目を選択・ ・左欄の地質調査項目を選択し、右欄より品質情報を記録する対象を選択します

	属性情報管理 記録シートファイル:test.xlsx		-		×
	1. 管理情報			~	^
	2. 属性情報			~	
	3. 品質情報		^		
	3次元地質・地盤モデルの品質を示す地質調	査情報を選択してください。			
	□ 資料調査	□ 空中写真·航空写真			
	写真判読	□ 地形図			
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□地質図			
	□ サウンディング	□ 地盤図			
	<u>ボーリング</u>	□ 地形分類図			
	物理探查	□ 活断層図			
	🗌 地質学的試験	地滑的判瞒网			
	🗌 原位置試験	□水文図			
	□ 室内試験				
		□ ハザードマップ			
		□ 土地利用図			
		□ 土地分類図			v
	· 登録 終了 ☑ 3	* 録時、既存ファイルのバックアップを作成する			
各	属性情報を設定してください。		GIMROKU	Ver. 1.1	.4:

③地質調査の品質情報を記録 ・品質記録対象の名称をクリックします

8.4 品質情報の記録



④品質情報記録列の追加

・品質情報を記録する対象の数だけ列を追加します

🔜 品質情報				– 🗆 X						
資料調査 地滑り	的統図									
データ数 : 1										
(A= 396_1 = -91)	-70									
1作業力テリリ	現日	Item_ID								
資料相同直	ちか	DS000001								
(資料活動直 次本)活動本	作成者	DS000003								
資料相利宣	作成年月日	DS0000011								
通常特別直		05000016								
运补结利且 [次本):日本	中国の方法	DS0000018								
)三个行列且 (次来))·周本	+18元に用いた地方と19号具の利用人 判断また2歳日	DS0000019								
)且水45月 <u>日</u>	中国党の沖縄大	DS0000020								
確定	キャンセル 列追加 き	列削除								
				ii.						
	•									
🔜 品質情報										
)内容に関本 460月10	影响本区									
道和詞重 <u>地</u> 洞功	刊6元123									
データ数 : 2										
作業カテゴリ	項目	Item_ID	地すべり地形分布図「川越」	地すべり地形分布図「熊谷」						
資料調査	名称	DS0000001								
資料調査	作成者	DS0000003								
資料調査	作成年月日	DS0000011								
資料調査	 図の縮尺	DS0000016								
資料調査	判膝方法	DS0000018								
本北部本	判時に用いた地形図め写真の違見	DS0000010								
具个信用量 次型 開本	「おんない」のとと思わせて、	00000019								
資料調賞	〒18700개8尺	DS0000020								



8.4 品質情報の記録

⑤品質情報の記録

・必要な項目の品質情報を入力し、「確定」ボタンを押します

・outcrop_*フォルダにルートマップのpdfファイルを格 納する
8.4 品質情報の記録



⑥3次元地質・地盤モデル継承シートへの登録

- ・「登録」ボタンを押して3次元地質・地盤モデル継承シートへ登録します
- ・「登録」ボタンが押されるまでは品質情報は3次元地質・地盤モデル継承シートに保存されません (プログラムを閉じようとすると警告がでます)

	属性情報管理 ×
	でごというなどのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そ
	(\$U\Y) U\.\Z(N)
9.引継シート	
登録 終了 ☑ 登録時、既存ファイノル0	Dバックアップを作成する
各属性情報を設定してください。	GIMROKU Ver. 1.1.4
•	
属性情報管理	
? 設定内容を記録シートファイルに登録します。 ようしいですか?	X=
はい(Y) [いいえ(N)	GIM_西新井.xlsx
「はい」ボタンを押します 3次テ 継承ミ	元地質・地盤モデル シートに品質情報が

保存されます



8. 4 品質情報の記録

(2)品質情報の記録例

3次元地質・地盤モデル継承シートに、項目の設定値が入力された属性情報シートが追加されます

自動保存 🖅 🗒 🌿) ~ (● 検索	5	Bill 18— 🛞	- 1	o x
アペル <u>水一ム</u> 挿入 除り付け 受 りりプポード rs A1 ▼ : ×	K-5U(P)ト 数式 データ 42編 -9 → 11 - A ^x A ^x = Ξ = + (□ × Δ × Δ × 2 × 5) 2x2+ 5 配 (F業力テゴリ	表示 開発 / 教示 開発 / 標準 直 正 図 / 昭 変 5	ヘルプ Acrobat チーム Gaaho ・ % 1 名 点 数値 5 25/10 ・ 25/10	田線入 · 医線 · 田線ス · セル 編集 · アイテア	☆ 共有 後空 度 ~ 秘密度	4<%
A	в	c	D	E	F	G
1 作業力テゴリ	項目	Item_ID	地すべり地形分布図「川越」	地すべり地形分布図「熊谷」		
2 管理情報	共通ID(IFC GUID)	CM0000001	0KwYNaJov52vNINIrbozv7	0KwYNaJov52vNINErbozv7	1	
3 資料調査	名称	DS0000001	地すべり地形分布図「川越」	地すべり地形分布図「熊谷」	7	
4 資料調査	作成者	DS0000003	/参考資料/LM-1172L.pdf	./参考資料/LM-1165Lpdf		
5 資料調査	作成年月日	DS0000011	/参考資料/LM-1172L.pdf	./参考資料/LM-1165Lpdf		
6 資料調査	図0D 續尺	DS0000016	/参考資料/LM-1172L.pdf	./参考資料/LM-1165Lpdf		
7 資料調査	利読方法	DS0000018	./参考資料/document.pdf	./参考資料/document.pdf		
8 資料調査	判読に用いた地形図や写真の緒尺	DS0000019	./参考資料/document.pdf	./参考資料/document.pdf		
9 資料調査	判読の縮尺	DS0000020	/参考資料/document.pdf	./参考資料/document.pdf		
10 11 12 13 14 15 16 17 40 2092 b 2092 b 2092 b 2092 b 2092 b 2092 b 2092 b 2092 b 2092 b 2095 b 20	· 영양 바카카 104 · 문문 20 H-7+7	ce and warse				
() 引紹シート	WHE_HE9ヘリ_BEET 陽性_3D_サーフエス					> 1000V
88				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · ·	- + 100%

・属性情報が入力されている対象は青字で表示されます

1. 管理情報		~
2. 属性情報		~
3. 品質情報		^
3次元地質・地盤モデルの品質を	示す地質調査情報を選択してください。	
<u>資料調査</u>	□ 空中写真· 航空写真	
□ 写真判読	□ 地形図	
□踏査	□地質図	
🗌 サウンディング	□ 地盤図	
□ ボーリング	□ 地形分類図	
🗌 物理探査	□ 活断層図	
🗌 地質学的試験	- 地滑り判読図	
🗌 原位置試験		
🗌 室内試験	□ 災害記録	
	ロハザードマップ	
	□ 土地利用図	
	□ 土地分類図	
登録 終了	☑ 登録時、既存ファイルのパックアップを作成する	

8.5 地質調査性能基準の記録



(1) 地質調査性能基準の記録手順

①「4.地質調査性能基準」設定パネルの表示 ・「4.地質調査性能基準」を展開します

🔜 3次元地質・地盤モデル継承シート 記録ファイル名:GIM_西新井.xlsx	_		×
1. 管理情報		~	î
2. 属性情報		~	
3.品質情報		~	
4. 地質調査性能基準		^	
3次元地質・地盤モデル構築に用いた地質調査結果の性能を入力してください。			
【対象地質】 □正常堆積物 □沖積層 □仲加体堆積物 □火山および火山岩 □深成岩 □欠山および火山岩 □変成岩 □人工地質体 □断裂(断層、裂か、節理) □重力移動 □風化・変質		~	~
各属性情報を設定してください。	GIMROK	J Ver. 1.1	4 .::



8.5 地質調査性能基準の記録

②3次元地質・地盤モデル構築に用いた地質調査結果の性能項目を選択 ・左欄より対象となる地質をチェックします

・各対象地質の名称を選択すると右欄に対応する調査基準項目が表示されます

・該当する調査基準項目をチェックします

- 	名:GIM_西新井.xlsx	-	o x
1. 管理情報			~
2. 属性情報			~
3. 品質情報			~
4. 地質調査性能基準			^
3次元地質・地盤モデル構築に用いた地質調	査結果の性能を入力してください。		
【対象地質】	【調査基準1】		C.
■ 正常堆積物	□正常堆積物の同定		
● <u>沖積層</u>	正常堆積物の分布		
□ 付加体堆積物	□ 地質構造		
□火山および火山岩	│ □ 堆積環境		
□ □ 深成岩	 □ 資源の起源と賦存量		
□			
□ □ □ □ <u>人工地質体</u>			
<			<u> </u>
登録 終了 ☑ 登	録時、既存ファイルのバックアップを作成する		
各属性情報を設定してください。		GIMROK	J Ver. 1.1.4

8.5 地質調査性能基準の記録



③対象地質の調査基準における性能基準ランクを記録 ・調査基準項目の名称をクリックし、該当する性能基準ランクを選択します

・「確定」ボタンを押して入力内容を確定させます



地質調査性能基準を確定します。

いいえ(N)

よろしいですか?

(はい(Y)



8.5 地質調査性能基準の記録

・入力されている対象地質と調査基準の項目は青字で、未入力項目は赤字で表示されます。

3次元地質・地盤モデル継承シート 記録ファイル:	名:GIM_西新井.xlsx	-	o x		
1. 管理情報			× ^		
2. 属性情報			~		
3. 品質情報			~	※左図の例では、正常	常堆積物・沖
4. 地質調査性能基準			^	相増の人力は済ん 地質体は未入力で	でいるか、人口
3次元地質・地盤モデル構築に用いた地質調	査結果の性能を入力してください。	,		ている	
【対象地質】 正常堆積物 二次功数 一付加体堆積物 一/小山および火山岩 二次成岩 二次広岩 二次近置体 二体整体 二時裂(約零,裂か,節理) 二年本に取り	【 調査基項 [→] 注積層の当相と分布 沖積層形成史 気候変動史 濁水準変動史 地殻変動史	#1]	Cá		
□ 風化•変質					
<			ファイル名:GIM_西新	新井.xlsx	– 🗆 X
登録 終了 ☑ 登	録時、既存ファイルのパックアッ	1. 管理情報			~
各属性情報を設定してください。		2. 属性情報			~
		3. 品質情報			~
		4. 地質調査性能基準			^
		3次元地質・地盤モデル構築に用いた	地質調査結果の性	縦を入力してください。	
		(対象地質) 正法連続独 ご法通 ○付加修準編物 ○大山あおび外山岩 ○東成岩 ○五丁建質栓 回転以(新常、裂か、新理) □気化・変質 < こ 二 (- - - - - - - - - - - - -	■ 人工 ² ● 人工 ² ● 小理 ² ● 沙質3 ● 最終分	【調査基準1】 地質体の方法 - 神経調査 地質体の汚染調査 環境の調査 二 公分場における人工地質体としての調査 - - - - - - - - - - - - -	(đ
	1	<u>x x x </u> Pe J 各属性情報を設定してください。	C Short Mit	27-1769/127772/C1F8839	GIMROKU Ver. 1.1.4
			1 +	ウマの小能	

入力完了の状態

8.5 地質調査性能基準の記録



④3次元地質・地盤モデル継承シートへの登録 「登録 |ボタンを押して3次元地質・地盤モデル継承シートへ登録します ・「登録」ボタンが押されるまでは地質調査性能基準は3次元地質・地盤モデル継承シートに保存されま せん (プログラムを閉じようとすると警告がでます) 属性情報管理 確定後の設定内容が記録シートファイルに登録されていません。 終了してよろしいですか? はい(Y) いいえ(N) 9. 引継シート 終了 ☑ 登録時、既存ファイルのバックアップを作成する 登録 各属性情報を設定してください。 GIMROKU Ver. 1.1.4 属性情報管理 ? 設定内容を記録シートファイルに登録します。 よろしいですか? はい(Y) いいえ(N) GIM_西新井.xlsx 3次元地質・地盤モデル 「はい」ボタンを押します 継承シートに地質調査性

能基準が保存されます



8.5 地質調査性能基準の記録

(2) 地質調査性能基準の記録例

・3次元地質・地盤モデル継承シートに、項目の設定値が入力された地質調査性能基準記録シートが追加されます

		_				_							-	-	
自動	(## 🖅 🖾 り				test2.xisx - Excel		● 検索					新山	e- 8 🔪	- /9	
ファイ	レ <u>ホーム</u> 挿入	ページ	レイアウト 数式 データ	校開	表示 開発 ヘルプ	Acro	ibat <i>手−L</i> Gaaiho							ピ 共有	4ckc 🕾
印	↓ 切り取り []]コピー ~ ダ 夢式のコピーパやりけは	游ゴ B	(>99 × 11 I ∐ × ⊞ × <u>A</u> × <u>A</u> ×	• A* A*		折り返し セルを結	で全体を表示する 橋道 合して中央地え ~ 昭 ~ % 9	★ 株件付き テーブルとして 書式。参書式的方、	標準 どちらでもない 貝い チェック セル	<u>思い</u> メモ - ジ 排入	新藤 福式 新藤 福式	∑オート SUM × ■ フィル × & かりア × 24	A Zマ シ (べ替えと 検索と (ルター > 選択)	74	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
	クリップボード	5	フォント	r	85R		5 数值	5	スタイル		セル	編集		アイデア	秘密度へ
			+:=i0												
AI		V]5													
-/ A	B D OKwYNaJov52vNINirbozv3	0	Þ	E	r	a	н	I.	L	к		L	м	N	0 P .
2	対象地質		要点总带)		講員基準2	設定値	A	В	с	D		基準定義			
	1 正常准确的	1-8-1	正常准装物の開定				形成過程を考慮した正常准装物の同定	堆積糧(浅海県、深海県、県鉄河川、総行 河川等)の歴史と油精生代の記念	米根城 (松丸、治丸) の活定	構成粒子の起源・粒径による堆積物の分類 とそれらの実動回顧の訳実					
4	1 正常相信物	1-8-2	正常准装物の分布			8	堆積通程・テクトニクス適相に基づく堆積 盆形成のモデル化	地下を含めた三次元分布形態の解明	関時間面の別方点語と形成年代の記室	地裏における分布と居庁および他の地質体 との現世の認定					
	1 正常准确物	1-3-3	地質構造			D	地質構造形成のモデル化	構造運動(所居運動、相由)時期およびの 力場可能の解释	地営の上下の確認・同時間面止許による所 毎の変けおよび初め形形の変質的解詞	回理面および新居面の走向・板斜分布と向 増や石との際体の研究					
6	1 正常消费物	1-8-4	潜员理境				環境変動のモデル化と将来予測	現現支動の定量的解明	環境支動および支動時期の正定	市場場と某伙区の問題と非明変動記録の確 述	ここでいる地話相利 ごの気気、地話へ消 尽に、海水草、後月 いるもの思いる。	こは、地球やお茶坊などの市街市、村 1、小山、大山、大山地区、海小地区、 地となの中でトニアスなど、市街市は	帯や8帯な 血液は、水 記録まれて		
	1 正常准确的	1-3-5	資源の起源と就存量				資源の程源と成存業の評価	資源局存決況の三次元分布の解明	資源の二次元分布の認定	資源の審任の確認	ここでいる旅行は日 は代記、ウラン、第	1、地下水、石油、石炭、大田方火、● 2) エロタイイクまれる。			
	2 沖風居	2-8-1	沖積層の変種と分布			D	沖縄居垣鉄遺程のモデル化	地表および地下試料に基づく三次元的場分 布の解明	始長および街上からの沙漠市の地下分布の 球車	現地における地質層序の認定及び地形音 料・既存地質音料にい基づく出場分布の記 定					
	2 10 現価	2-8-2	沙漠居形痕史				100年間回での年代認意に基づく過去2 万年間の形成虫の擁立	500年開始での年代認識に基づく形成主 の解説	地積橋認定と複数簡準の年代認定	展序の認識と展存の形成史への対比					
10	2 沖積層	2-8-8	英伙変動元				某体変動のモデル化と将来予測	金地球的気候変動と対比し、調査地域の気 保定数量を解明	英位変動量と変動単代の認定	気保変動記録の確認と近知の気保変動 更との 対比					
	2 沖積居	2-8-4	治水洋実動力				治水準変動のモデル化	金地球的治水準定動と対比し、調点地域の 治水準定動中を解理	海水洋変動量と変動単代の認定	消水準変動記録の確認と原知の消水準変動 少との対け					
12	2 沖嶺居	2-9-5	地放来動力				地位変動のモデル化と将来予測	広切地対変動と対比し、調査地域の地対変 動史を解明	地位支動量と支動率代の認定	地対変動記録の確認と医知の地対変動主と の対比					
12	3 付加中准确的	8-8-1	岩橋の三次元分布				付加通程と関係付けた岩橋の三次先分布の 解明	1mオーダーの岩橋分布および岩橋の絵曲 第位の解明	地裏および地下の10mオーダーの岩積分布 送面	地裏の100mサーダーの市積分布認定					
14	3 付加体准模物	3-3-2	吉療の形規単代				200万年林慶	500万年林慶	1000万单档度	1000万年より悪い熱愛					
15	3 付加件准模物	8-8-8	宮橋の付加華代				200万年林慶	500万年机度	1000万年档度	1000万年より悪い結果					
16	3 付加体准限物	3-3-4	宮橋の短原				各会権の形式環境変通の離時	各古橋の形成過程の解明	龍沼を聞じくする岩橋内の但方変化に並づ くら岩橋形成現地の解明	当満元清准領称、当洋部構成式石、当洋部 被面准領称、当浦経刑斜置被面准領的と離 派を興にする古橋の区分					
17	3 付加伸進機物	8-8-5	付加場柄の解明				付加通程のモデル化	付加過程が進行した地下深度・温度・応力 状態の解明	付加に伴う変形・彼所・接着通程の解明	付加体形成同期への位置づけ					
18	3 付加体准装物	3-3-6	付加過程以降の変形・変統作用				付加体の上昇・創刻通程のモデル化	各北幅における変形・変成の別方変化定量 約録時	起原を異にする各市場の支形・支成の損益 の定意的解明	変形の定葉的解析および変成の温度・圧力 条件の解明					
19	3 付加伸准装饰	8-8-7	資源の起源と就存量				資源の起源と旅存業の評価	普道県存状況の三次元分布の解明	普通の二次元分布の認定	治道の客盤の確認					
20	4 火山および火山岩	4-0-1	一般調素	4-8-1-1	火山市の両定		成国を考慮した火山市の同定	化学組成や粒度組成による火山市の両定	造お鉱物組成・微価組織による火山市の開 定	現地における火山岩の岩石島と症状の間意					
20	4 火山および火山岩	4-8-1		4-8-1-2	火山岩分布講委		居岸10 c mオーダーでの古橋変化の確認	回岸1mオーダーでの岩橋変化の確認	居存10mホーダーでの岩楂変化の確認	原序100mオーダーでの岩橋変化の確認					
22	4 火山および火山市	4-8-1		4-3-1-3	火山煙橫遠講美		火山神王次元横道のモデル化	地下試料による火山神構造の確認	物理特性による火山体構成の確認	地裏試料による火山神構造と居序の確認と 形成年代の認定					
								輸出量調整局算器行回の作用と輸火層式の	る場当時の空間分石の確認と増火幕代の認	-					
	 引継シート 	管理_	地すべり_設計 属性_3D_サ-	-712	品質_質科_地滑り判読回	地質	育宣性能基準 (+)								Þ
13												=	O 🗉 –		+ 70%

8.6 準3次元図面チェック



(1) 準3次元図面チェックの記録手順

①「5.準3次元図面チェック」設定パネルの表示 ・「5.準3次元図面チェック」を押します

🔜 3次元地質・地盤モデル継承シート 記録ファイル名:GIM_西新井.xlsx	-		×
1. 管理情報		~	
2. 属性情報		~	
3. 品質情報		~	
4. 地質調査性能基準		~	
5.準3次元図面チェック]
6.モデリング記録			
7. 地質·地盤リスク情報			
8. 照査記録			
9.引継シート			
登録 終了 ☑ 登録時、既存ファイルのバックアップを作成する			
各属性情報を設定してください。	GIMROK	J Ver. 1.	.4 .



8.6 準3次元図面チェック

②準3次元図面チェック対象の登録 ・準3次元図面チェックを記録する対象の数だけ列を追加する

😸 準3次元図面チ	199					
3次元地質·地盤	モデル構築に用いた準	3次元図面を登録し、確認した内容を記録してください。				
デー9数 : 1						
データの種類 (分類1)	データの種類 (分類2)	チェック対象	備考	ABS		^
CADE	平面·断面共通	単位はメートル系になっているか	目安になるオブジェクトの長さや距離を調べる			
		十分な精度でデジタイズされているか	曲線のノード配置を確認する			
		最新の図面であるか	更新日時や図面内の注釈を確認する			
		平面図・縦断図に位置基準が示されているか	平面図であれば測量座標の基準点。断面図であれば距離票や 縦横比			
		余分なレイヤが含まれていないか	非表示のレイヤは使用できない可能性があるので分類しておく			
			レイヤの削除や保護をおこなう			
		不足の情報はないか				
		プロック定義がないか	ブロック定義が作業の障害になる場合はブロック定義を解除する			
		境界線はポリラインになっているか	緑集合の場合は結合処理をおこないポリラインンに変換する			
		ポリラインの特徴は0になっているか	ソフトによっては幅をサーフェスに変換しデータが扱いにくくなる。レイ やにも幅が設定されていないか、グローバル幅が設定されていない かを確認する			
		線種を実線にしているか	装飾線はモデラーのレンダリングに負荷がかかる場合がある			
		地質凡例はあるか				
		地質解釈の限界は示されているか	着色範囲が推定限界を示しているかの確認が必要			
	平面図	座標基準が記載されているか	方位や測地系のXY座標の扱いに注意			
		コンターに高さがあるか				
		座標の精度を確認したか	基準グリッドが示されている場合はグリッドの寸法が正確かをチェック する			
		オブジェクトのZ値に異常がないか	無意味にZ値の値を持っている場合は、作業の障害になる場合が あるのでZ値を修正する			
	新面図	断面測線が平面図に示されているか				
		断面の起点・終点と平面図測線の起点・終点は合っているか	測線の長さや交差位置が正しいかチェックする			
			合っていないことを前提として確認したほうが良い			
		縦横比を確認	モデル化の対象や目的に応じて修正する			
		目盛や標尺の長さは正確か	デジタイズ回面やデータ変換した回面の場合、目盛や標尺に誤差 が生じる場合がある。目盛や標尺の長さを計測して調べる			
		境界線の末端処理はなされているか	末端に離れや交差がある場合は延長やトリムが必要			
		高さを持ったデータが含まれていないか	断面図を3次元化する際に障害になる場合があるので2億を修正 する			
L	· · · ·					~
確定	キャンセル	列迫加列前除				

3次元地質・地盤モデル構築に用いた灌3次元図面を登録し、確認した内容を記録してください。 データ数 : 2 データの種類 (分類1) データの種類 (分類2) 備考 チェック対象 A断面 时间 CADIZIT 平面·断面共通 単位はメートル系になっているか 目安になるオブジェクトの長さや距離を超べる П 十分な精度でデジタイズされているか 曲線のノード配置を確認する 最新の図面であるか 更新日時や図面内の注釈を確認する 平面図であれば測量座標の基準点。断面図であれば距離票や 縦横比 平面図・縦断図に位置基準が示されているか 非表示のレイヤは使用できない可能性があるので分類しておく 余分なレイヤが含まれていないか レイヤの削除や保護をおこなう 不足の情報はないか ブロック定義がないか ブロック定義が作業の障害になる場合はブロック定義を解除する 線集合の場合は結合処理をおこないポリラインンに変換する 境界線はポリラインになっているか ソフトによっては構をサーフェスに変換しデータが扱いにくくなる。レイ やにも幅が設定されていないか、グローバル幅が設定されていない かる確認する ポリラインの4階は0になっているか 線種を実線にしているか 装飾線はモデラーのレンダリングに負荷がかかる場合がある 地質凡例はあるか 地質解釈の限界は示されているか 着色範囲が推定限界を示しているかの確認が必要 平面図 座標基準が記載されているか 方位や測地系のXY座標の扱いに注意

8.6 準3次元図面チェック



③準3次元図面チェックの記録

・準3次元図面の該当する項目について確認した後にチェックマークを付けます

□ ・・・ 未選択 □ ・・・ 選択 - ・・・ 該当なし

・チェック欄はクリックにより順に変動します

 $\Box \ \rightarrow \ \boxdot \ \rightarrow \ - \ \rightarrow \ \Box \ \rightarrow \ \varnothing$

うの種類 分類1)	データの種類 (分類2)	チェック対象	備考	A断面	日新面
306	平面·断面共通	単位はメートル系になっているか	目安になるオブジェクトの長さや距離を調べる	2	Ø
		十分な精度でデジタイズされているか	曲線のノード配置を確認する	-	-
		最新の図面であるか	更新日時や図園内の注釈を確認する		Ø
		平面図・縦断図に位置基準が示されているか	平面図であれば測量座標の基準点。新面図であれば距離票や 鍵欄化	ø	Ø
		余分なレイヤが含まれていないか	非表示のレイヤは使用できない可能性があるので分類しておく	Z	Ø
			レイヤの削除や保護をおこなう	-	Ø
		不足の情報はないか		2	2
		プロック定義がないか	ブロック定義が作業の障害になる場合はブロック定義を解除する	Ø	-
		境界線はポリラインになっているか	線集合の場合は結合処理をおこないポリラインンに変換する	2	Ø
		ポリラインの特徴はのになっているか	ソフトによっては幅をサーフェスに変換しデータが吸いにくくなる。レイ ヤにも幅が設定されていないか、グローバル幅が設定されていない かを確認する	Ø	Ø
		線種を実線にしているか	装飾様はモデラーのレンダリングに負荷がかかる場合がある	2	2
		地質凡例はあるか		Ø	Ø
		地質解釈の限界は示されているか	着色範囲が推定限界を示しているかの確認が必要	-	2
	平面図	座標基準が記載されているか	方位や測地系のXY座標の扱いに注意する	-	-
		コンターに高さがあるか		-	-
		座標の精度を確認したか	基準グリッドが示されていても、グリッドの距離が正確かは確認必要	-	-
		オブジェクトの2値に異栄がないか	無意味に2個の値を持っている場合は、作業の障害になる場合が ある	-	-
	断面図	断面測線が平面図に示されているか		Ø	Ø
		断面の起点・終点と平面図測線の起点・終点は合っているか	合っていないことを前提として確認したほうが良い	Ø	2
		測線の長さや交差位置が正しいか	合っていないことを前提として確認したほうが良い	2	2
		縦横比を確認したか	モデル化の対象や目的に応じて修正する	Ø	Ø
		目盤や標尺の長さは正確か	デジタイズ回廊やデータ変換した回廊の場合、目盛や槽尺に誤差 が生じる場合がある。目盛や槽尺の長さを計測して調べる	Ø	Ø
		境界線の末端処理はなされているか	末端に離れや交差がある場合は延長やトリムが必要	Ø	2
		高さを持ったデータが含まれていないか	新面図を3次元化する際に蹲害になる場合があるので2値を修正 する	Z	Ø
*38	平面·新面共通	歪みがないか	置みがある場合は再スキャニングする。局部的な歪みはデジタイズ 時に対応する	Z	2
		斜めにスキャニングしていないか	彩めの場合は再スキャニングか、画像処理シフトで幾何補正する(モデラー(ご補正できる場合もある)	-	-
		座標語準が記載されているか	図面のなかに基準線が入っている	2	2
		解像度は十分か	十分でない場合は再スキャニングする	-	-
嶋データ		単位はメートル形になっているか		-	-
		座標糸は明確か		-	-
		周華準備を数字準備の込みはついているか	XYI主体の加生物にとまする	-	-
		テージの範囲(載小蔵大)は明確か	テージの方面に撮びなないの	-	-
		後日期の目的でので、たち、 (株の2010年1月1日)	xyffræt præsike	-	-
		1世の精度を確認したか	単構度、信構度、小奴点情報、小奴点以下丸めなど	-	-

・「確定」ボタンを押して入力内容を確定させる





8.6 準3次元図面チェック

④3次元地質・地盤モデル継承シートへの登録
 ・「登録」ボタンを押して3次元地質・地盤モデル継承シートへ登録します
 ・「登録」ボタンが押されるまでは準3次元図面チェックの記録は3次元地質・地盤モデル継承シートに保存されません(プログラムを閉じようとすると警告がでます)

	に言口がてより	属性情報管理 ×
		でで、 確定後の設定内容が記様シートファイルに登録されていません。 終了してようしいですか?
		はい(Y) いいえ(N)
9.引継シート		
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	途録時、既存ファイルのパックアップを	作成する
各属性情報を設定してください。		GIMROKU Ver. 1.1.4
₽		
属性情報管理		
? 設定内容を記録シートファイルに登録します。 よろしいですか?		
はい(パ) いいえ(N)	GIM_西新井	F.xlsx
「はい」ボタンを押します	3次元地質・1 継承シートに準 面チェックの記録	也盤モデル ≜3次元図 緑が保存さ
	れます	

8.6 準3次元図面チェック



(2) 準3次元図面チェックの記録例

・3次元地質・地盤モデル継承シートに、項目の設定値が入力された準3次元図面チェック記録シートがチェック対象毎に追加される

ル ホー	—————————————————————————————————————	ページレイアウト 数式 データ	校問	表示問発		crobat	→ 一人	Gaaiho	A
X	Meirvo LIT	× 11 × = = - ab.	TX BE	4×小 1809€	, 、, , , , AI 書式 ~	a obdi			
]	B I U ~		~ %	* ファーブルと	⊕ 33、* して書式設定 *	- Hereit	50	47	
u –	🖽 • 💁 •	<u>A</u> ~ <u>Z</u> ~ <u>E</u> <u>2</u> %/~	22(1	- 豚 セルのスタ	416 ×	UNV V	798346	デア	
がード ら	コー フォン	ト ら 配置	F2	7	タイル			アイデア	秘密度
	- : × -	f _x ID							
A	в	c	D		E				F
ID	0KwYNaJov52vN	INIrbozv7	名称	A断面					
÷	-9の種類	チェック対象	9197	The state of the second se	備考				
		単位はメートル来になっているか 十分な精度でデジタイズされているか	-	自安になるメリシェリトの 自線のノード配置を確認	5421-111-111-110-11-10 542				
		最新の回面であるか 平面図・縦所図に位置基準が示されているか	2	更新日時や回面内の注 平面図であれば測量座	釈を確認する 標の基準点、所面図	であれば距離	需物料器化		
		余分なレイヤが含まれていないか		非表示のレイヤは使用で	きない可能性がある	ので分類してお	X		
		不足の情報はないか	-	レイヤの削除や解決をお	249				
	平面·断面共通	ブロック定義がないか 道思線はおしっているか	2	ブロック定義が作業の障碍 線集合の場合は結合領	害になる場合はブロ)	の定義を解除!	する		
		ポリラインの幅はOになっているか		ソフトによっては幅をサー れていないか、グローバル	フェスに変換しデータが	州扱いにくくなる。 いかを確認する	・レイヤにも幅	が設定さ	
		線種を実線にしているか	2	装飾線はモデラーのレン	ダリングに負荷がかか。	場合がある			
		地質解釈の限界は示されているか	-	着色範囲が推定限界を	示しているかの確認が	∧必要			
:AD図面		座標幕進が記載されているも	-	方位や潮波スのソンホー	この扱いに注意する				
	10.000	コンターに高さがあるか	-	The second					
	-+-1005	経標の構度を確認したか オブジェクトの2価に異常がないか	-	基準グリッドが示されてい 無意味に7倍の使を持-	にも、グリッドの距離) ないる場合は、作業	アビ確かは確認の障害になる。	8必要 8合が83		
		新面測線が平面図に示されているか	2	CONTRACTOR DESCRIPTION	- Constants TF#				
		当日期の起点、砂点と平面は消除の起点、砂点 は合っているね。		合っていないことを前提と	して確認したほうが良	(L) (L)			
	105 (We may	報機比を確認したか	2	モデル化の対象や目的に	このして修正する				
	erooki	目盤や標尺の長さは正確か	2	テジタイズ図面やテータ。 る。目盤や標尺の長さを	計測した図面の場合。 計測して調べる	日盛や県尺に	調差が生じる。	音合があ	
		現界線の末端処理はなされているか 高さを持ったデータが含まれていないか	2	末端に離れや交差があ 断面回を3次元化する	5場合は延長やドリム 際に障害になる場合が	から要 があるのでZ値を	修正する		
		20 24 5 521 \ \fr	[7]	変みがある場合け直て	しゃついがする 同前的	け変みはデジ	9.4.785(* 940)	T A	
		料めにスキャニングしていないか	-	斜めの場合は再スキャニ	ングか、画像処理ソン	トで幾何補正	する(モデラー	にて補正	
國傳図面	平面·断面共通	座標基準が記載されているか	2	図面のなかに基準線が	えっている				
		解像度は十分が	-	十分でない場合は再ス	¥Y=>2996				
		単位はメートル系になっているか 座標系は明確か	-						
数値データ		測量座標を数学座標の区別はついているか	-	XY歴標の逆転に注意す	73				
		データの範囲(最小,最大)は明確か 座標の配列を確認したか	-	データの分布に偏りがな xy昇順・路順など	, vtr				
		値の精度を確認したか	-	単精度、倍精度、小数	点桁数、小数点以下	えめ など			
ID	0KwYNaJov52vM	INIrbozv7	名称	B断面					
デ	- 9の種類	チェック対象	チェック		偏考				
		単位はメートル糸になっているか 十分な精度でデジタイズされているか	-	日安になるオフシェクトの 曲線のノード配置を確認	1世代の時代的人で 「「「「」」 「「」」				
			C 2	THE REPORT OF A REPORT OF A REPORT	釈を確認する				
		最新の回面であるか 平面回・縦所同にの酒基準が示されているか	2	更新日時14日国内の注 変面図であれば測量係	標の基準点、所有区	であわば印理学	THE TOTAL OF TOTAL OF THE TOTAL OF THE TOTAL OF THE TOTAL OF		
		最新の図面であるか 平面図・縦断図に位置基準が示されているか 余分なレイヤが含まれていないか	2	更新日時14回面内の注 平面図であれば測量座 非表示のレイヤは使用1	標の基準点。断面図 きない可能性がある	であれば証用! ので分類してお	第74紙模比 X		
		最新の図面であるか 平面図・縦断部に位置基準が示されているか 余分なレイヤが含まれていないか 不足の情報はないか		更新口時で相面内の注 平面図であれば測量座 非表示のレイヤは使用1 レイヤの削除や保護をお	標の基準点。断面図 きない可能性がある こなう	であれば証用 ので分類してお	奈竹報頃15 X		
	平面·断面共通	着新の認識であるか 平面図・確認識に位置基準が示されているか 余分なレイヤが高まれていないか 不足の情報はないか プロック定義がないか 規算確は利うづくとなっているか		更新口時で絵画内の23 平面図であれば測量座 非表示のレイヤは使用1 レイヤの削除や保護をお ブロック定義が作業の厚 線集合の場合は結合の	標の基準点。断面図 さきない可能性がある こなう 害になる場合はプロッ 硬をおこないのライ	であれば卸用 ので分類してお ク定義を解除 ンに変換する	来り報(構)に X する		
	平面·断面共通	新知らの間であるか 平面回一級活動にの濃美率が示されているか 余分はレイザが含まれていないか 不定の情報はないか 力少な支援がないか 現界線はパックインなっているか おりうくの悔はなになっているか		更新ロ時で回回りの23 平面設であれば測量座 非表示のレイヤは使用1 レイヤの削除や保護をお フロック定義が作業の厚 線集合の場合は結合変 ソフトによっては幅をサ れていないか、グローバII	様の基準点、断面図 きない可能性がある こなう 害になる場合はプロゥ 理をおこない(0)ライブ フェスに変換しデータ7 相が設定されていか。	であれば部務5 ので分類してお ウ定義を解除 シンに変換する 内扱いにくくなる。 小を確認する	用り和紙構に × する 、レイヤにも幅		
	平面・断面共通	新州の成績であるか 下期回い補助間にの加基率が与されていなか かうなレイザが変れていないか 不定の情報はないか フレックで素がないか 用所確認よりラインになっているか 利うインへ間はつになっているか 構成を取られているか 制度目の細いるから		気がご用いる回いのよう 不可認定をあれば利益後 非表示のしくやは使用 レイヤの利益や保護をお フロック工業が作業の厚 線集合の場合はお合変 ソフドによっては稀をサー れていないか、クロー/50 装飾線はモデラーのレン	様の基準点、断面図 含ない可能性がある こなう 書になる場合はブロッ 理をおこない(0)ライ フェスに変換しデータ 相が設定されていない タリングに負荷がから	であれば卸用5 ので分類してお り定義を解除 ソンに変換する 内扱いにくくなる、 小を確認する に場合がある	示で細構正 ※ する 。レイヤにも幅	69902E2	
	平面·断面共通	新作の回訳であるか 丁原に、後期になった「新華幸好デストていらか」 今分して「竹原活まれていないか 不定の情報にないか フロック定義がないか 同子のと聞いているか 回春季末期にしているか 回春季末期にしているか 回春季末期にしたいるか		気がにおいた時でも回いのとう 平面はであれば別量先 非販売のしくやは使用 レイヤの別時や保護をお プロックご高い作業の構 酸集合の場合は総合変 ソフトによっては幅をサー れていないか、グローバの 装飾線はモデラーのレン 新色証明が修定取得を	様の基準点、断面図 さない可能性がある こなう 書になる場合はプロク 環境をおこない取りうイ フェスに変換しデータ 構成型ごされていない 多リングに負荷がかか? 示しているかの構識か	であれば距離1 ので分類してお ウ定義を解除 ンに変換する 外放いにくくなる。 小かを確認する いの姿	赤ヤ紙構正 X する 。レイヤにも幅	638x228	
CAD回南	平衡-新衡共通	新作の回家であるか 実際になっていたか。 生活用には可能になったが、 生活した。 などのでありたいためが 国際期にはのとかったいなか 国際期にはのとかったいなか 国際期になったいなか 国際期になったいなか 国際期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期期になったいなか 日期間にはないなかなか 日期間にはないなか 日期間にはないなか 日期間になったいなか 日期間になったいなか 日期間になったいなか 日期間になったいなか 日期間になったいなか 日期間にはなったいなか 日期間にはなったいなか 日期間にはなったいなか 日期間にはないなか 日間にはなか 日間にはなか 日間にはなか 日間にはなか 日間にはないなか 日間にはなか 日間に		大部に1時で利用ののごう 年間になられば割量生 非表示のレイヤは使用 レイヤの制除や構造をお プロック工業が作業の構 線集合の場合は結合交 ソフトによっては備むサー れていないか、グローバの 装飾線はモデラーのレン 新作品読が指定期件を 力位で現限をの2005年	様の基準点、時面に さない可能性がある こなう 害になる場合はブロッ 環境おこないがりテイン うえた変換がデータが 構成短途されていな かリングに負荷がかかく 示しているかの構設が 和の扱いに注音す ²	であれば距離1 ので分類してお ウエニ系を解除: ンこの変換する 方扱いにくくなる。 、かを確認する い場合がある ・ 6の要	示で被視し X する 、レイヤにも極	59922 A	
CAD图面	平面-新面共通 亚来43	新いの回てたるか 実際に、必要素単大学れているか。 かうなしていなった。 かうなしていなった。 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、		第日19年94回の2017 第回国にされば新聞紙 結果示のレイヤは使用 レイヤの利用や確認され フロック定当が作業の再 編集会の場合は結合な フロックによって構造サ れていないか、クローバの 良齢編はモデラーのレン 着の記録が指定規符を 方位や現地系のXYEM	様の基準点、新面記 きない可能性がある こなう 面になる場合はプロッ 埋きおこないがりライ うええを変換データ) 構成設定されていな 抑しているかの確認か 取扱いに注意する	にあれば証用 ので分類してお ウエ、高を解除 シンに変換する 方扱いにくなる、 小を指認する 3場合がある	示で被視に × する 。レイヤにも幅	HW222	
CAD网面	平衡-活動共通 平衡時	新いの調定をあか 実際になった事業が完全れているか 年分なしていなかままで、 なったないためため、 なったないためため、 ののののであった。 なったないためため、 ののののであった。 なったないためため、 のでする。 なったいためため、 のでする。 つくていためため、 のでする。 のでする。 つくていためため、 のでする。 つくていためため、 のでする。 つくていためため、 つくていためため、 つくていためため、 つくていためため、 つくていためため、 つくていためため、 つくていためため、 つくていためため、 つくていため、 ついていため、 つくていため、 つくて		第日19年94回の2015 第二回目にされには第三法 参表示のレイヤロを用いてきます。 が、のの一くないなどの になった。 のの一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くないない、 の一くない、 の一くないない、 の一くない、 の一くない、 の一くない、 の一くない、 の一くない、 の一くない、 の一、 の一、 の一、 の一、 の一、 の一、 の一、 の一、 の一、 の一	様の基準点、動画記 使う基準点、動画記 含ない可能性がある こなう 面になる場合はブロッ 理を起こないのらイ つうえに登録しデーが 相が設定されていない かりプロと読得がか の、 たいこれのの構設だ 取扱いに注意する にても、グリットの原題 こている場合は、 か同	であれば那種1 ので分類してお ウ支系を解除し ンパを後期する が取らてくなる が予備提する」 が多価提する がある がある がある がある がある がある	※1報後月22 マ マ ろ こ し イヤにも確 こ の 安 こ の 変 こ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	1780222	
CAD图而	平衡-新衡共通 平衡网	新いの調定であるか 室間を確認的での効果準定されているか 余分なレイヤが含まれているいか 不定の環境相互いか プレン学業展現した プレン学業展現した のためで、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののので、 のので、 ののので、 のので、 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 のので、 ののので、 ののので、 ののので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 ののので のので、 のので のので		常に口等や4回かっか。 宇宙院であれば無効能 非表示のよくれは使用 しくれの創除や標準合体 単葉会の場合は結合空 ソフトによっては構立 第二のないた、70年-700 熟練線とモデラーのレン 着の証拠が優え県界を 着ない時間にあっなど感聴 草準プジャドデニされて、 軸要味に乙醇の優を持つ	様の基準点、影響的 使うない可能性がある こなう 面になる場合はプロ 増きれていない デンプに発展しアージ 増が調定れていない デンプに良荷がかい 示しているかの補助が 取扱いに注意する にも、グリッドの原題 こている場合は、作業	であれば部準約 ので分類してお ウ工業を解除 シンに変換する 対感してくなる。 小学を確認する になるがある イル確かな確認 の優悪になる場	※1報項に × する 、レイヤにも極 名の要 書合がある	590222	
CAD图面	平面-副創共通 平面[3]	新作の回訳できるか 学習品を確認的できるか 学習品を確認的になった。 ためでするまたではないか 用等解除のの情報がないたか のかっているか と確認するためでいるか となっているか になっているか になっているか にの なっているか にの なっているか にの なっているか にの なっているか にの なっているか にの なっているか にの なっているか にの なっているか いろの での なっているか にの なっているか での での での での での での での での での での		ドレビリ Value 2010 宇宙院であれば 新潟県 非美元のとイヤは使用 していの用除や保護をお プレウズ定まだ作業の構 増生会の市谷は結合な 実力によっては解そり れていないの、クローバの 素新線はモデラーのとつ 高合証明が自え取存 素素ダンカドが示されて 無電はこと年の命を注 高つていないことを制限の のつけいとなり	様の早年点、計画四 きない可能性がある こなう 面でなる場合とプロ5 面をない場合とプロ5 面をないのライ フスに変換データーが 備が設定されていない かしプロ6集構成であっていた かしているかの確認 見ないこ注意する いても、グリッドの回聴 いている場合は、作業 して確認したほうが良く イン理想のとほうがら	にあれば即期 ので分類してお や之義を解除 つくた変換ない にくなる。 いたを接続する いたを接続する。 の場合がある ・ が正確がな確認 の場面になる場 し、	※1984頃に、 ※ する 、レイヤにも極 思め要 言会がある	#100222	
CAD经商	एक-सजारजे एकस्व	新作の回家であるか 実計していなか。 ながなし、イヤダ合変れていないか かかなし、イヤダ合変れていないか 不定での機能ないか フレダンズを得知した。 カリゲンムの様になったいんか 健康を実施しているか 健康を実施しているか 健康を実施しているか 健康を実施しているか 健康を実施しているか では、日本のから、 ないため、		こことのういな問題があった。 事業について単純化 非実示のしくいなど使用 としていの問題を保護ささし、 していの目的を付属さらし、 していなの目がもにもある。 していないた、のでしていた。 素の目的には、そので、のし、 ないため、のしていた。 ないため、のしていた。 ないたいで、その知道、 していないことを参加定、 していたいことを参加定、 していたいことを参加定、 していたいことを参加定、 していたいことを参加定、 していたいことを参加定、 していたいことを参加定、 していたいことを参加定、 していたいことを参加定、 していたいことを参加定、 していたいことを参加定、 していたいことを参加定、 していため、のは、のし、のし、のし、のし、のし、のし、のし、のし、のし、のし、のし、のし、のし、	●な母きは、長期間があることは、 さない可能があることはう 面になる場合はプロション 間をなる場合はプロション 「していたいの」 「していたいたいの」 「していたいたいの」 「していたいたいたいの」 「していたいたいの」 「していたいの」 「していたいの」 「していたいたいの」 「していたいたいたいで」 「していたいたいで」 「していたいたいで」 「」 「していたいたいで」 「していたいで」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	であれば即標準ので分類してお ので分類してお や之実験を解除 での実験を解除する 解除してくびる。 が安倍認する。 が安倍認する。 が安倍認する。 が安倍認する。 が安倍認する。 が 常くので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	1984頃に、	######################################	
CAD密而	平街-55的儿園 平面図 終面図	新いの調定をみや 実際に、確認である。 生まれ、確認的に、の事業単大学れていなか かうなしくりなった。 なった、 のうなし、イソフタスは、 ないた、 のうなし、 のうなし、 のうなし、 のうなの様にないため たいため に、 のうなの様にないため の で、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 の		たしての1988年の3000 すままでしくいなどか していか利用ではないたない していか用いてないた。 プロシクエムが作業の得 構築会なのないたたない まのでは、これのや のでいないたでも明確に たっていないことを明確に アンタイムの1987年の1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に したい、ことを明確に したい、ことを明確に したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に したい、ことを明確に したい、ことを明確に したい、ことを明確に したい、ことを明確に したい、ことを明確に したい、ことを明確に したい、ことを明確に したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に したい、ことを明確に たまい、ことのの1987年の したい、ことを明確に たまい、ことのの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことを明確に アンタイムの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、ことのの1987年の したい、1987年の したい、このの1987年の したい、このの1987年の したい、こののの1987年の したい、このの1987年の したい、このの1987年の したい、このの1987年の したい、このの1987年の したい、このの1987年の したい、このの1987年の したい、このの1987年の したい、このの1987年の したい、このの1987年の したい、1987年の したい、このの1987年の したい、19	高に基金、 古田 にない可能性があっ こなう 一定なう 一定なう 一定なう 一定なう 一定なう してないのシイ フレアンにないのシイ のでの のでの してないのシイ のでの のの のの のの のの のの のの のの のの の	にあれば即應 ので分類してお や之業を解除 へな変換する 増加してなる が変換器する がある が必要 所正確かよ確認 の障害になる場 い い い	■「報貸広 × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	1780/222	
CAD图面	平高-动图片通 平面四 時期四	新作の調定であるか 室間に後期間であるか 空の環境相互いた 力が少さまがれいか。 内分のレイヤが含まれていないか 本型の環境相互いた 力が少さまがれいか。 のかっているか 間質で利用したのでいるか 回答事を見ているか 可算で利用したので、 内容量を発見したいたか 日本のので、 中容量を発見したか。 力をつくているか 日本のので、 日本ののでの		それが1998年の1998年01998年の1998年01998年の1998年01998年の1998年01998年の1998年01998年1998年1998年1998年1998年1998年1998	高い基金は、当期 はない可能性があっ こなう 一定なう 一定なう 一定なう 一定なう場合はプロン 様を起こないのレイ つなて変数にのレイ のでのためで、 のでのでのでのでので、 のでのでのでので、 のでのでのでのでのでのでので、 のでのでのでのでのでのでのでので、 のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので、 のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので、 のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	であれば即用 ので分類してお シンに変換する が感してなる。 が認いてくなる。 い場合がある ん必要 ゲロモがなる場合 の厚書になる場 し、 し、 目前や標序にこ し、 い。	(報酬値) () () () () () () () () () () () () ()	1780222	
CAD图面	平街-計測八橋 平面内 紙面内	新いの調定であるか 室間を視聴的にの効果素が完全れているか か分なレイヤが含まれているいか か分なレイヤが含まれているいか 不定の環境相互いか クリンクズ素がないか のののです。 のののです。 のののです。 のののです。 つのです。 つのです。 つのです。 つのです。 つうです。 つのです。 つのです。 つのです。 つのです。 つのです。 つのです。 つのです		日本のより、日本のより、日本のより、日本のように、日本のよう(日本のよう)、日本のよう(日本のよ)、日本のよう(日本のよ)、日本のよう(日本のよ)、日本のよう(日本のよ)、日本のよう(日本のよ)、日本のよう(日本のよ)、日本(日本ot)、日本(日本ot)、日本(日本ot), 日本(日本ot), 日本(日本ot), 日本(日本ot), 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10	毎年基本の、世期の またい可能性があったか。 またい可能性があったか。 またい可能性があったか。 またいのから、 またいのから、 一次になられていたか。 単分では高かがたい、 のかったもかがない。 またいのから、 して確認したもかがない。 して確認したもかがない。 またいのであった。 して確認したもかがない。 して確認したもかがない。 して確認したもかがない。 して確認したもかがない。 して確認したもかがない。 して確認したもかがない。 して確認したもかがない。 して確認したもかがない。 して確認したもかがない。 して確認したもかがない。 しているかられていたか。 しているかられていたか。 していため、 していたり、 していため、 していため、 していため、 していため、 していため、 していため、 していため、 していため、 していため、 していため、 していため、 していため、 したり、 していため、 したり、 していため、 していため、 していため、 したり、 していため、 したり、 していため、 したり、 していため、 したり、 していため、 したり、 していため、 したり、 していため、 したり、 したり、 したり、 したり、 したり、 したり、 したり、 したり	であれば即用 ので分類してお クエースを解除。 シンに変換する が感してなる。 が認らかある んが要 ゲエモ酸がえるなる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(福祉県広) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	######################################	
CADØR	平道-武勇共通 平道(2) 時期(2)	新いの間であらか 実計してはないでの意味事が完全れていらか 会力なレイヤジ含まれていないか 大型の情報をおいか プレジアス集例をおいた プレジアス集例をした の時期をので用りまたれているか 取得人を知られているか 取得人を知られているか などの事件がありまたのでのでのでのできためでいるか などの事件がありまたのでのでのできためでいるか などの事件がありまたのでのできためでいるか などの事件がありまたのでのできためでいるか などの事件がありまたのでのできためでいるか などの事件がありまたのでのできためでいるか などの事件がありまたのでのできためでいるか などの事件がありためできためでいるか などの事件がありためでいるか などの事件がありためできためでいるか などの事件がありためでのできためでいるか などの事件がありためできためでいるか などの事件がありためできためでいるか などの事件がありためできためでいるか などの事件がありためでのできためでいるか などの事件がありためでのできための などの事件がありためでのできための などの事件がありためでのできための などの事件がありためでのできための などの事件がありためでのできための などの事件がありためでのできための などの事件がありためでのできための などの事件がのかでのできためのできためのできための などの事件がありためでのできためのできための などの事件がありためでのできためのできためのできための などの事件がありためのできためのできためのできためのできためのできためのできためのできためのでき		日本に対していた。 日本により、「日本」、「日本」、「日本」、「日本」、「日本」、「日本」、「日本」、「日本」	毎年基本は、世期の またい可能性があったよう 新たいななう 新たいななう 新たいでありたい。 ため、「シングを着いたい」 「しているかが構成」 かった、自分がいた。 「しているかが構成」 になったから、「しているかが構成」 になったから、 「しているかが構成」 になった。 「しているかが構成」 になった。 「しているかが構成」 になった。 「しているかが構成」 になった。 「しているかがない」 「しているかがない」 「しているかがない」 「しているかがない」 「しているかがない」 「しているかがない」 「しているかない」 「しているかない」 「しているかない」 「しているかない」 「しているか。 「しているか」 「しているか。 「しているか。」 「しているか。 「しているか」 「しているか」 「しているか。」 「しているか。 「しているか」 「しているか。 「しているか。 「しているか。 「しているか。 「しているか」 「しているか」 「しているか。 「」」 「しているか。 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	てあれば即用の ので分類してお や工業を解除 シンに変換する 解除してくなる。 小学告報第マム・ 小学告報第マム・ 小学告報第マム・ 小学告報第マム・ 小学告報第マム・ 小学を発展第二、 の 開一てなる。 に し し し し し し し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 一般構正 マる マイヤにも端 シン準 島合がある 調査がある 協正する タイズ時に対応 する(モデラ) 	が設定さ 	
CAD回用	平道-动图共通 平面四 新面印	新いの調定をあか 実際に、健康業績であり、 なりたいていため、 のうなしいていため、 のうなしいていため、 のうなしいていため、 のうなしいていため、 のうなのに、 のうた。 の の の の の の の の の の の の の		日本のシーマングログレージーのシーマングの中国は、シーマングログレージーのシーマングログレージーのシージングにより、クラングレビングの時代・ディングの時代・ディングの時代・ディングの時代・ディングの時代・ディング・クラングについた。そのシージング、クリージング、クリージング・ディング・クシージング・クリージンクシーシッシージンクシージンクシーシッシーシッシーシッシンクシーシッシーシッシンクシーシッシーシッシンクシーシッシンクシーシッシンクシーシッシンクシーシッシーシッシンクシーシッシンクシーシッシンクシーシッシンクシーシッシンクシーシッシンクシーシッシンクシーシッシンクシーシッシーシッシンクシーシッシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシ	様の基本は、当時間である。、当時間である。、当時間である。この日間である。この日、この日である。この日である。この日で。この日で。この日で。この日で、この日で。この日で、この日で、この日で、この日で、この日で、この日で、ころう、この日で、ころう、ころう、ころう、ころう、ころう、ころう、ころう、ころう、ころう、ころう	てあれば即用の ので分類してお や工業を解除 シンに変換する 解除してくなる。 小学告報課する 小学告報課する 小学告報課する 小学告報課する 小学告報課する の 提示してなる場 に し し し し に の の で か知してお	 一般構正 マる マイヤにも幅 とんり帯 島合がある 調査が先ろ (修正する タイズ時に対応 する(モデラー 	77日本で 17日本で	
CAD回雨 系像幻雨	平明-动图片通 平面(4) 动图(7) 平面-动图片通	第50回渡であるか 第50回、現実際にでの事業単元会れているか か力なレイヤが含まれていないか ための意味していないか のかった。 のうつうで、 のかった。 のうつうで、 のか。 のつう のつう のつう のつう のつう のつう のつう のつう のつう のつう		日日の1993年01993年01993年01993年01993年01993年01993年01993年01993年01993年01	●本美命、当前四 (本美命、当前四 (本)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)	てあれば認識 ので分類してお クご編を解除 シンに変換する 所以にくなる。 が必要確認する。 場合がある らの薄 ケ工確かな確認 の薄素になる場 し、 し、 目前を構成に が必須 し、 のののでご備を などののでご備を	(福祉県) () () () () () () () () () () () () ()		
CAD阅雨	平清-新聞共補 平面(2) 副面(2) 平面-計算共通	新いの調であるか 事務の、単本部で、の事業事業が会れているか か分なレイヤが含まれていないか か分なレイヤが含まれていないか たまった。 したった。 たまった。 のできたいためか 日本部では、したいかか 日本部では、したいかか 日本部では、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいかか 日本部には、したいか 日本部には、したいか 日本部には、したいか 日本部には、したいか 日本部には、したいか 日本部には、したいか 日本部には、したいか 日本部には、したいか 日本部には、したいか 日本部には、したいか 日本部には、したいか 日本のは、したいか 日本のは、日本部には、したいか 日本のは、したいか 日本のは、したいか 日本のは、したいか 日本のは、したいか 日本のは、したいか 日本のは、したいかか 日本のは、したいか 日本のは、		● ■ # # # #	様の基本は、当期間である。、当期目 会の取得したから、当時間である。 またなの情報によっていた。 すっているから構成が一かり 確認によれていた。 かりつて、当時間からで、 にてい、のからや構成が、 ものでいるから体験が、 にてい、のからや構成が、 ものでいるから、 をしているから、 ので、 のでいるので、 ので、 のでいるので、 ので、 のでいるので、 ので、 のでいるので、 ので、 のでいるので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	てなれて加速度の ので力強した。 シンズを読む、 「加速などのである」、 「加速などのである」、 「加速などのである」、 「加速などのである」、 「加速などのである」、 「加速などのである」、 「加速のでる」、 「加速のである」、 」、 「加速ので」、 」、 「加速ので」、 」、 「加速ので」、 」、 「加速ので」、 」、 「加速ので」、 」、 「加速ので」、 」、 「加速ので」、 」、 「加速ので」、 」、 「加速ので」、 」 「加速ので」、 」、 「加速ので」、 」、 「加速ので」 「加速ので」、 」 「加速ので」、 」 」、 「加速ので」 」、 」 「加速ので」 」 」、 」 「加速ので 」、 」 「加速ので 」 」 」、 」 「加速ので 」、 」 」、 」 「加速ので 」 」 」、 」 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	第788年20日 第75 52 52 52 52 52 52 52 52 52 5	760276	
CAD回面 振春回面 数像データ	平元-武武北橋 平第四 昭第四 平元-武武北橋	新いの調定をあか 事前の、視聴的にの効果準要が完合れていらか か分なレイヤが含まれていないか た空の準備はないか プレンプス集例ないか プレンプス集例ないか したったましたのかいのか 回義可能にないたいかか 回義可能にないたいかか 回義可能にないたいかか 回義可能にないたいかか 回義可能にないたいかか 回義可能にないたいかか 回義可能にないたいかか 回義のにないかかか 回義のにないかかか したったいためか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないかか したったいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 回義のにないたいかか 同義のにないたいかか 同義のにないたいかか 同義のにないたいかか 同義のにないたいかか にないたいかか 同義のにないたいかか 同義のにないたいかか 同義のにないたいかか 同義のにないたいかか にないたいかか の の の の の の の の の の の の の		日本のような、1998年11日 していっかり、日本のような、1999年11日 していっかり、日本のような、1999年11日 していっかり、日本のような、1999年11日 していっかり、日本のような、1999年11日 していっかり、日本のような、1999年11日 していっかし、日本のいたは、1999年11日 していっかし、日本のいたは、1999年11日 していっかし、日本のいたは、1999年11日 していっかしまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	様の基準点、当期間 使の基準点、当期間 ならい可能可があっ この うか。 一般であった。 一般であった。 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	でされて調理的 ので分類にあった。 シスを支援する 後の大きないた。 のの書をした。 のの書をした。 のの書をした。 のの書をした。 のの書をした。 のの書をした。 のの書をした。 のの書をした。 のの書をした。 ののでので、 のののでので、 ののののでので、 のののののでので、 のののののでので、 ののののでので、 のののののでので、 ののののでので、 ののののでので、 ののののでので、 ののののでので、 ののののでので、 ののののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のののでので、 のので、 のので、 ののので、 ので、	第1998年11日、1998年110月、1998年110月年11月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月年11月、1998年110月年11月、1998年110月年11月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月年110月、1998年110月、1998年110月、1998年110月	76222	
CAD回面	平道-动簧片横 平面回 将面回 平道-动簧片横	新いの調定をあか 要用いの調定をあか 要用し、確認的にのが要素が完全れているか かうなしくりなった。 のうなしくりなった。 のうなしくりなった。 のうちょうの確認しないか していたます。 のうちょうの確認しないか。 していたます。 のうちょうので構成した。 のもので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、		日本のようななどであった。 していっからした。 していっから していっから していっから していっから していっから していっから し	●応募金、当期間である。、当期間であることでは、「「「「」」」では、「「」」」では、「」」、「」、「」」では、「」」、「」、「」、「」、」、「」、	できれば2000 (7)2年後の1000 (7)2年後の1000 (7)2年後の1000 (7)2年後の1000 (7)2年後の1000 (7)2年の1000 (7)2 (7)2 (7)2 (7)2 (7)2 (7)2 (7)2 (7)2	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	76222	



8.6 準3次元図面チェック

8.7 モデリング記録



(1) モデリング記録の登録手順

「6.モデリング記録」設定パネルの表示
 ・「6.モデリング記録」を押します

🔜 3次元地質・地盤モデル継承シート 記録ファイル名:GIM_西新井.xlsx	_		×
1. 管理情報		~	
2. 属性情報		~	
3. 品質情報		~	
4. 地質調査性能基準		~	
5. 準3次元図面チェック			
6. モデリング記録]
7. 地質・地盤リスク情報			
8. 照査記録			
9. 引継シート			
登録 終了 ☑ 登録時、既存ファイノルのパックアップを作成する			
各属性情報を設定してください。	GIMROKU	Ver. 1.1	.4:



8.7 モデリング記録

②モデリング記録対象を登録

・補間アルゴリズムを用いて作成する3次元モデルの数だけ列を追加します

1100.1				^ (Ŧ	デル記録シュートの通知313
① 対 象		 ④ 作成日/更新日 			1720
0 E E1		⑤ 作業期間	~	- 0	モデル化の対象を記述する(例:地質境界面、N値分布物性モデル)
06 M		C TF hx 70		0	モデルを作成する目的を記述する(例:地下水解析、プレゼンテーシ
① モデル概要図	参照のクリア			G	 モデルの名称を記述する(例:沖積層底面)
				a	 モデルの完成日、更新完了日を記述する
				G	モデルを作成した期間を記述する
				6	モデルを作成した個人名あるいは所属・企業・法人名等を記述する
				Q	モデルデータと照らし合わせて確認できる程度でモデルの概要を図示
				6) モデルに要求される計算精度を記述する(例:0.01m)
				G	 モデルを計算したアルゴリズムを記述する(例:Horizon2000、Kriggin NURES)
				0	・・・・・・ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
				0	モデルを仕上げる為に、地質の切り合い等の処理を加えているかをチ クする
				C	モデルの加工に使用したツールを記述する(複数可)
				0	 モデルの補問タイプを記述する(例:Tin法 grid法 曲線法)
				¢9	モデルのデータサイズをファイルサイズかポリゴン数で記述する(任意)
				C	モデルのデータファイル名かモデルが含まれるファイル名を記述する
				03	レイヤ単位でモデルが整理されている場合に該当するレイヤ名を記述
				C	精度記録が求められる場合に、入力データのZ座標とモデル上に投影 たて家種の美公を示す
確定	*#742M (2-1-1)BM (2-	-h ħIJBŵ		-	
確定	*#5747% S-1-3870 S-	- ト೫109 モデルの数だ	けシートが追か	non	3
確定 デリング記様 元地質・地盤モデル トNo:1 シートNe:	キャンセル シート追加 を認知、モデルの主当性評価や利用のに必要 12 シートNo:8 シートNo:4	-> NIDA モデルの数だ TryARAEを活动していたとい。	けシートが追力	nstr	3
確定 デリング記様 元地質・北酸モデル トNo:11シートNo の対象	キャンセル シート追加 2020L、モブルの安当は5月10かりにあれため 1:2 シートNo:3 シートNo:4	- ト制除 モデルの数だ な情報総記録してください。	けシートが追加		3 〒/#記録⊃→の解設1
確定 デリング記録 元地質・地感モデル トNo:1 シートNo の.対 名 の 目 的 ・	キャンセル シート追加 を登録し、モデルの安当住評価や料応用に必要 1.2 シートNo:3 シートNo:4	- ト制隊 モデルの数だ な情報を記録してのE&い。 ④ 作成日/夏新日 ● 作業時間	けシートが追力		3 デバロ2時シートの解説1 0 <u>新行</u> 1まで14/10分音を4573132.0(1)11分音 単原語 14/14/14年14年14年14日
確定 テリング記録 テル賞: 地級モデル トNo:1 シートNo の対象 の目的 ③名称	キャンセル シート3200 シート3000 シート 30000 シート3000 シ	- ト制約 モデルの数だ な情報を記録してのたい。 ゆ作成日 / 変新日 の作素原明 ゆ作 成 者	けシートが追力		 デルK2扱シートの解説 FXMLの対象を記述する(の,地方大幅)に、可能分布物15年7月) モデルMLの対象を記述する(の,地方大幅)に、可いかニーン モデルMLの対象を記述する(の,地方大幅)に、可いかニーン
確定 デリング記様 元地質・地数モデルト トトNo:1 シートNo の対す の 日 的 の る 杯 の こそデル構要図	キャンセル シート3000 空 空 空 空 い モデルの支当 当時後 中利の ・4 ・2 シート3000 シート 3 シート 3 の ・2 シート 3 の ・3 の ・3 の ・3 の ・3 の ・3 の ・4 の ・4 の ・4 の ・4 の ・5 の ・ ・ ・5 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- ト制約 モデルの数だ な1989を23時してびださい。 ④ (作成日/夏新日 ⑤ (作成 年)	けシートが追力		 またのであることでは、1000000000000000000000000000000000000
確定 <i>計)つ7足続</i> 示地型:#28天デルト 小No:1 シートNc の丸する の日 印 の日 印 の日 子 の日 子 の の日 子 の の日 子 の の日 子 の の日 子 の の日 子 日 の の の日 子 の の日 子 の の日 子 の の の 日 の の の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の の 日 日 の の 日 日 の の 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	キャンセル シート追加 を認い、モアルの平当住評価や料準用に必要 を認い、モアルの平当住評価や料準用に必要 参照 クリフ	- ト朝録 モデルの数だ な情報絶記誌にてのだい。 ④ 作成日 / 東新日 ⑤ 作 東 寿明 ⑥ 作 成 者	けシートが追力		
確定 50/07記錄 元地型:地址日子川 トNo:1 シートNo 2 目 的 3 日 的 3 日 名 杯 む モデル概要図	キャンセル シート追加 シー シート追加 シー シート追加 シー シートしのご 当住5月65年9月23月に必要 1:2 シートNo:3 シートNo:4	-ト則除 モデルの数だ な情報能記録してください。 ④作成日/更新日 ⑤作素時間 ⑥作 成 者	けシートが追力		
確定 #2/2/22# 元地質、地盤モデル 小心は、まっトル の日日 のの名称 のモデル概要図	**22世ル シート3200 シ を登録し、モデルの支出当年後や村区用に必要 3:2 シートNo:3 シートNo:4	- ト制約 モデルの数だ な情報を記録してください。 ④ 作成日/更新日 ⑤ 作素時間 ⑥ 作 成 者	けシートが追力		
確定 #アンク配体 デルセロ・北欧モデル トトルの:1 シートル の 公 4 都 の 日 約 の モデル概要図	キャンセル シート3000 シン を登録し、モデルの天当は評価や料送用に必要 1:2 シートNo:3 シートNo:4 参照 7977	- ト朝時 モデルの数だ な情報を記録してび250。 ④ (FKK日/夏新日 ④ (FKK日/夏新日 ④ (FKK日/夏新日 ④ (FKK日/夏新日	けシートが追力 		
確定 新り722株 元を増工・総定デル 小校6:1 シートル ひ 日 印 の モデル概要図	キャンセル シート3200 全容録し、モデルの支出性評価や利応用に必要 注2 シートルo:8 シートNo:4 単 参照 クリア	- ト朝録 モデルの数だ な情報絶記録してびだい。 ④ 作成日/更新日 ④ 作成日/更新日 ④ 作成 者	けシートが追力		
確定 第1277日は 元世版:#絵モデルートから:1 シートル の日 的 のそ 和 の モデル概要図	キャンセル シート追加 を登録し、モデルの学出性評価や料料の用に必要 1:2 シートNo:3 シートNo:4 単短 クリア	- ト朝録 モデルの数だ な情報絶記録してびだい。 ④ 作成日 / 東新日 ⑤ 作 成 者	けシートが追力		
確定 571-77足線 元世型:#284天デルト 小田の:1 シートル のは # の日 60 のる 杯 の モデル概要図	**2とセル シート追加 を登録し、モデルの学出住評価や料準用に必要 2 2 3ートNo:4 単程 クリア	- ト朝録 モデルの数だ な情報絶記誌にてのだい。 ④ 作成日 / 更新日 ⑤ 作 東朝朝 ⑥ 作 成 者	けシートが追力		
確定 第 2 /2728 元地量、地量モデル 小心目、シートル ひ目的 のる本 和 の モデル構業図	**21世ル シート追加 2 空話し、モデルのデ出は日平街の利心用に必要 1:2 シートNo:3 シートNo:4	- ト制約 モデルの数だ な特殊を記録してください。 ④ 作成日/更新日 ④ 作成日/更新日 ④ 作成 者	けシートが追力		3
確定 デリングE 終 で地質・地盤モデル 小地質・地盤モデル 小地質・地盤モデル 小地質・地盤モデル の コーシート の コーシート の コーシートル の コーシートル の コーシートル の コーシート の コーシート の コーシート の コーシート の コーシート の コーシート の コーシート の コーシー コー コー コー コー コー コー コー コー コー コ	キャンセル シート3000 シン 全空頭し、モデルの安当は評価や料応用に必要 3.2 シートNo.3 シートNo.4	- ト制約 モデルの数だ な情報を記録してのたい。 ◎ 作成日 / 変新日 ◎ 作素期期 ◎ 作 成 者	けシートが追力		
確定 第127日は、北 盛モデル 小地区・北盛モデル 小地区・北盛モデル 小地区・北盛モデル 小地区・北盛モデル の日 69 の日 69 の日 67 の日 75 の日 75 の日 日 75 の日 75 日 75 日 75 日 75 75 75 75 75 75 7	キャンセル シート3000 を登録し、モデルの安当当日評価や利活用に必要 1:2 シートNo:3 シートNo:4 参照 クリア	- ト朝時 モデルの数だ な情報を記録してびたい。 ④ 作成日/夏新日 ⑤ 作素原明 ④ 作 成 者	けシートが追力 		

8.7 モデリング記録

③モデリングの記録 ・シートの①~⑪の項目を入力します

入力項目の解説

No	解説
1	モデル化の対象を記述する(例:地質境界面、N値分布物性モデル)
2	モデルを作成する目的を記述する(例:地下水解析、プレゼンテーション)
3	モデルの名称を記述する(例:沖積層底面)
4	モデルの完成日、更新完了日を記述する
(5)	モデルを作成した期間を記述する
6	モデルを作成した個人名あるいは所属・企業・法人名等を記述する
Ø	モデルデータと照らし合わせて確認できる程度でモデルの概要を図示する
8	モデルに要求される計算精度を記述する(例:0.01m)
9	モデルを計算したアルゴリズムを記述する(例:Horizon2000、Krigging、NURBS)
10	モデル作成に使用したツールを記述する(複数可)
11	モデルを仕上げる為に、地質の切り合い等の処理を加えているかをチェックする
12	モデルの加工に使用したツールを記述する(複数可)
13	モデルの補間タイプを記述する(例:Tin法 grid法 曲線法)
14	モデルのデータサイズをファイルサイズかポリゴン数で記述する(任意)
15	モデルのデータファイル名かモデルが含まれるファイル名を記述する
16	レイヤ単位でモデルが整理されている場合に該当するレイヤ名を記述する
17	精度記録が求められる場合に、入力データのZ座標とモデル上に投影したZ座標の差分を示す

<u>目次へ戻る</u> <u>前へ</u>次へ 記録20-に戻る

8.7 モデリング記録

	建立现 得面	@ 作成日/更新日	20	21/03/15	【モデ	「ル信己録シートの角程見】
目的		 作業期間 	2021/03/14	~ 2021/03/15	No	舞 躍前見
)名称	B_low	⑥作成者	00 00		0	モデル化の対象を記述する(例:地質境界面、N値分布物性モデル)
					0	モデルを作成する目的を記述する(例:地下水解析、プレゼンテーショ)
)モデル概要図	参照 りリア				3	モデルの名称を記述する(例:沖積層底面)
					۲	モデルの完成日、更新完了日を記述する
					6	モデルを作成した期間を記述する
					6	モデルを作成した個人名あるいは所属・企業・法人名等を記述する
100 г			1//		Ø	モデルデータと照らし合わせて確認できる程度でモデルの概要を図示す
				T	۲	モデルに要求される計算精度を記述する(例:0.01m)
					9	モデルを計算したアルゴリズムを記述する(例:Horizon2000、Krissing NURBS)
<u>.</u>		**	1		0	モデル作成に使用したツールを記述する(複数可)
				F	0	モデルを仕上げる為に、地質の切り合い等の処理を加えているかをチェ クする
	the second second	to 1	1 1 1		٢	モデルの加工に使用したツールを記述する(複数可)
-		21			٩	モデルの補間タイプを記述する(例:Tin法 arid法 曲線法)
			20		00	モデルのデータサイズをファイルサイズかポリゴン数で記述する(任意)
			X		()	モデルのデータファイル名かモデルが含まれるファイル名を記述する
0					®	レイヤ単位でモデルが整理されている場合に該当するレイヤ名を記述
Ţ					Ø	発展されあか求わられる場合に、入力データの2座標とモデル上に投影 た2座標の差分を示す
y zx 要求精度	0 5)m	300	O mesh () gr	d O NURES(B-Rep)	0	1種意記動が求められる場合に、入力データの2座機とモデル上に投影 た2座欄の差がを示す
Y Z ン ン Y Z ン X	0 BS-Horizon		○ mesh ● gr ○ その他 [d () NURBS(B-Rep)		1機変記動が求めされる場合に、入力データのZ座標とモデル上に投影 たZ圧幅の差力を示す
) 要求精度) アルゴリズム) 使用ツール	0 BS-Horizon OCTAS Modeler		 mesh ● gr その他 711 KE 	d O NUFBS(B-Rep)		視想記録がなかされる場合に、入力データの2座標とモデル上に投影 た22座標の差力を示す
 要求精度 アルゴリズム 使用ソール カエの有無 	0 BS-Horizon OCTAS Modelar ○ 無し ④ 有り		〇 mesh ● er 〇 その他 711 KE B_low.txt	d O NURBS(B-Rep)	•	複変記録がなかされる場合に、入力データの2座標とモデル上に投影 た2座標の差力を示す
 9 要求精度 9 アルゴリズム 9 使用ツール 9 加工の有無 9 カエツール 	。 BS-Horizon OCTAS Modeler 〇魚し ●有り OCTAS Modeler	900 ③ モデルタイプ ④ データサイズ ③ データワイル名 ④ モデルレイヤ名	○ mesh ● gri ○ その抱 □ 711 KE B_jow.txt B_jow	d () NURES(B-Rep)		複変記録が求め込むる場合に、入力データの2座標とモデル上に投影 た2座標の差力を示す
 要求求稿度 > アルゴリズム > 使用シール > カロエの有無 > カロエシール > 特徴度記録 	0 BS-Horizon OCTAS Modeler ○ 無し ④ 有り OCTAS Modeler	200 ③ モデルタイク ④ データサイズ ④ データファイル名 ④ モデルレイヤ名	O mesh ● ar O že0/te B_bow.txt B_bow	d ONURBS(B-Rep)		1機変記動が求めされる場合に、入力データの2座機とモデル上に投影 た2座欄の差力を示す

・「確定」ボタンを押して入力内容を確定させます



8.8 地質・地盤リスク情報



④3次元地質・地盤モデル継承シートへの登録

- ・「登録」ボタンを押して3次元地質・地盤モデル継承シートへ登録します
- ・「登録」ボタンが押されるまではモデリングの記録は3次元地質・地盤モデル継承シートに保存されません (プログラムを閉じようとすると警告がでます)

		? 確定後の設定内容が記録シートファイルに登録されていません。 終了してようしいですか?
		はい(Y) いいえ(N)
9. 引継シート		
登録 終了 ⊻ 5	ž録時、既存ファイルのバックアップを作成す?	5
各属性情報を設定してくたさい。		GIMROKU Ver. 1.1.4 .;;
属性情報管理 ×		
役 ため育を記録シートファイルに登録します。 ようしいですか?		
はい(Y) いいえ(N)	GIM_西新井.xlsx	
「はい」ボタンを押します		モデル
	記録が保存されまで	フラン す



8.8 地質・地盤リスク情報

◆モデリング記録の例

・3次元地質・地盤モデル継承シートに、項目の設定値が入力されたモデリング記録シートがチェック対象毎に 追加されます

アパル A — A 将入 A ~ 9 レ(/?)ト 数式 データ 校測 表示 解決 A / 10 A crobat チーム Gaalho 合 P () X MS 95209 11 三国主 約 別 第 日 0 A 第 三 10 ●
2957#~F 6 2747F 6 225 6 225 6 22476 74797 1622 7 A1 • I × ✓ ۶ A B B C D E F G H I J J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z AA 88 A0 A0 A5 AF A0 AH AI AJ AK ALAM AN A0 A1
2 0 0xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
1 1 0 2 # # # # 1 0 0 2 # # # # 0 2 # # # # 0 </td
10 The name for developing all
Signal Statute of the second status of the second
D Oranhadridelector 6 D # # 1027.8783 G /HeE//8783 6 D # 1018 G /HeE//8783 70 D 6 # 1018 G /HEE//8783 70 D 7 /HEE//8783 G /HE//8783
1 4 5 5 7 7 8 1 9 2 9 2 9 2 9 2 9 2 9 2 9 2 9 2
NA D BL Collin D BL D BL <thd bl<="" th=""> <thd bl<="" th=""></thd></thd>
110 :Remutamacy = -12100 0.4000 111 F###22-0.0000 regions/##24 (Min)/mac) = 112 Columbia regions: min, how a second sec
127 ・ … 単3次元回回チェックシート モデリング記録シート ④ : (「 「 」 」 同 回 回 - + 00%

8.8 地質・地盤リスク情報



(1) 地質・地盤リスク情報の登録手順

①「7.地質・地盤リスク情報」設定パネルの表示 ・「7.地質・地盤リスク情報」を押します

📕 3次元地質・地営モデル継承シート 記録ファイル名:GIM_西新井.xlsx	—		×
1. 管理情報		~	
2. 属性情報		~	
3. 品質情報		~	
4. 地質調查性能基準		~	
5. 準3次元図面チェック			
6. モデリング記録			
7. 地質·地盤リスク情報			
8. 照查記録			
9. 引継シート			
登録 終了 ☑ 登録時、既存ファイルのパックアップを作成する			



8.8 地質・地盤リスク情報

②リスク項目の登録 ・地質・地盤リスク項目の数だけ列を追加します

	リスク情報					
地質・地盤リス	々ク情報を記録してください。					
データ数 :	1					
		47°H		100.10		
Item_D	横日	лтан		陽考		
GR0000000	37910FD					
GROOODOOT	UKOSTIDE RATE O					
GR0000002	厳容更新日					
GR0000003	更新履歴					
GR0000004	リスクの項目					
GR0000005	リスクの位置や範囲					
GR0000006	リスクの内容	要因、素因や誘因等				
GR0000007	結果の大きさとその根拠					
GR0000008	起こりやすさとその根拠	地質・地盤の必要性能と地質・地盤の推定性能の	の関係等			
GR0000009	評価の結果					
GR0000010	リスク対応結果	内容と確定根拠				
GR0000011	残存リスクへの対応					
GR0000012	他の特記事項					
GR0000013	地質・地盤リスクランク					
GR0000014	影響度					
GR0000015	発生確率					
GR0000016	地質・地盤リスク管理表					
GR0000017	地質・地盤リスク処置表					
確定	キャンセル 列追加	列的除				
			リ人ク坦	目列か追加され	ເຈ	
🔜 地質·地盤	リスク接線		リ人ク項	目列が追加され	ເວ	- 0
■ 地質・地盤 地質・地盤リ: デーカ数	リスク <u>体報</u> の力体報を記録してください。 っ		リ人ク項	目列が追加され	13	- 0
 地質・地盤 地質・地盤リリンデータ数 : 	リスク接続 リスク接続 名が補税を記録してください。 3		リスク項		13	- 0
■ 地質・地盤 地質・地盤リ データ数 : Item_D				目列か追加され	地支付の誘発	 □ ■ Ξ Ξ Ξ
 建築・地盤 地質・地盤リア データ数 : Item_D GR0000000 	U27体紀 22/体粉を記録してください。 3 オブジェクトロ ー・・・・ローローロー	NVER.		日列か追加され	13 #3100689	- D 基礎地盤の変形
■ 地質・地盤 地質・地盤リJ データ数 : Item_D GR0000000 GR0000000	UZ20年後 スパ情報を記録してださい。 3 オプジェクトコン リン22月在後 クロップログローク	9/120	リ 人 ク4兵 ^{備考}	日列か追加され	13 #3170085%	- D 基礎地盤の変形
送貨・地盤 地質・地盤リ データ数 : Rem_D GR000000 GR0000001 GR0000001	リスク接続 スパ情報を記述してださい。 3 オープジュクト D リスク建築者 高齢実施作日 マーデー	9720	リスク (_{備考}	日列か追加され	13 #5100888	- D 基礎地盤の変形
地質・地盤リ ・地質・地盤リ データ数 : GR0000000 GR0000000 GR00000000 GR00000000	U2/1982 20/16年後名2時して伏さい。 3 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	NEE	リスク (_{備考}	日列か追加され	13 #3100658	- D 基礎地盤の変形
■ 地質・地盤リン ポーク数 : アーク数 : Rem_D GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR00000000 GR0000000000	U22/体報 22/体報を記録してください。 3	AVER	リスク4 _{備考}	日列か追加され	13 1877000892	- □ - □ - □
■ 地質・地盤リ 地質・地盤リン データ数 : Item,D GR0000000 GR0000000 GR0000003 GR0000003 GR0000005	UZク細緒	9620	UX Y 共	日列か追加され	13 #37(30889	- 0 基礎地盤の変形
地質・地盤リン 地質・地盤リン データ数: Rem,D GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR00000005	U2/1948 U2/1948 U2/1948 U2/1948 J2/29474	新祖 第祖 第四、美田や和田等	U人ソ1只 ^{備考}	日列か追加され	13	- □ 基礎地盤の変形:
 建築・地盤 地盤・地盤リ、 デーツ数 : Rem,D GR0000001 GR0000002 GR0000003 GR0000003 GR0000003 GR0000003 GR0000005 GR0000005 	UZ20年編 Z274年時後記録してください。 3 東自 オブジェクトコ リス27年編 養純変称日 養純変称日 美純素酸 リス20の項目 リス20の項目 リス20の項目 リス20の項目 リス20の項目 メンスの呼吸 繊維の大きなその視聴 メンスのの作用	新設	リスク1項 ^{備考}	目列か追加され	13 #3700088	- ロ
■ 地質・地盤 地質・地盤リ、 デーク数 : GR0000001 GR0000001 GR0000003 GR0000003 GR0000003 GR0000003 GR0000003 GR0000007 GR0000000	U22年編 2/片解設記録して代定い。 3		(@* (@*	目列か追加され	13 #3170.089	- 0 0
■ 地質・地盤リン ボーク数 : アーク数 : Rem_D GR0000001 GR0000001 GR0000001 GR0000001 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000		解説 第四、素田や傾田等 地質・地盤の必要性能と地質・地盤の推定。	(A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	日列か追加され	13 #31/00689	- □ 基礎地整の変形
 送賞・地盤・ 北質・地盤リン デーツ数 : アーツ数 : Reconcocci GROOD0002 GROOD002 GROOD02	UZ2/2458 UZ2/2454 UZ2/245 UZ2/245 UZ2/24	解説 第四、素田や桃田等 地豊・地島の北東1地島の相定… 内容と確定根拠	U人ソ4月 ^{備考}	目列か追加され	13 #3700088#	- □ 基礎地盤の変形
送着・地盤の 地積・地盤の データ数 : アーク数 : アーク数 : Reconcocc GROOD0002 GROOD0002 GROOD0003 GROOD0004 GROOD004 GROOD004 GROOD004 GROOD004 GROOD004 GROOD004 GROOD004 GROOD004 GROOD004 GROOD004 GROOD004 GROOD004 GROOD04 GR	U22/###&E422#UTC/E250x 2/###&E422#UTC/E250x 3	解説 第回、素田や桃田等 地盤の必要性細ジ地質・地盤の推定。 内容と変定根拠	(#*	日列か追加され	13 #370008#	- 0 0
■ 16第・16盆 データ数: オーク数: GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000001 GR0000001 GR0000011	UC/168	新設 第記 10 11 12 12 13 14 15 15 16 17 18 10 10 11 12 12 13 14 15 15 16 16 17 18 18 19 10 10 10 11 12 13 14	(GRN)	日列か追加され	13 #37(30889	- 0 基礎地盤の変形
■ 地景・地盤リン 地景・地盤リン デージ数: プージ数: GR00000001 GR00000003 GR00000003 GR00000005 GR00000005 GR00000005 GR00000005 GR00000011 GR00000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011	UZ0/982 UZ0/982 UZ0/982 UZ0/9748 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	解説 第回、美田や師田等 地盟の必要性能や地震・地震の確定… 内容と確定規制	(#* (#*	日列か追加され	13 #3700089	- □ 基礎地盤の変形
■ 始音・地盤い 定日の100000 すー分数: すー分数: 「Eem」D GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000000 GR0000001 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011	UZ2/##R8428/#UTC/ESUA Z2/##R8428/#UTC/ESUA Z プジェクトコ リフン2/#E& 量純更新聞 リスンの/#E フンスの/#E リスンの/#E リスンの/#E 単年の大きとその構施 経ごいぞきくその構施 経ごいぞきくその構施 経ごいぞきくその構施 経ごいぞきくその構施 経ごいぞきくその構施 経ごいぞきくその構施 経ごいぞきくその構施 経ごいぞきくその構施 発芽リスクハの効応 体の福祉事項 発電・感激リスクランク 影響度	解説 第記,素田や桃田等 第記,素田や桃田等 東田や桃田等 地盤の必要性紙と地質・地盤の推定 内容と凝定振然	(@**	日列か追加され	13	- □
■ 地震・地震・ 地震・地震い、 デーウ数 : プー数 : GR0000001 GR0000003 GR0000003 GR0000005 GR0000005 GR0000005 GR0000001 GR0000001 GR0000011 GR0000011 GR0000013	UC/262	新設 第記 方行と道定根拠	(BH	日列か追加され	13 #370085%	- 0 基礎地盤の変形
■ 地質・地盤リン 水質・地盤リン デーウ数 : Rem,D GR0000001 GR0000002 GR0000002 GR0000002 GR0000002 GR0000002 GR0000001 GR0000001 GR0000001 GR0000001 GR0000011 GR0000011 GR0000013 GR0000013 GR0000013 GR0000013 GR0000014	UC/982 UC/982 UC/982 UC/982 UC/984	解説 第回、美田や師田等 地館の必要住総や地質・地館の推定 内容と確定根拠	(GAN) (GAN)		13 #3700085#	- □ 茶碟地盤の変形:
■ 始言・地盤り、 オータ数 : オータ数 : Rem_JD GR0000001 GR0000001 GR0000005 GR0000005 GR0000005 GR0000005 GR0000001 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011		解説 一 第四、素田や桃田等 地量・地盤の必要性細心地量・地盤の推定 内容と適定根拠	(旗考	目列か追加され	13 157(70)289 100	- □
※ 特徴・地盤い デージ数 : デージ数 : GR0000002 GR0000002 GR0000003 GR0000005 GR0000005 GR0000005 GR0000010 GR0000012 GR0000012 GR0000013 GR0000013 GR0000013 GR0000015 GR0000015 GR0000015	try/rest		(@+)	日列か追加され	13 #370008#	- □ 登環地盤の変形
■ 地震・地震・ 地震・地震・) デー外数 : TennyD GR0000001 GR0000002 GR0000003 GR0000003 GR0000003 GR0000003 GR0000001 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011 GR0000011	typy typy	新設 第2日、美田や桃田等 地震・地震の必要性能と地震・地震の推定 内容と凝定振然			13	- □ 基礎地盤の法形

8.8 地質・地盤リスク情報



③リスク情報の記録 ・シートの下記の項目を入力します

項目	データ型	解説
オブジェクトID	String	
リスク評価者	String	
最終更新日	Date	
更新履歴	String	
リスクの項目	String	
リスクの位置や範囲	R_Link	報告書ファイルへの相対パス
リスクの内容	R_Link	報告書ファイルへの相対パス
結果の大きさとその根拠	R_Link	報告書ファイルへの相対パス
起こりやすさとその根拠	R_Link	報告書ファイルへの相対パス
評価の結果	R_Link	報告書ファイルへの相対パス
リスク対応結果	R_Link	報告書ファイルへの相対パス
残存リスクへの対応	R_Link	報告書ファイルへの相対パス
他の特記事項	R_Link	報告書ファイルへの相対パス
地質・地盤リスクランク	D_Link	データファイルへの相対パス
影響度	D_Link	データファイルへの相対パス
発生確率	D_Link	データファイルへの相対パス
地質・地盤リスク管理表	D_Link	データファイルへの相対パス
地質・地盤リスク処置表	D_Link	データファイルへの相対パス

【注意】

リンク対象のデータファイルは、プロジェクト フォルダ内に必ず格納するようにしてください。

格納例)

 ・georiskフォルダに地質・地盤リスク情報 を記したDocファイルを格納する
 ・outcrop_*フォルダにルートマップのpdf ファイルを格納する

・「確定」ボタンを押して入力内容を確定させます





8.8 地質·地盤リスク情報

④3次元地質・地盤モデル継承シートへの登録

・「登録」ボタンを押して3次元地質・地盤モデル継承シートへ登録します

・「登録」ボタンが押されるまでは地質・地盤リスク情報は3次元地質・地盤モデル継承シートに保存されません(プログラムを閉じようとすると警告がでます)

	属性情報管理 ×
	でで、 確定後の設定内容が記様シートファイルに登録されていません。 終了してようしいですか?
	はい(Y) いいえ(N)
9. 引継シート	
● 登録 終了 回 登録時、既存ファイルのパックアップを作成。	55
各属性情報を設定してください。	GIMROKU Ver. 1.1.4;
属性情報管理 ※	
? 設定内容を記録シートファイルに登録します。 ようしいですか?	
はい(Y) いいえ(N) GIM_西新井.xlsx	
「はい」ボタンを押す 3次元地質・地盤 継承シートに地質	^{露モデル} ・地盤リ

スク情報が保存されます

8.9 照査記録

<u>目次へ戻る</u> 前へ 次へ ^{記録フローに戻る}

(1) 照査記録の登録手順

18.照査記録」設定パネルの表示
 ・「8.照査記録」を押します

🔜 3次元地質・地盤モデル継承シート 記録ファイル名:GIM_西新井.xlsx	—		×
1. 管理情報		~	
2. 属性情報		~	
3. 品質情報		~	
4. 地質調査性能基準		~	
5. 準3次元図面チェック			
6. モデリング記録			
7. 地質·地盤リスク情報			
8. 照査記録]
9.引継シート			
登録 終了 ✓ 登録時、既存ファイルのパックアップを作成する			
各属性情報を設定してください。	GIMROKU	Ver. 1.1	.4:

8.9 照査記録



②照査記録の登録
 ・必要な照査項目の照査実施列にチェックマークを付けます
 –・・・未選択(デフォルト) □・・・チェック対象 □・・・チェック済

・チェック欄はクリックにより順に変動します

 $- \rightarrow \square \rightarrow \square \rightarrow -$

**165						
	日付 2021/04/01					
177-18-18 D	470% choix		502 <u></u>		•	情考
加重視日	ME POP	照查対象	確認元温料・データ参紹先 90該当ファイルる、該当ファイルの保存先を記入する	<u>照査実施</u> (チェックを入れる)	確認日 (確認した日付を記入する)	(9)開速整準規等を記入する
直計画の策定	作業の実施前に、対象の10巻本条件、出)細胞条件、い)要 求事項、マロ業品の各部隊における照査内容・対象を確認 し、照査計画を栄定しているか	藏訳				
本条件の照査						
i-1)モデリング計画確認	3次元地質モデルを構築するための基本条件を決定し、以降 の作業計画を合理的に組み立てているか	藏訳				
i-2)地質調査データの品質確認	使用する地質調査データの信頼性について、既存報告書等で 把握しているか	避祝				
部条件の照査						
i-1)品質チェックシート確認	収集した資料は、目的や必要範囲に合致した3次元地質モデ ルを構築できる品質を有しているか	MER				
1-2)3次元データ化確認	3次元地質モデル構築に必要なデータを3次元化しているか、6 しくは3次元地質解析システムで扱える状態にデータペース化し ているか	藏訳				
i-3)データ推正方針の確認	不適合が認められたデータについて、どのように修正あるいは業 却するかの基準や方針を立てているか	灌訳				
1-4)地質対比方法の確認	地質対比をおこなうための手法や対比の根拠となる基準は進 切か	WER				
1-6)補助アルゴリズム記録シート確認	補助アルゴリズムについて、地質事象に応じた手法を使用し、 補助パラメータを正確に記録しているか	灌訳				
求事項の照査				•		
/-1)作成モデルリスト確認	成果品を作成するために必要なモデルが揃っているか	灌訳				
7-2)作成モデル妥当性確認	成果品を作成するために妥当なモデルとなっているか	避訊				
果品の照査					•	
-1)成果品雜誌	要求事項を満たした成果品が描っているか	MER				
2)照査記録・引継シート作成	照査結果やCM モデル作成事前協議・引続書シートを記録と して残し、確実に次工程に継承できるようにしているか	藏根				

照査実施列

8.9 照査記録

③照査の記録

・照査実施列にチェックを入れた照査対象の項目を入力します

同查须日	预查内容		把直	(Tet. 1911)	-	
17122-9110		短重対象	確認元言料・デーリ参照先 例D該当ファイル名、該当ファイルの保存先も記入する	<u>明査実施</u> (チェックを入れる)	確認日 (確認」た日付を記入する)	明い間連想準須等を記入する
照査計画の後定	作業の実施的に、以降の11巻本条件、110倍発件、120巻 京都項、116業長の各部隊における税宜内等・対象を確認 し、用量計画を発送しているか	381R	・令和元年度 〇〇〇葉防計画書 doo 「〇章 3次元地盤 モデル構築空直計画」 ・〇〇〇葉防3次元地量・地盤モデル線承シート xbxx	Z	2021/08/15	・3次元地置解析マニュア川Wer3.0 、
基本条件の照査						
ヨー1)モデリング計画価約	3次元地間モデルを構築するための基本品件を決定し、以降 の件集計画を合理りに目み立てているり	MER	・令和元年度 〇〇〇集務計画書 doo 「〇章 3次元地盤 モデル構築[1曲] ・〇〇〇集務3次元地営・地盤モデル線承シート xixx	ø	2021/08/17	・3次元地置解析マニュア川Wer30
ii-2)地質調査データの品質確認	使用する地質調査データの信頼性について、既存報告書等で 把握しているか	識訳	・〇〇〇葉務3次元地営・地盤モデル建築シート パロ ヘ	ø	2021/04/02	・日本地質学会 地質調査住能基準 ・3次元地質解散7二27/War30 ・地盤テール品質標準化小委員会 報告書
細部条件の照査						
は-1)品類チェックシート確認	収集した資料は、目的や必要範囲に合致した以大元地質モデ ルを構築できる品質を有しているか	避快	・OCO業務以先元地質・地盤モデル建築シートstax	8	2021/04/05	・3次元地質解析で二aアiWerlo ・地盤アーク品質標準化小委員会 報告書
11-2)3次元デー外化確認	3次元米間モデル機能に必要なデーダを3次元化しているか、も しくは3次元地動解析システムで扱える状態にデータペース化し ているか	避快	 ・○○○業務3次元老賃・地盤モデル継承シート stax ・○○○業務 地盤27 はトンモデル33m ・○○○業務 地盤情報 mdb ・○○○業務 地盤情報 mdb ・○○○○業務 地域目前 1000 mdb ・○○○○○ ・○○○○○ ・○○○○ ・○○○○○ ・○○○○○ ・○○○○○ ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	8	2021/04/10	 3次元地質解核マニュアルVer30 3次元地質解核システム「ムム」操作マニュアル
11-3)データ修正方針の確認	不達合が認められたデータについて、どのように修正あるいは東 却するかの基準や方針を立てているか	避快	・ 令和元年度 〇〇〇東將中間紛告書 doc 「〇章 3次元 へ 地盤モデル構築方法」	2	2021/04/10	 3次元地質解析マニュア川War30
ロー4)地質対比方法の確認	地質対比をおこなりための手法や対比の根拠となる基準は適 切か	潮沢	・令和元年度 〇〇〇東將中間報告書 doc 「〇章 3次元 」 地盤モデル構築方法」	2	2021/04/10	 3次元地質解析マニュア川War30 ^ ()
ローち)補関アルゴリズム記録シート確認	補償アルロリズムについて、地質事象に応応手法を使用し、 補償175メージを正確に記録しているか	潮沢	 〇〇〇葉務3次元老賞・地盤モデル継承シート star 	2	2021/04/15	・BBM/CBM線入ガイドライン(案)第1編共通編 令和2年3月 ・3次元地蔵解板マニュア川Wer30
要求事項の照査						
かー1)作成モデルリスト確認	成果品を作成するために必要なモデルが揃っているカ	381R		2	2021/04/20	・全てのモデルが作成されていることを確認した ・作成モデルに調性情報が付与されていることを確認した
カン-2)作成モデル妥当性確認	成果品を作成するために妥当なモデルとなっているか	MAR	・OCC業務以元地置・地盤モデル結果シートメssx ・OCC業務地盤モデル3dm	Ø	2021/04/20	・3次元地置解研マニュアIWer30
成果品の照査						
v-1)成果品確認	要求事項を満たした成果品が辿っているか	MAR	・令和元年度 〇〇〇葉所報告書 doo「表一〇 3次元地盤 へ モデルリスト」	ø	2021/04/25	·000## %2±##
v-2)開畫記錄·引繪シート作成	招査結果やCMモデル作成事前協議・引助書シートを記録と して残し、確実にた工程に確定できるようなしているか	避快	・OCO業務3次元地質・地盤モデル建築シート stars	8	2021/04/25	 - 3次元地算解紙マニュア川WwG0 - BM/CBM導入方イドライン(第)第1編共通編 令和22年3月

・「確定」ボタンを押して入力内容を確定させます





8.9 照査記録

④3次元地質・地盤モデル継承シートへ登録します

・「登録」ボタンを押します

・「登録」ボタンが押されるまでは照査記録は3次元地質・地盤モデル継承シートに保存されません (プログラムを閉じようとすると警告がでます)

	で 確定後の設定内容が記録シートファイルに登録されていません。 終了してよるしいですか?
	はい(Y) いいえ(N)
9. 引継シート	
登録 終了 ☑ 登録時、既存ファイノ	のバックアップを作成する
各属性情報を設定してください。	GIMROKU Ver. 1.1.4
•	
属性情報管理 ×	
? 設定内容を記録シートファイルに登録します。 ようしいですか?	X
はい(Y) しいべえ(N)	GIM_西新井.xlsx
「はい」ボタンを押す 3次 継承	元地質・地盤モデル シートに照査記録が
保存	されます

8.10 引継シート

目次へ戻る 前へ 次へ 記録フローに戻る

(1) 引継シートの登録手順

①「9.引継シート」設定パネルの表示 ・「9.引継シート」を押します

🔜 3次元地質・地盤モデル継承シート 記録ファイル名:GIM_西新井.xlsx	-		×
1. 管理情報		~	
2. 属性情報		~	
3. 品質情報		~	
4. 地質調査性能基準		~	
5. 準3次元図面チェック			
6. モデリング記録			
7. 地質・地盤リスク情報			
8. 照査記録			
9.引継シート]
全録 終了 □ 全録時、既存ファイルのパックアップを作成する			
各属性情報を設定してください。	GIMROK	J Ver. 1.1	.4:



8.10 引継シート

②引継シートの登録・各項目を入力します

引継シートを確認し、不足	があれば記入してください。				
記入日(年月日)		2021/03/14			
	基	计青幸辰			
業務·工事名		A河川			
工期		2021/02/04 ~ 2021/08/30			
発注者	担当課				
	職員				
±i);+±∠	会社名	B株式会社			
文)11宿	技術者				
座標系		JGD2011 平面直角座標系 9系			
標高基準		T.P.(東京湾平均海面)			
モデル作成・更新の目的	ካ	安定性評価および対策設計			
	新規/更新/未更新	新規			
	格納フォルダ名	data3d/map/boring_西新井, data3d/model/			
the Factor 가이	モデル形式	ボーリングモデル, サーフェス, ソリッド, グリッド			
地員・工具モデル	作成ソフトウェア	OCTAS Modeler			
	ファイル形式	CSV形式, CSV形式, DXF形式, CSV形式			
	単位	m			
	新規/更新/未更新	新規			
	格納フォルダ名	data3d/model/land_西新井/grid			
地形モデル	出典	国土地理院 GSI 5m DEM			
	モデル形式	サーフェス			
	詳細度(縮尺・ピッチ)				
	作成ソフトウェア	OCTAS Modeler			
	ファイル形式	CSV形式			
	単位	m			

・「確定」ボタンを押して入力内容を確定させます



8.10 引継シート



③3次元地質・地盤モデル継承シートへの登録

- ・「登録」ボタンを押します
- ・「登録」ボタンが押されるまでは引継シートは3次元地質・地盤モデル継承シートに保存されません (プログラムを閉じようとすると警告がでます)

	確定後の設定内容が記録シートファイルに登録されていません。 終了してよらしいですか?
	(はい(Y) しいえ(N)
9. 引継シート	
登録 終了 ビ 登録時、既存ファイルのパックアップを作用	成する
各属性情報を設定してください。	GIMROKU Ver. 1.1.4
属性情報管理	
? 設定内容を記録シートファイルに登録します。 よろしいですか?	
はい(Y) いいえ(N) GIM_西新井.xls	5X
「はい」ボタンを押す 3次元地質・地 継承シートに引続	盤モデル 継シートが
保存されます	



8. 10 引継シート

8. 11 属性定義ファイルの設定

3次元地質・地盤モデル継承シートを記録するプログラム(GIMROKU.exe)は、その起動時に同じディレクト リに格納されいる「属性情報定義.xlsx」の、入力情報の「選択・必須」の区分やデータ型を参照しています。

目次へ戻る

記録70-に戻る

X

前へ

この「属性情報定義.xlsx」の入力情報の「選択・必須」の区分やデータ型は、任意に変更することができます。 「属性情報定義.xlsx」のデータ型とその意味を下表に示します。

なお、「属性情報定義.xlsx」の設定変更は、OCTAS Modelerの再起動後に有効になります。

データ型	意味
String	文字型 ·直接入力
Date	日付型 - 直接入力 (日付のみ 又は 日付 時間 の入力可)
int	整数型 •直接入力
float	浮動小数点数型(単精度) •直接入力
double	浮動小数点数型(倍精度) •直接入力
D_Link	データとのリンク型 ・入力欄をダブルクリックでファイル選択(選択時のデフォルト拡張子:XMLファイル(*.xml)) ・相対パス+ファイル名 ・確定時、ファイル存在チェック有り
R_Link	調査報告書等の資料とリンク型 ・入力欄をダブルクリックでファイル選択(選択時のデフォルト拡張子:PDFファイル(*.pdf)) ・相対パス+ファイル名 ・確定時、ファイル存在チェック有り
U_Link	基準書等の資料とリンク型 ・URL形式であれば可
String or D_Link	データの値かデータとのリンク型 ・入力欄をダブルクリックでファイル選択(選択時のデフォルト拡張子:XMLファイル(*.xml)) ・相対パス+ファイル名 ・入力欄に値を直接を入力も可。 ・確定時、ファイル存在チェック無し
List1	リスト選択型 ・直接入力不可 ・選択リスト 非常に低い(Very Low) 低い(Low) 中程度(Medium) 高い(High) 非常に高い(Very High)
Check1	F±v9型 ・種類 ロ・・・ 未選択 □・・・ 選択 – ・・・ 該当なし ・クリックにより下記の順に変動する ロ → □ → □ → □ → □
sss_no	モデリング記録シートとの同期型 ・同期対象先モデリング記録シートのNo ・モデリング記録シートの場合、複数のシートがある為、どのシートかを指定
sss_item	モデリング記録シートとの同期型 ・上記同期対象先モデリング記録シートの対象項目 ・前提として、同期先のモデリング記録シートNoを指すsss no項目の設定が必要
cci_item	管理情報シートとの同期型 (同期管理情報シートの対象項目)



- 8.3次元地質・地盤モデル継承シート
- 8. 11 属性定義ファイルの設定

2019年12月 2日 Ver1.5.0 初版発行 2019年12月23日 Ver1.5.1 改訂 2020年 1月27日 Ver1.5.2 改訂 2020年 3月 6日 Ver1.5.4 改訂 2020年 7月 31日 Ver1.6.0 改訂 2021年 7月 6日 Ver1.7.0 改訂

発行元

3次元地質解析技術コンソーシアム

https://www.3dgeoteccon.com/